

平成 24 年度

幼児期における家庭教育実態調査

結果報告書

平成 25 年 3 月

静岡県教育委員会  
社会教育課



# 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果	1
4	報告書の読み方	1
II	調査結果	5
1)	回答者の続柄	5
2)	家族の構成員	6
3)	祖父母の居住状況	7
4)	子どもの就園状況	7
5)	地域とのつながり	8
6)	回答者の就業状態	9
7)	家庭教育で力を入れていること	10
8)	家庭教育の状況	12
9)	子どもをほめるか	15
10)	子どもをしかるか	20
11)	子どもに身についていると感じるもの・身につけていないと感じるもの	25
12)	子育てについて悩みや不安があるか	32
13)	子育ての悩みについての身内の支援者	39
14)	子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無	44
15)	今後、家族以外で支援者になってほしい人	56
16)	今後、参加したい活動	64
17)	アドバイスを受けてたり、学習したりしたい内容	69
18)	家庭教育をされていて困ったこと	72
III	調査票	73



## I 調査の概要

---



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、家庭教育支援の効果的な方策について検討を進める上での参考とするため、現在幼稚園・保育園等に通う4歳児の子どもを持つ親を対象に、家庭における教育の実態、親の意識やニーズ等を調査したものである。

## 2 調査設計

- ・調査地域 静岡県内全域（全35市町から27市町を抽出）
- ・調査対象者 幼稚園・保育園等に通う4歳児の保護者  
（日ごろ家庭教育を行うことが多い保護者）
- ・標本数 2,624人
- ・調査期間 平成25年2月4日～平成25年2月15日
- ・調査方法 各幼稚園・保育園等を通じて調査

## 3 回収結果

	発 送 数	回 収 数	有効回収数	有効回答率
対象事業所	2,624通	2,318通	2,310通	88.0%

## 4 報告書の読み方

- ・結果は百分率で表示し、数表・グラフの百分率は小数第2位を四捨五入し算出している。  
そのため、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- ・数値やグラフの中の「N」は回答者総数を示し、回答比率はこれを100%として算出している。
- ・複数個の回答が許されている設問においては、回答比率の合計が100%を超えることがある。





## II 調查結果

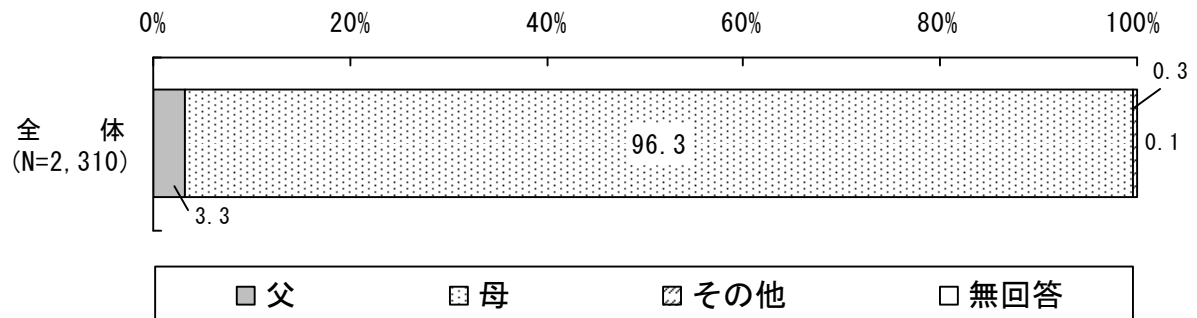
---



## Ⅱ 調査結果

### 1) 回答者の続柄

問1 お子様との続柄をお答えください。(○は1つ)

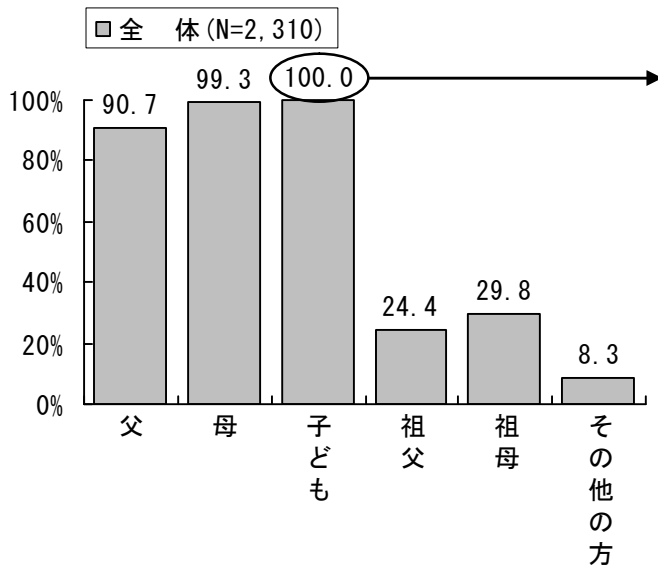


回答者の続柄は、「母」(96.3%)が最も多く、次いで、「父」(3.3%)などとなっている。

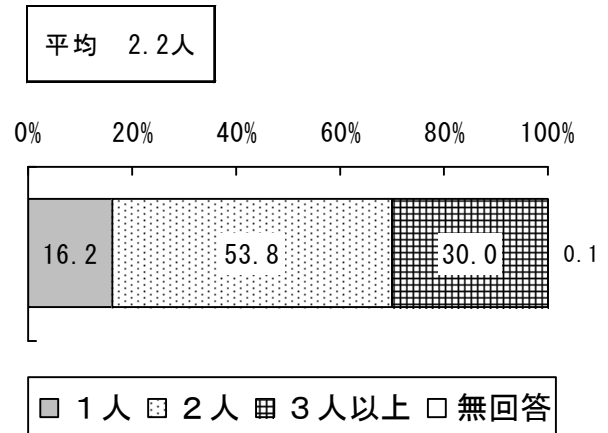
## 2) 家族の構成員

問2 家族（同居）の構成員をすべて選んでください。（○はあてはまるものすべて）

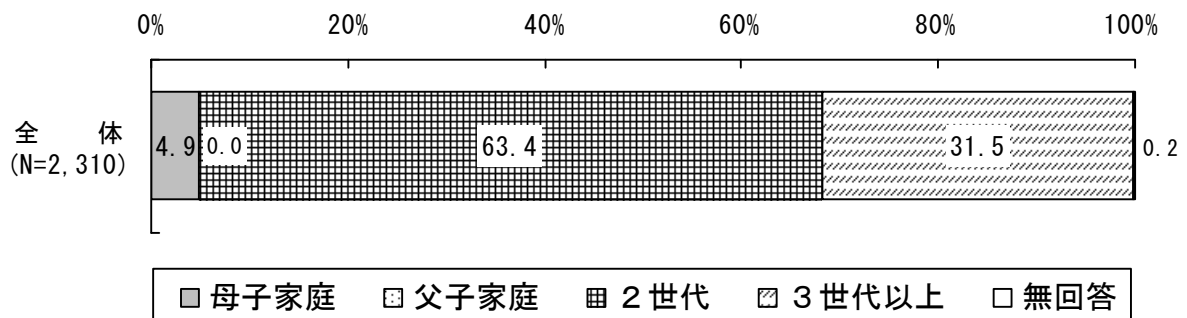
### ●家族の構成員●



### ●子どもの人数・平均●



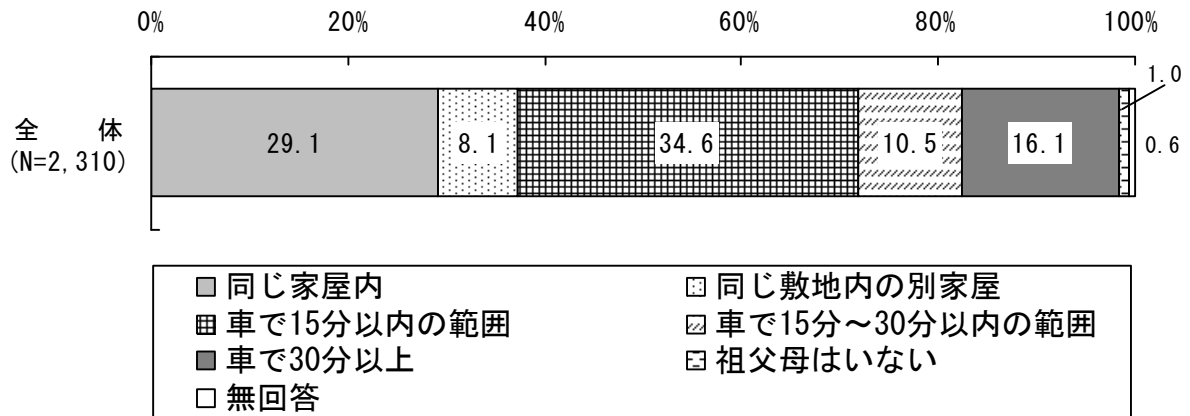
### ●家族構成●



家族の構成員については、「母」（99.3%）が最も多く、次いで、「父」（90.7%）などとなっている。子どもの人数は、「2人」（53.8%）が最も多く、次いで、「3人以上」（30.0%）などとなっている。家族構成は、「2世代」（63.4%）が最も多く、6割台半ばとなっており、次いで、「3世代以上」（31.5%）などとなっている。なお、父子家庭については、該当者はいたものの、全体に占める割合が少なく、少数第2位を四捨五入し算出したため0.0%となっている。

3) 祖父母の居住状況

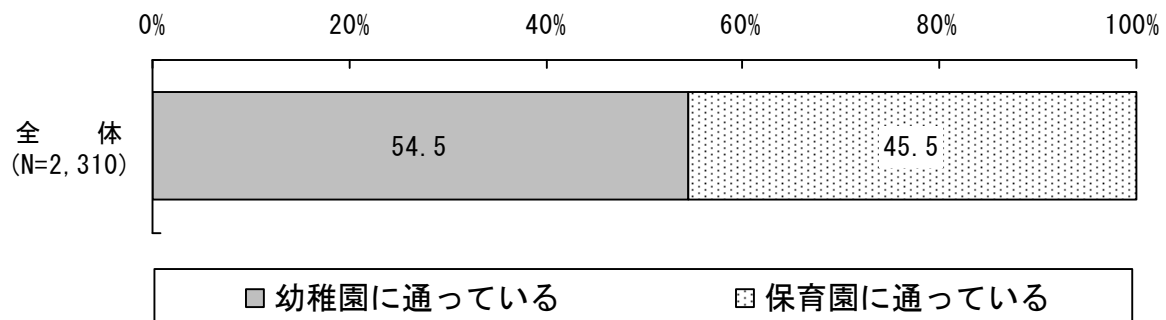
問3 お子様の祖父母は、自宅からどのくらいの距離に住んでいますか。(○は1つ)  
 ※祖父母が2組いる場合は、距離が近い祖父母でお答えください。



祖父母の居住状況は、「車で15分以内の範囲」(34.6%)が最も多く、次いで、「同じ家屋内」(29.1%)、「車で30分以上」(16.1%)などとなっている。

4) 子どもの就園状況

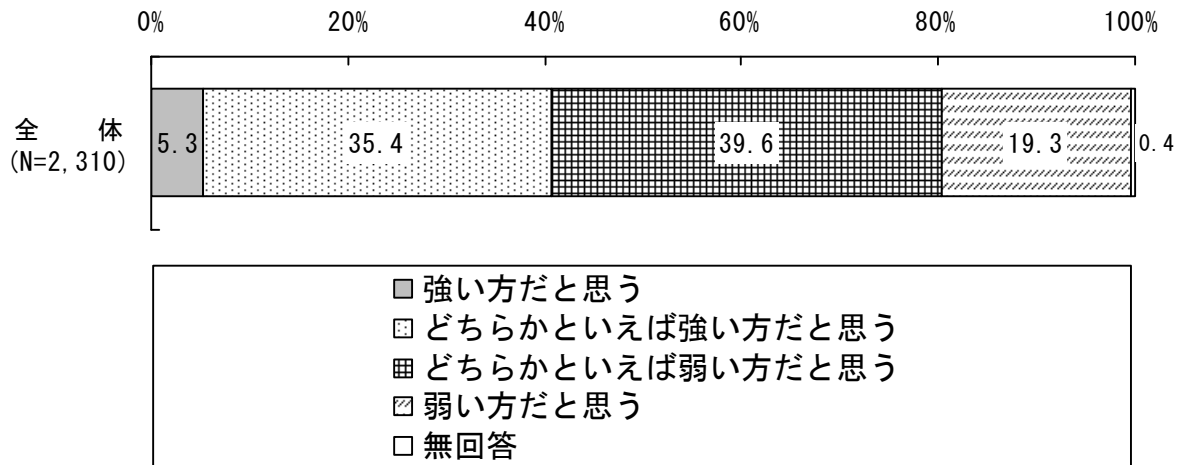
問4 お子様は、幼稚園または保育園のどちらに通っていますか。幼保園(こども園)の場合は、実態に近い形の方をお答えください。(○は1つ)



子どもの就園状況は、「幼稚園に通っている」(54.5%)が、「保育園に通っている」(45.5%)より、9ポイント多くなっている。

## 5) 地域とのつながり

問5 自分と地域の人たちのつながりについて、最も近いものを選んでください。(○は1つ)

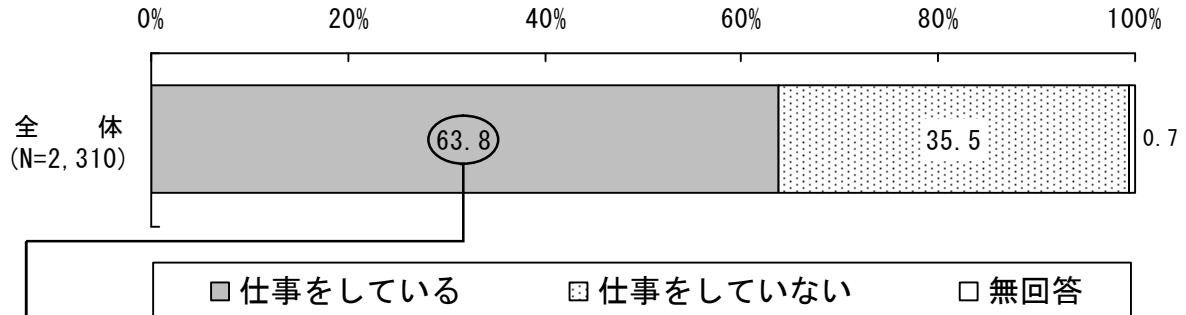


地域とのつながりは、「どちらかといえば弱い方だと思ふ」(39.6%)が最も多く、次いで、「どちらかといえば強い方だと思ふ」(35.4%)などとなっている。また、「どちらかといえば弱い方だと思ふ」(39.6%)と、「弱い方だと思ふ」(19.3%)を合わせた“弱い方だと思ふ”(58.9%)が、「強い方だと思ふ」(5.3%)と、「どちらかといえば強い方だと思ふ」(35.4%)を合わせた“強い方だと思ふ”(40.7%)より、18ポイント以上多くなっている。

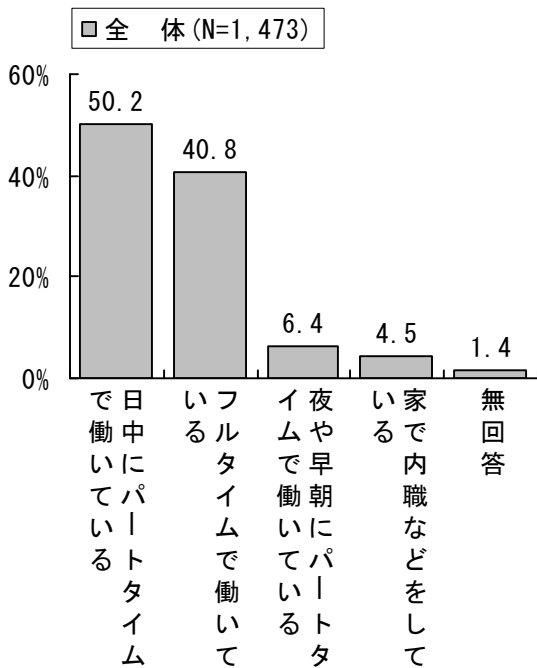
6) 回答者の就業状態

問6 あなたの就業状態はどのようなですか。(○は1つ)  
 問6-1 仕事の状況はどのようなですか。(○はあてはまるものを全て)  
 問6-2 仕事の休みはいつですか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

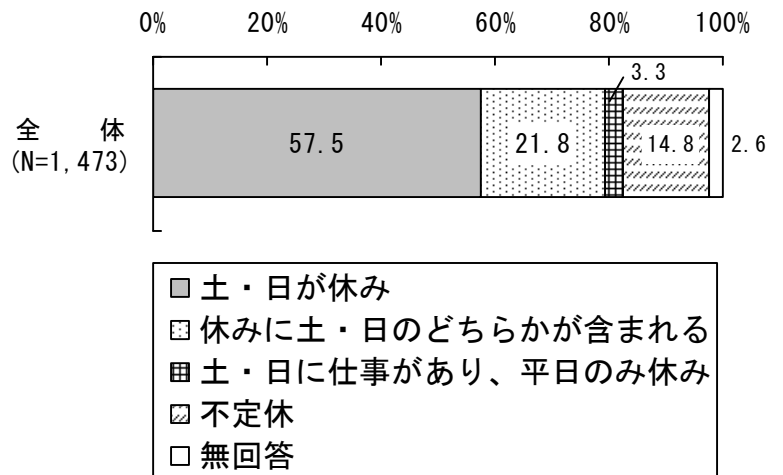
●就業状況●



●就業形態●



●休みの形態●



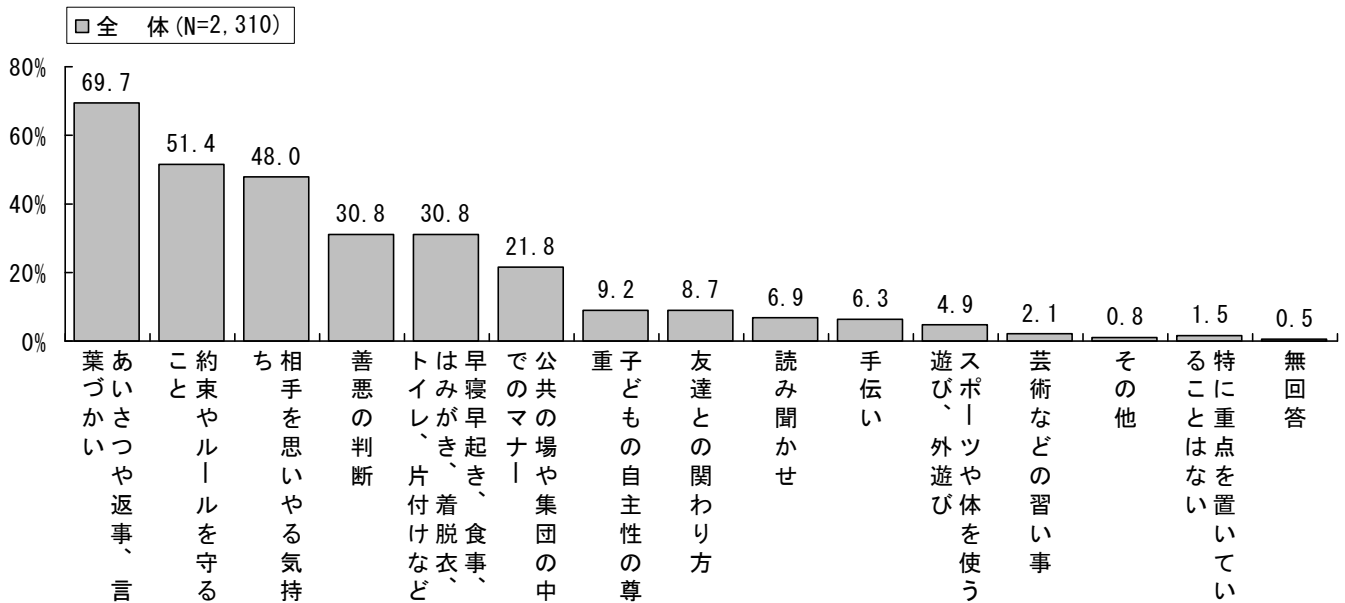
回答者の就業状況は、「仕事をしている」(63.8%)が、「仕事をしていない」(35.5%)より、28ポイント以上多くなっている。

仕事をしている人の就業形態は、「日中にパートタイムで働いている」(50.2%)が最も多く、次いで、「フルタイムで働いている」(40.8%)などとなっている。

仕事をしている人の休みの形態は、「土・日が休み」(57.5%)が最も多く、次いで、「休みに土・日どちらかが含まれる」(21.8%)などとなっている。

## 7) 家庭教育で力を入れていること

問7 お子様への家庭教育（しつけ等）の中で、特に力を入れていること3つをお答えください。（〇は3つ）

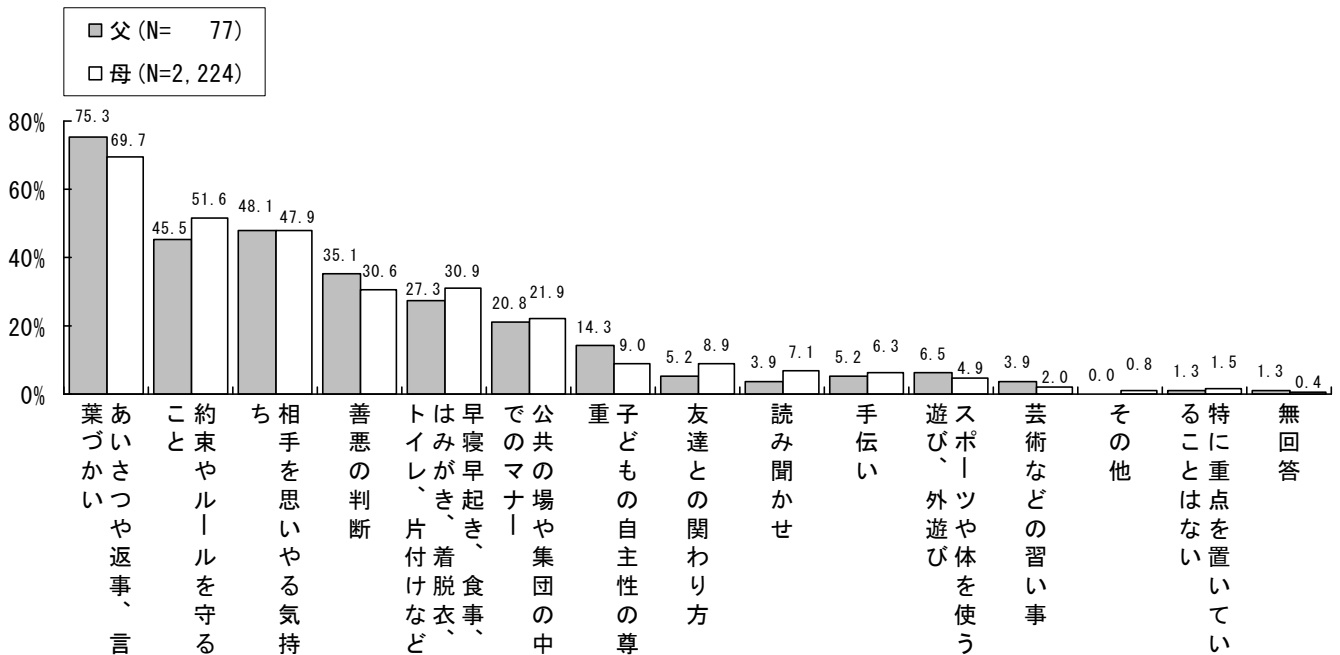


**\*\* 家庭教育で力を入れていることは「あいさつや返事、言葉づかい」が約7割 \*\***

家庭教育で力を入れていることは、「あいさつや返事、言葉づかい」(69.7%)が最も多く、約7割を占めている。次いで、「約束やルールを守ること」(51.4%)、「相手を思いやる気持ち」(48.0%)などとなっている。



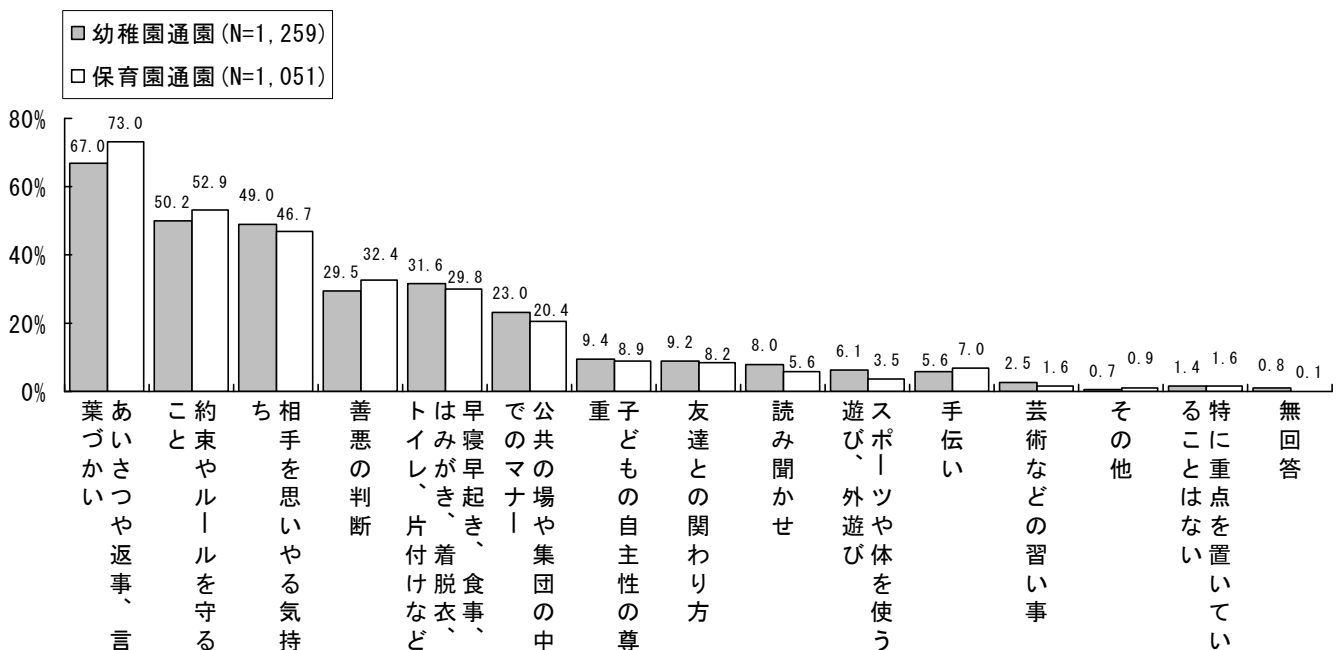
◆ 〈回答者別〉家庭教育で力を入れていること



\* 項目により、父と母で、家庭教育で力を入れていることに差はみられない。

回答者別では、「あいさつや返事、言葉づかい」は、父（75.3%）が母（69.7%）より 5.6 ポイント多くなっている。また、「約束やルールを守ること」は、母（51.6%）が父（45.5%）より 6.1 ポイント多くなっているものの、回答者別で差はみられない。

◆ 〈就園状況別〉家庭教育で力を入れていること

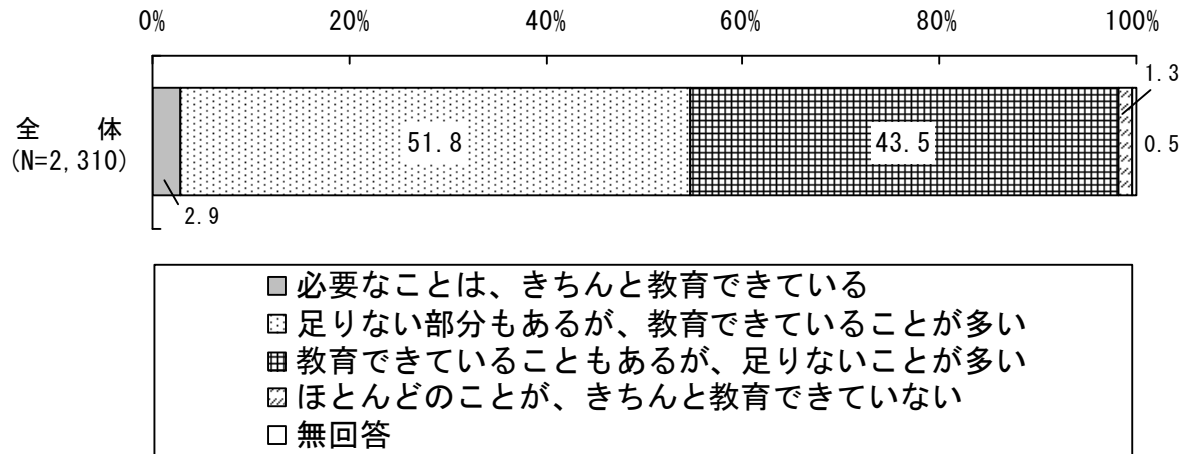


\* 「あいさつや返事、言葉づかい」は保育園通園が 73.0% と多い。

就園状況別では、「あいさつや返事、言葉づかい」は、保育園通園（73.0%）が幼稚園通園（67.0%）より 6.0 ポイント多くなっており、わずかに差がみられるものの、他の項目では大きな差はみられない。

## 8) 家庭教育の状況

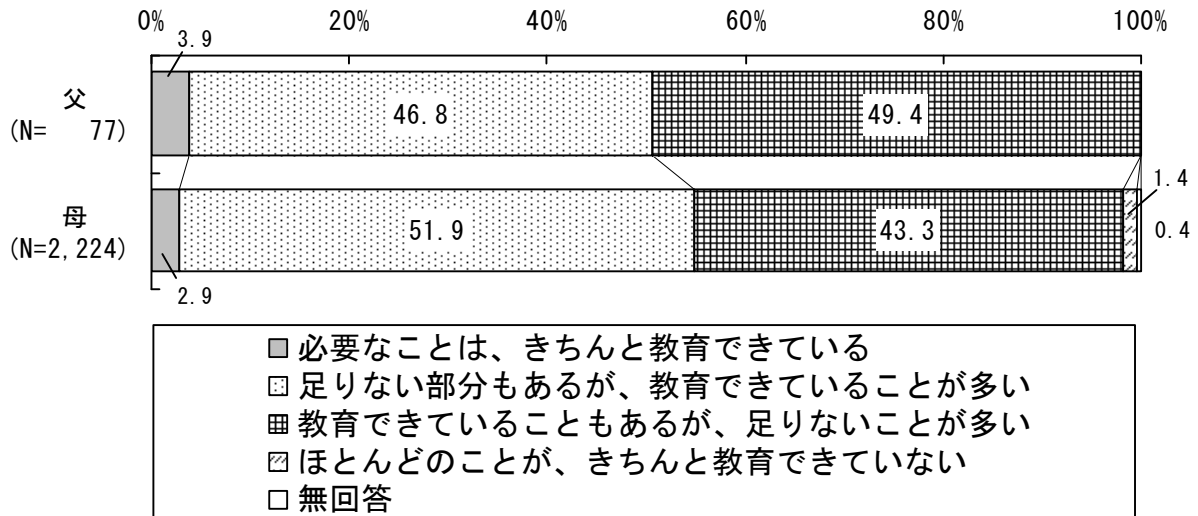
問8 お子様への家庭教育（しつけ等）の状況について、ご自分ではどのように思っていますか。最も近いものを選んでください。（○は1つ）



**\*\* 家庭教育の状況は“教育できている”が“教育できていない”より多い \*\***

家庭教育の状況は、「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」（51.8%）が最も多く、次いで、「教育できていることもあるが、足りないことが多い」（43.5%）などとなっている。また、「必要なことは、きちんと教育できている」（2.9%）と、「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」（51.8%）を合わせた“教育できている”（54.7%）が、「教育できていることもあるが、足りないことが多い」（43.5%）と、「ほとんどのことが、きちんと教育できていない」（1.3%）を合わせた“教育できていない”（44.8%）より、9.9ポイント多くなっている。

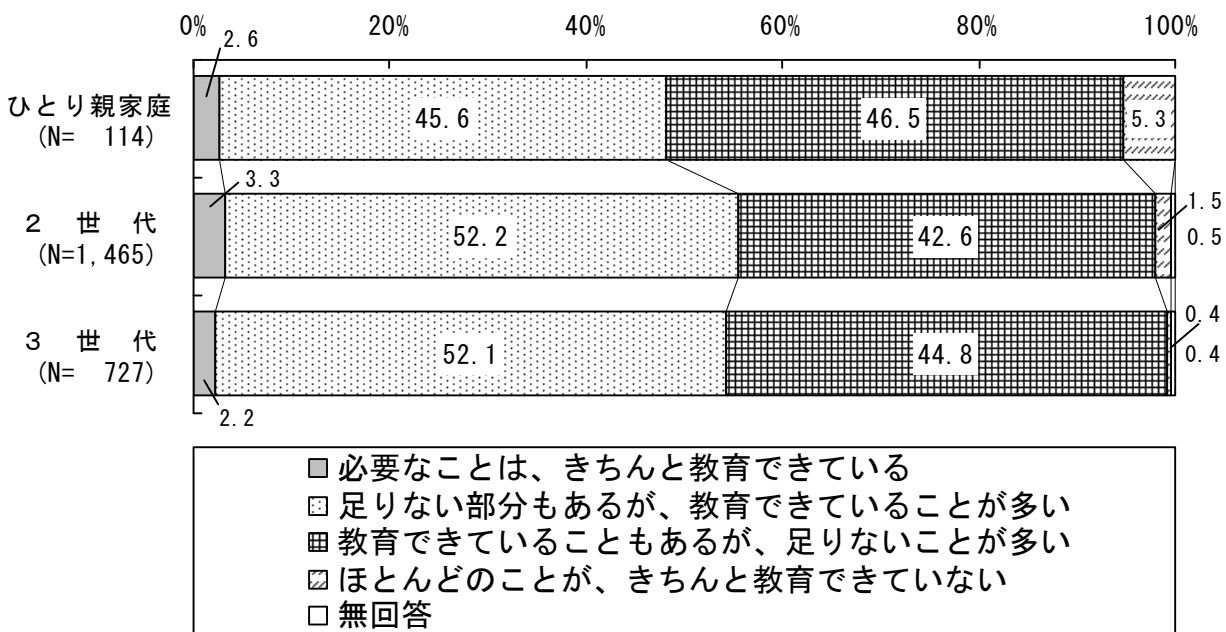
◆ 〈回答者別〉家庭教育の状況



\* 父母ともに“教育できている”が約半数。

回答者別では、「必要なことは、きちんと教育できている」と「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」を合わせた“教育できている”は、母（54.8%）が父（50.7%）に比べわずかに多くなっているものの、大きな差はみられない。

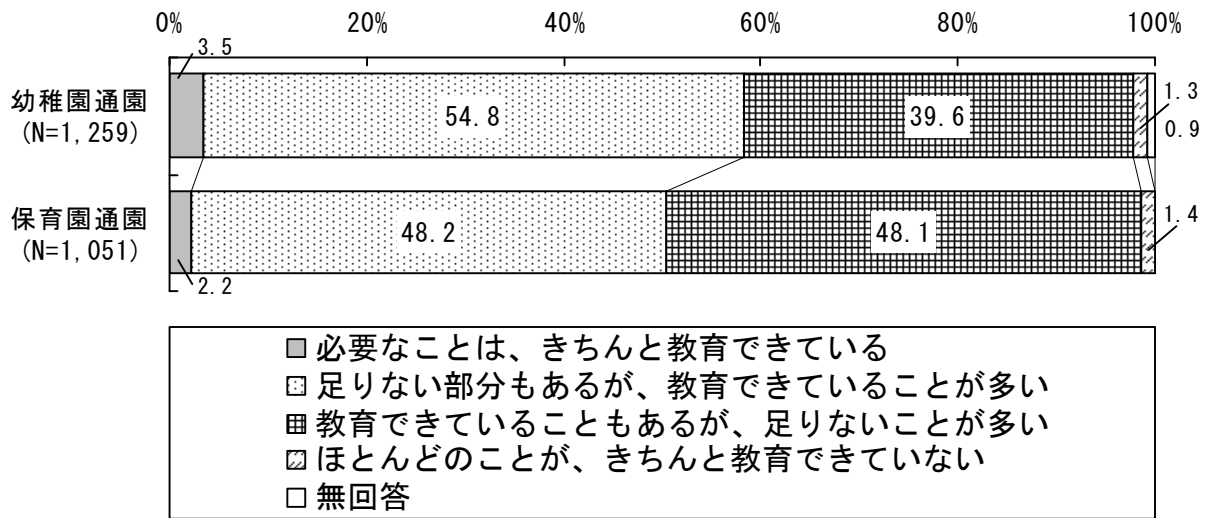
◆ 〈家族構成別〉家庭教育の状況



\* 家庭教育ができていると感じているのは、2世代以上の家族構成。

家族構成別では、「必要なことは、きちんと教育できている」と「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」を合わせた“教育できている”は、2世代（55.5%）と3世代（54.3%）がともに5割台半ばと、ひとり親家庭（48.2%）に比べ6ポイント以上多くなっており、家族構成別で差がみられる。

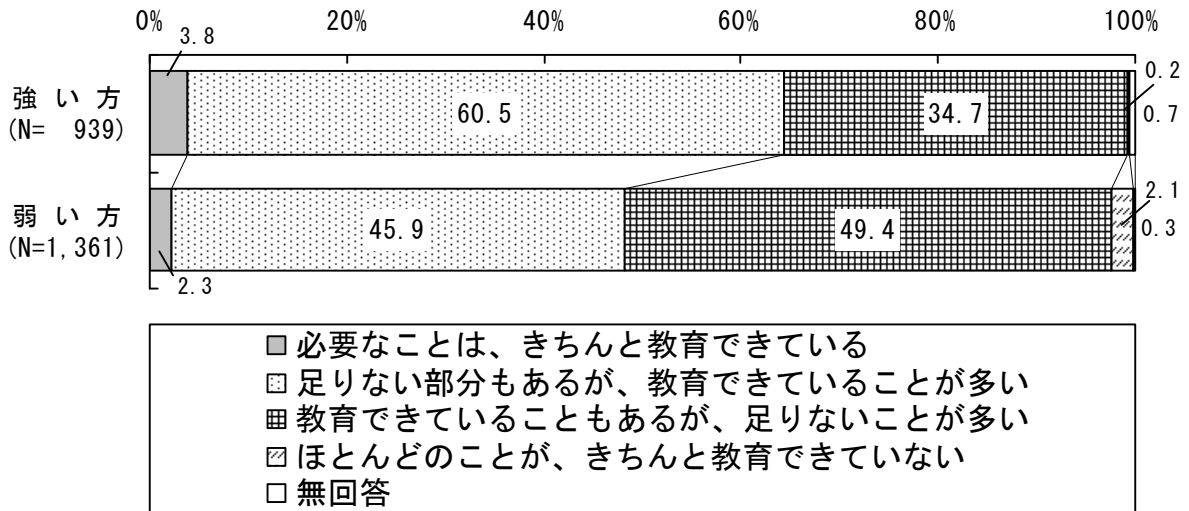
◆ 〈就園状況別〉家庭教育の状況



\* 幼稚園通園の約6割が、家庭教育ができていると感じている。

就園状況別では、「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」は、幼稚園通園（54.8%）が保育園通園（48.2%）より 6.6 ポイント多くなっている。特に、「必要なことは、きちんと教育できている」と「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」を合わせた“教育できている”では、幼稚園通園（58.3%）が保育園通園（50.4%）より 7.9 ポイント多くなっている。

◆ 〈地域のつながりの有無別〉家庭教育の状況



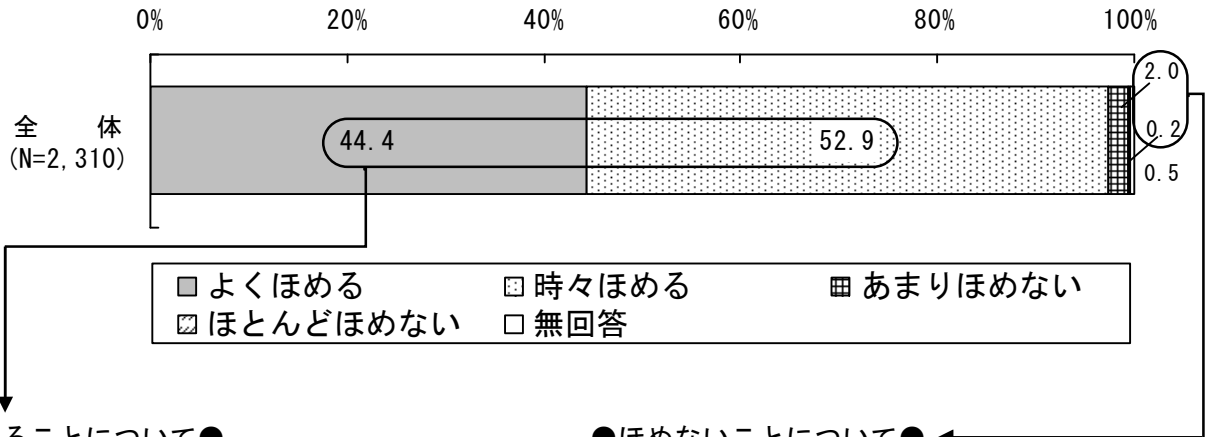
\* 地域とのつながりが強い方が、家庭教育ができていると感じている人が多い。

地域のつながりの有無別では、「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」は、強い方（60.5%）が弱い方（45.9%）より 14.6 ポイント多くなっており、大きな差がみられる。また、「教育できていることもあるが、足りないことが多い」は、弱い方（49.4%）が強い方（34.7%）より 14.7 ポイント多くなっており、地域のつながりの有無により、大きな差がみられる。

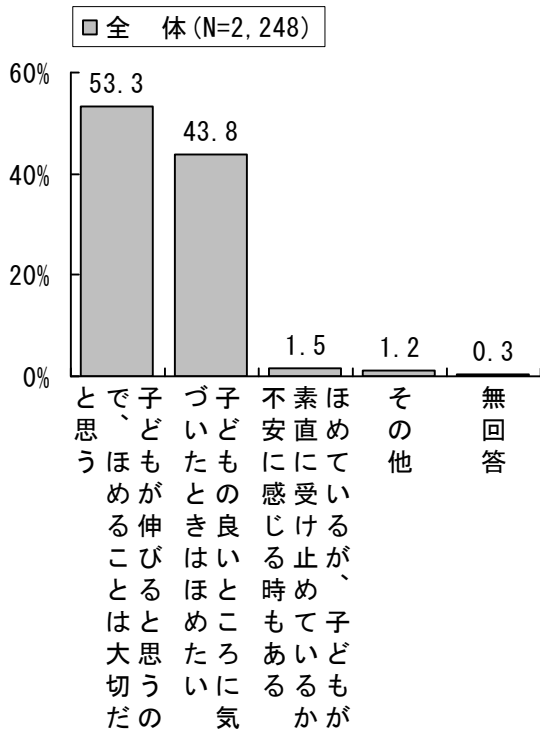
9) 子どもをほめるか

問9 お子様とのかかわりの中で、お子様をほめることはありますか。(○は1つ)  
 問9-1 ほめることについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください(○は1つ)  
 問9-2 ほめないことについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください(○は1つ)

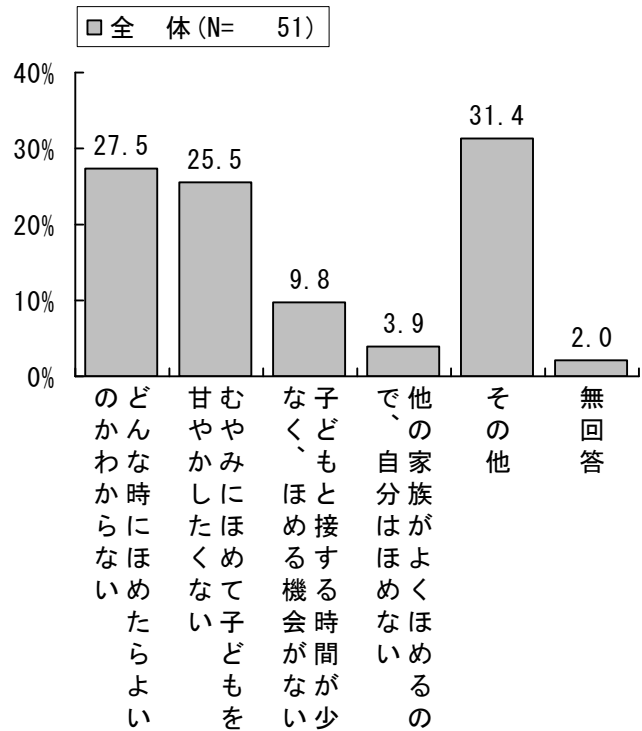
●子どもをほめるか●



●ほめることについて●



●ほめないことについて●



**\*\* 子どもを“ほめる”が97.3%と圧倒的に多い \*\***

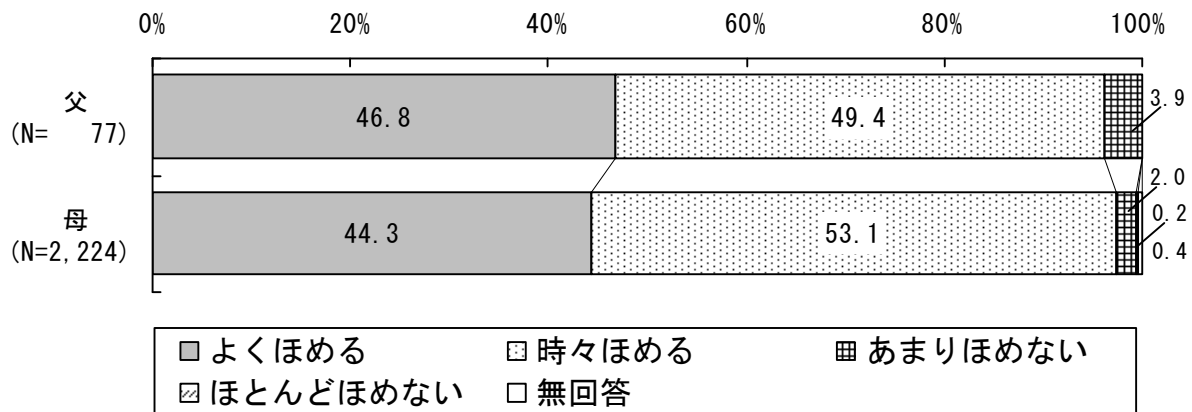
---

子どもをほめるかという設問については、「時々ほめる」(52.9%)が最も多く、次いで、「よくほめる」(44.4%)などとなっている。これらを合わせた“ほめる”(97.3%)が、「あまりほめない」(2.0%)と、「ほとんどほめない」(0.2%)を合わせた“ほめない”(2.2%)より圧倒的に多くなっている。

子どもをほめることについては、「子どもが伸びると思うので、ほめることは大切だと思う」(53.3%)が最も多く、次いで、「子どもの良いところに気づいたときはほめたい」(43.8%)などとなっている。

子どもをほめないことについては、「どんな時にほめたらよいかわからない」(27.5%)が最も多く、次いで、「むやみにほめて子どもを甘やかしたくない」(25.5%)などとなっている。また、その他(31.4%)の意見としては、「自分に余裕がなく、ほめられない」や「ほめたいと思うがほめるところがない」といった意見が多くみられた。

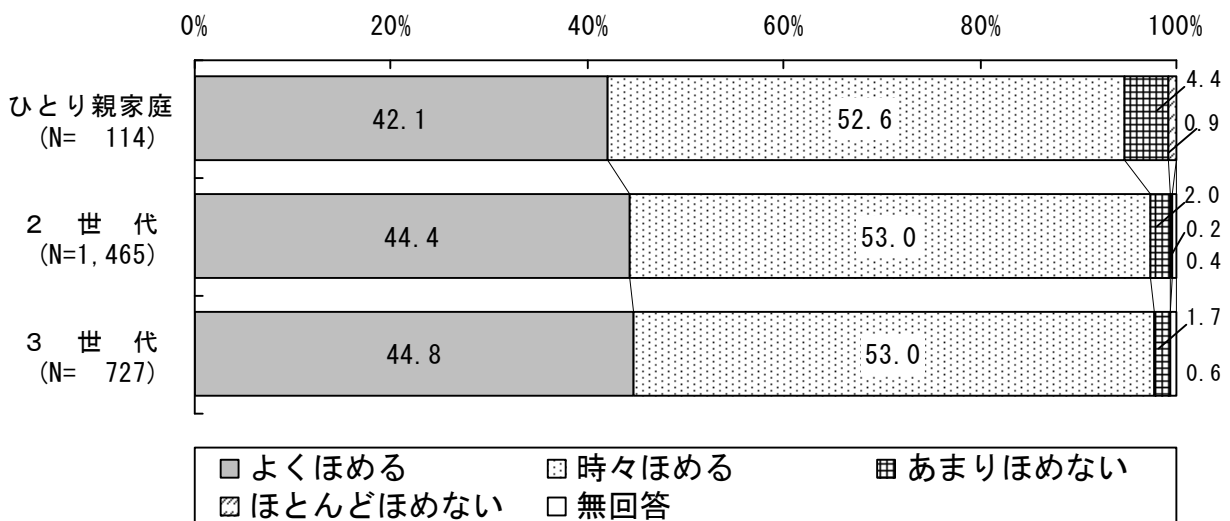
◆ 〈回答者別〉子どもをほめるか



\* 父と母で、子どもをほめるかどうかの差はあまりみられない。

回答者別では、「よくほめる」は、父（46.8%）が母（44.3%）に比べわずかに多くなっているものの、回答者別で大きな差はみられない。

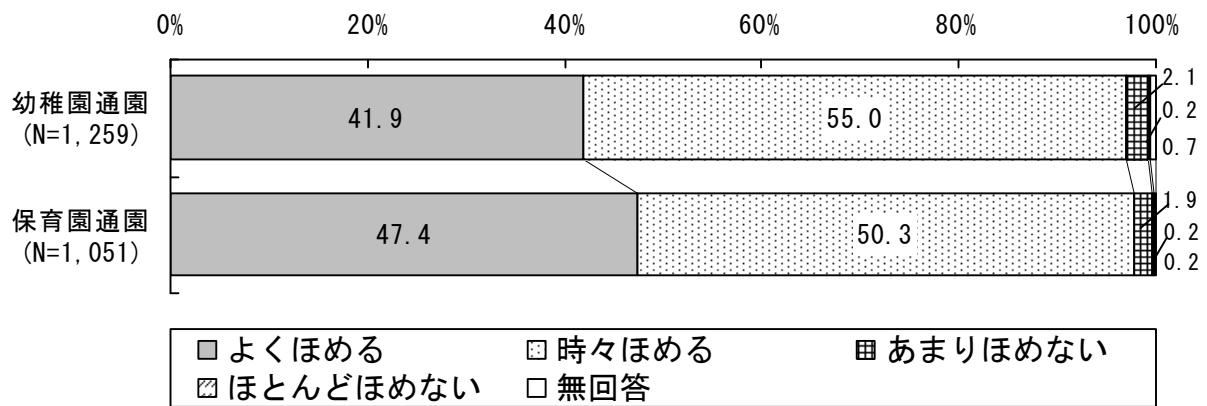
◆ 〈家族構成別〉子どもをほめるか



\* 家族構成別で、子どもをほめるかどうかの差はあまりみられない。

家族構成別では、「時々ほめる」は、2世代、3世代（53.0%）がともに5割台半ばで多く、ひとり親家庭（52.6%）に比べわずかに多くなっているものの、家族構成別で大きな差はみられない。

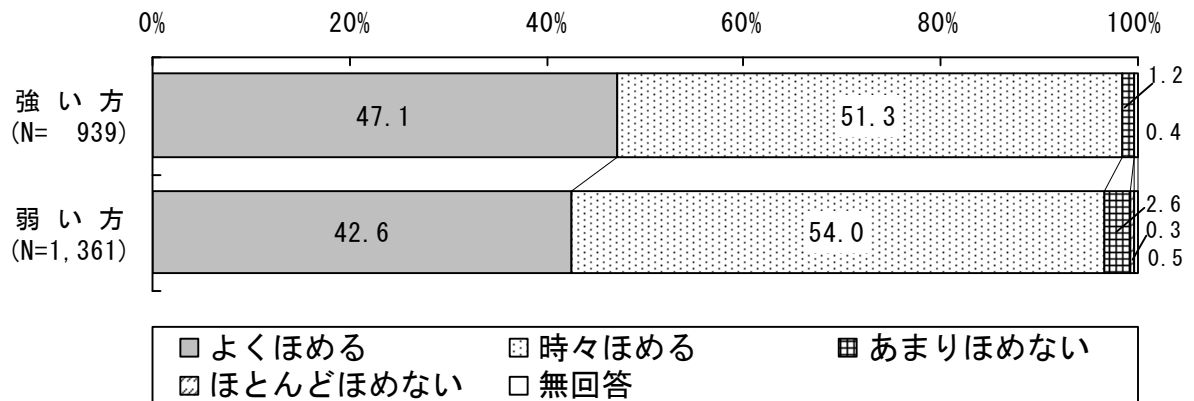
◆ 〈就園状況別〉子どもをほめるか



\* 就園状況別で子どもをほめる傾向に差はみられない。

就園状況別では、「よくほめる」は、保育園通園（47.4%）が幼稚園通園（41.9%）より 5.5 ポイント多くなっているものの、就園状況別で大きな差はみられない。

◆ 〈地域のつながりの有無別〉子どもをほめるか

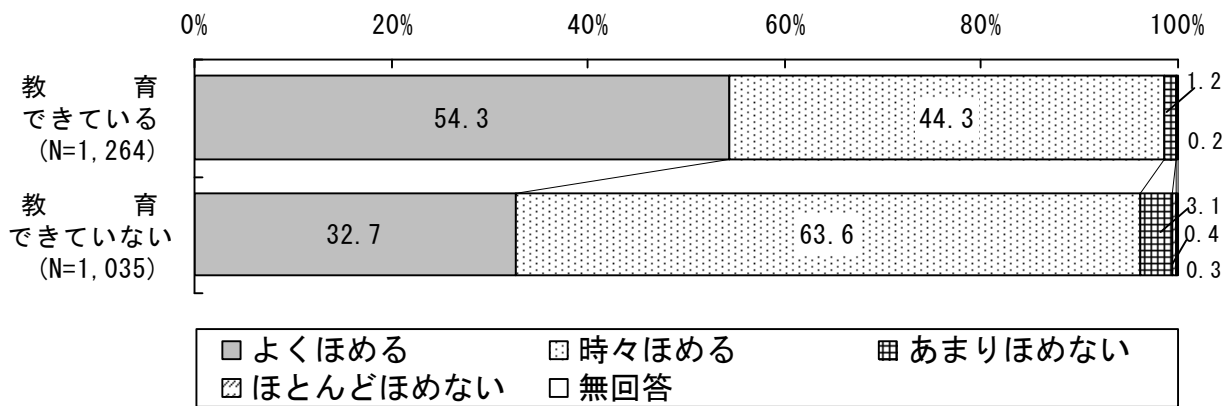


\* 地域とのつながりの有無で差はあまりみられない。

地域のつながりの有無別では、「時々ほめる」は、弱い方（54.0%）が強い方（51.3%）に比べわずかに多くなっているものの、地域のつながりの有無別で大きな差はみられない。



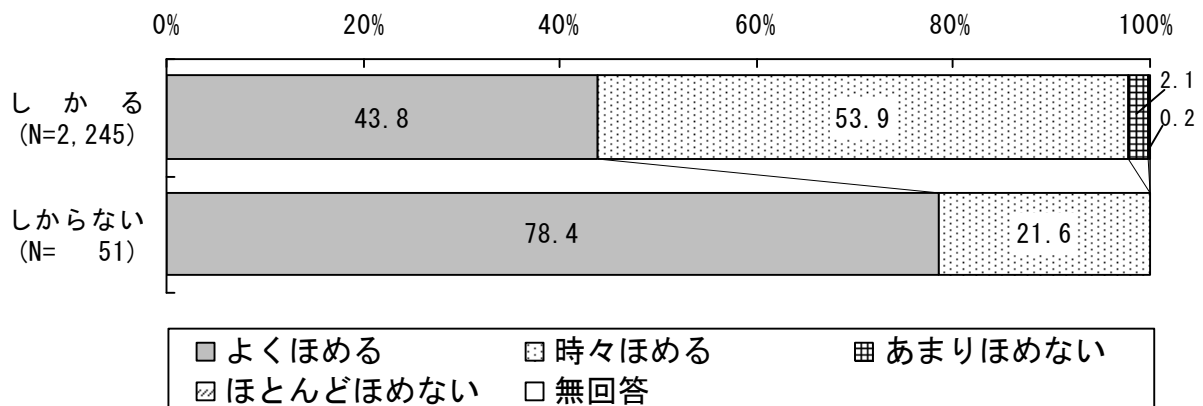
◆ 〈家庭教育の状況別〉子どもをほめるか



\*教育できていると感じている親の方が子どもをほめる頻度が多い。

家庭教育の状況別では、「よくほめる」と「時々ほめる」を合わせた“ほめる”は、教育できている（98.6%）と教育できていない（96.3%）で大きな差はみられないものの、「よくほめる」は、教育できている（54.3%）が教育できていない（32.7%）より 21.6 ポイント多くなっており、家庭教育の状況別で大きな差がみられる。

◆ 〈問10 子どもをしかるか別〉子どもをほめるか



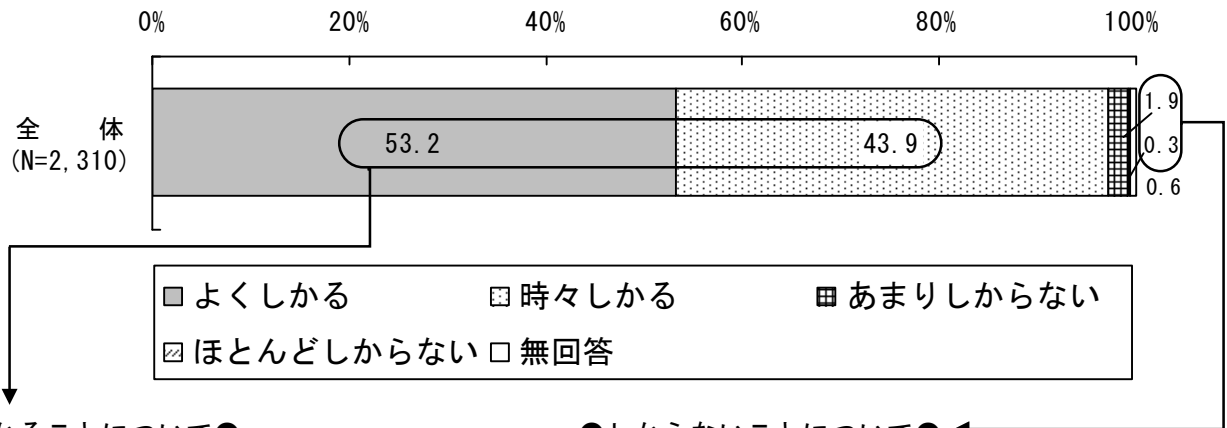
\*子どもをしからない人の方が子どもをほめる頻度が多い傾向にある。

問10の子どもをしかるかの回答別では、「よくほめる」は、しからない（78.4%）がしかる（43.8%）より 34.6 ポイント多くなっており、子どもをしからない親の方が子どもをよくほめる傾向にある。

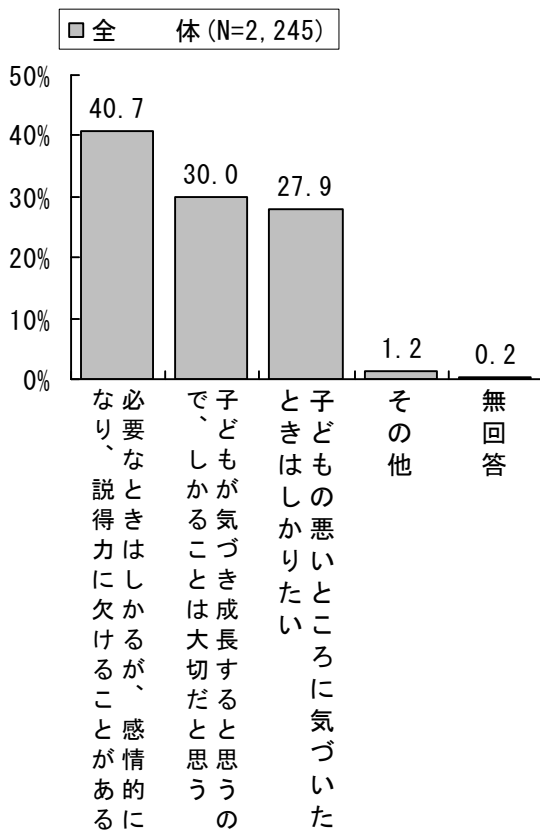
## 10) 子どもをしかるか

問10 お子様とのかかわりの中で、お子様をしかることはありますか。(○は1つ)  
 問10-1 しかることについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください(○は1つ)  
 問10-2 しからないことについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください(○は1つ)

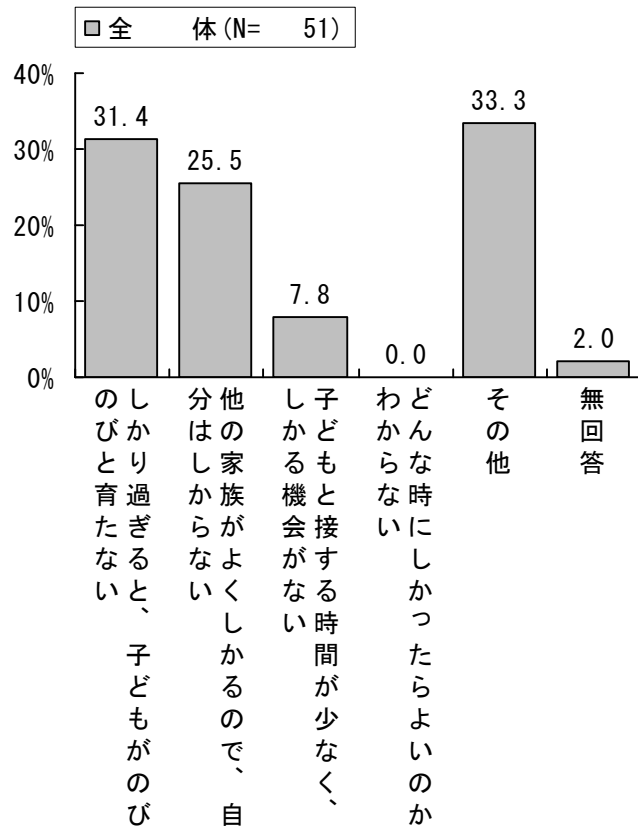
### ●子どもをしかるか●



### ●しかることについて●



### ●しからないことについて●



### **\*\* 子どもを“しかる”が97.1%と、“ほめる”とほぼ同数 \*\***

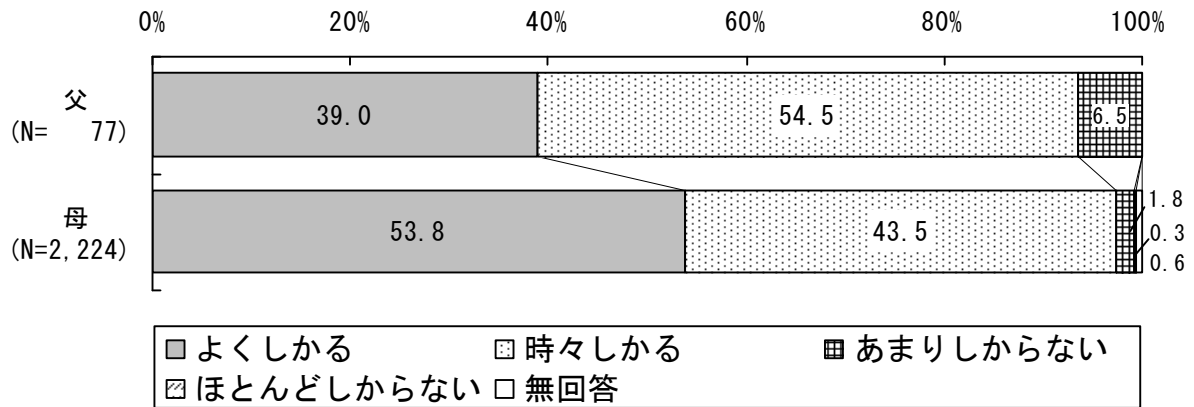
---

子どもをしかるかという設問については、「よくしかる」(53.2%)が最も多く、次いで、「時々しかる」(43.9%)などとなっている。これらを合わせた“しかる”(97.1%)が、「あまりしからない」(1.9%)と、「ほとんどしからない」(0.3%)を合わせた“しからない”(2.2%)より圧倒的に多くなっている。

子どもをしかることについては、「必要なときはしかるが、感情的になり、説得力に欠けることがある」(40.7%)が最も多く、次いで、「子どもが気づき成長すると思うので、しかることは大切だと思う」(30.0%)などとなっている。

子どもをしからないことについては、「しかり過ぎると、子どもがのびのびと育たない」(31.4%)が最も多く、次いで、「他の家族がよくしかるので、自分はしからない」(25.5%)などとなっている。また、その他(33.3%)の意見としては、「あまりしかるようなことをしない」や「一緒に考えて解決するためしからない」といった意見が多くみられた。

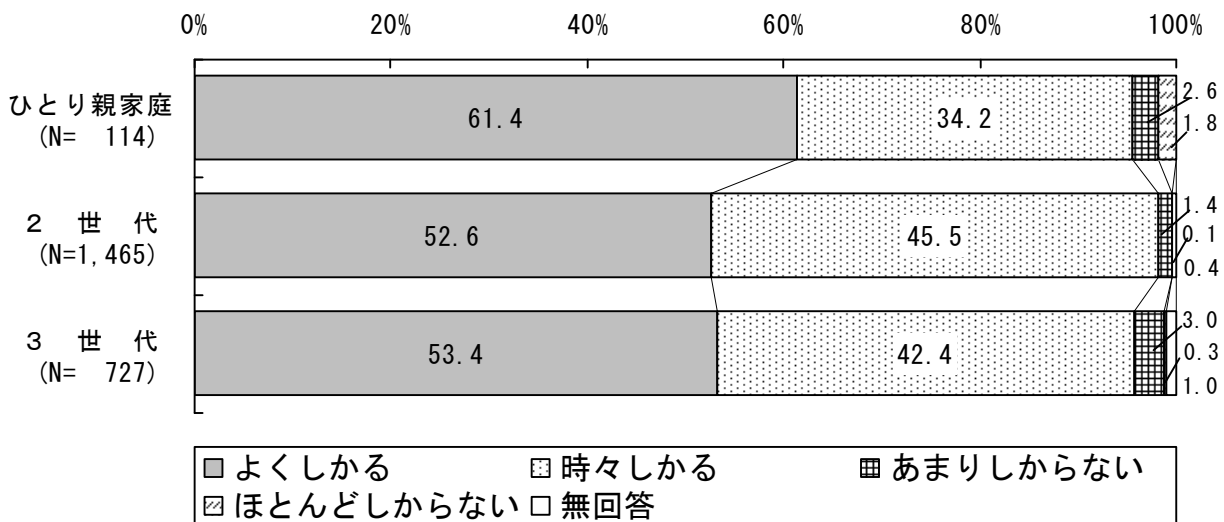
◆ 〈回答者別〉子どもをしかるか



\* 母親の方が子どもをしかる頻度が多い傾向にある。

回答者別では、「よくしかる」は、母（53.8%）が父（39.0%）より 14.8 ポイント多くなっており、大きな差がみられる。一方、「あまりしからない」は、父（6.5%）が母（1.8%）より 4.7 ポイント多くなっており、回答者別で差がみられる。

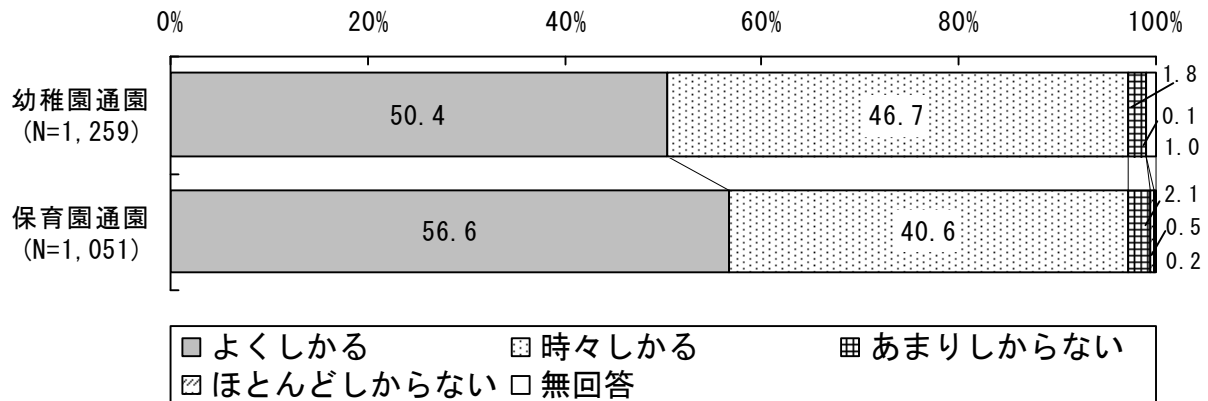
◆ 〈家族構成別〉子どもをしかるか



\* ひとり親家庭の6割超が、子どもを「よくしかる」。

家族構成別では、「よくしかる」は、ひとり親家庭（61.4%）が6割を超え、3世代（53.4%）や2世代（52.6%）より 8 ポイント以上多くなっており、家族構成別で差がみられる。

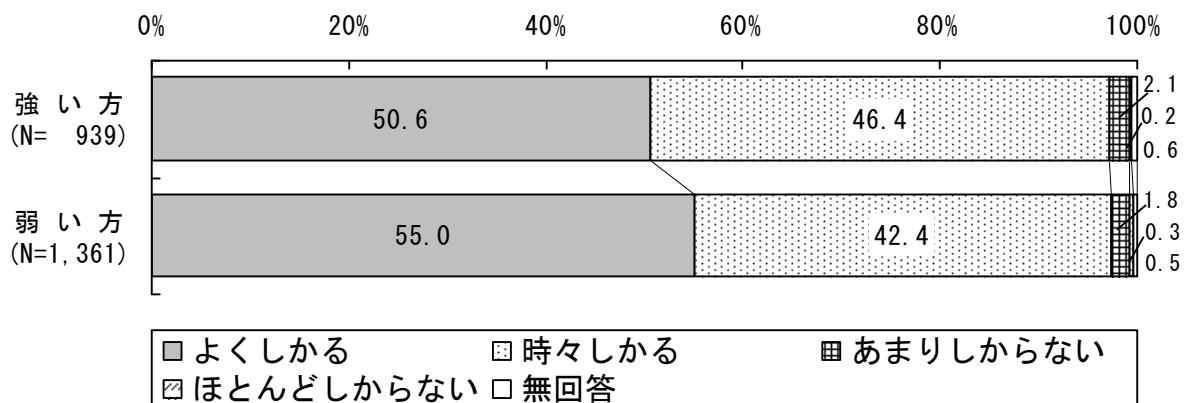
◆ 〈就園状況別〉子どもをしかるか



\* 就園状況別で、子どもをしかる傾向に差はみられない。

就園状況別では、「よくしかる」は、保育園通園（56.6%）が幼稚園通園（50.4%）より 6.2 ポイント多くなっているものの、就園状況別で大きな差はみられない。

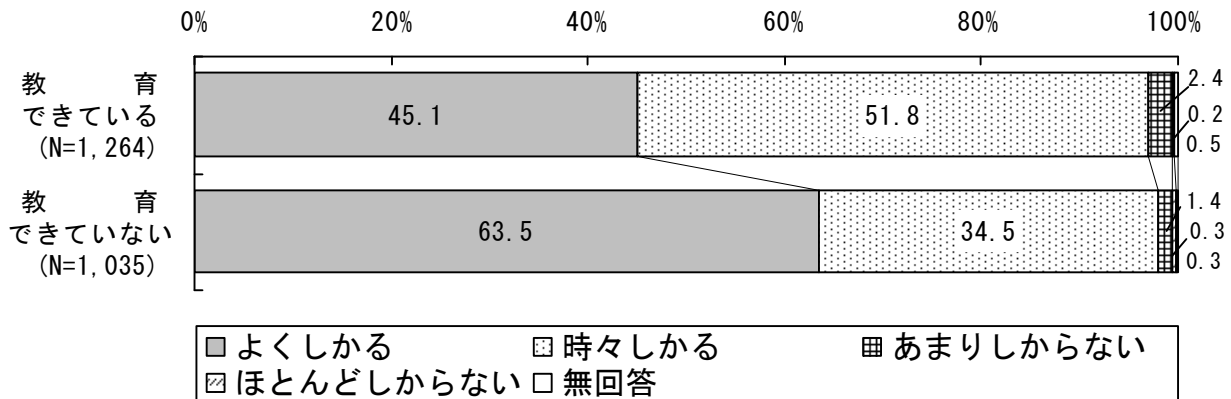
◆ 〈地域のつながりの有無別〉子どもをしかるか



\* 地域とのつながりの強い方・弱い方で、しかる頻度に大きな差はみられない。

地域のつながりの有無別では、「よくしかる」は、弱い方（55.0%）が強い方（50.6%）に比べわずかに多くなっているものの、地域のつながりの有無別であり差はみられない。

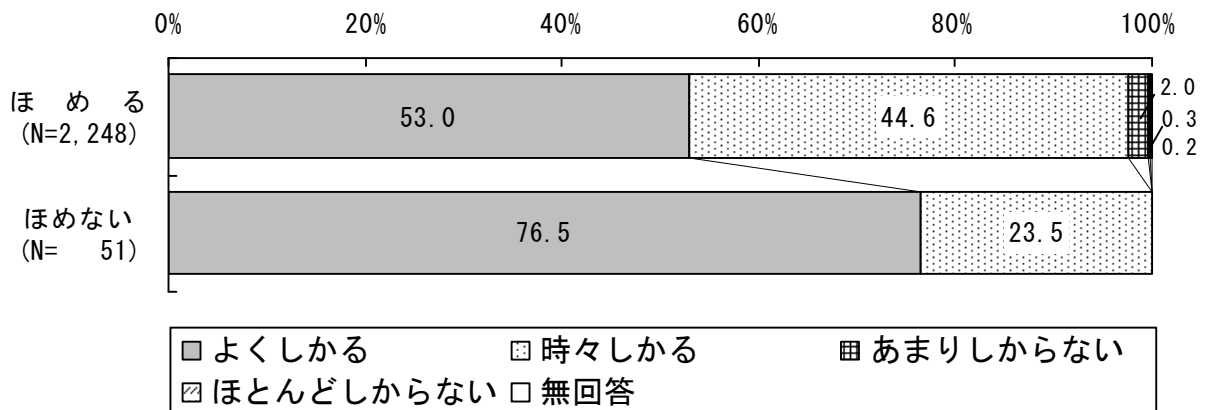
◆ 〈家庭教育の状況別〉子どもをしかるか



\*教育できていないと感じている人の方が、子どもをしかる頻度が多い傾向にある。

家庭教育の状況別では、「よくしかる」と「時々しかる」を合わせた“しかる”は、教育できている（96.9%）と教育できていない（98.0%）で大きな差はみられないものの、「よくしかる」は、教育できていない（63.5%）が教育できている（45.1%）より 18.4 ポイント多くなっており、家庭教育の状況別で大きな差がみられる。

◆ 〈問9子どもをほめるか別〉子どもをしかるか



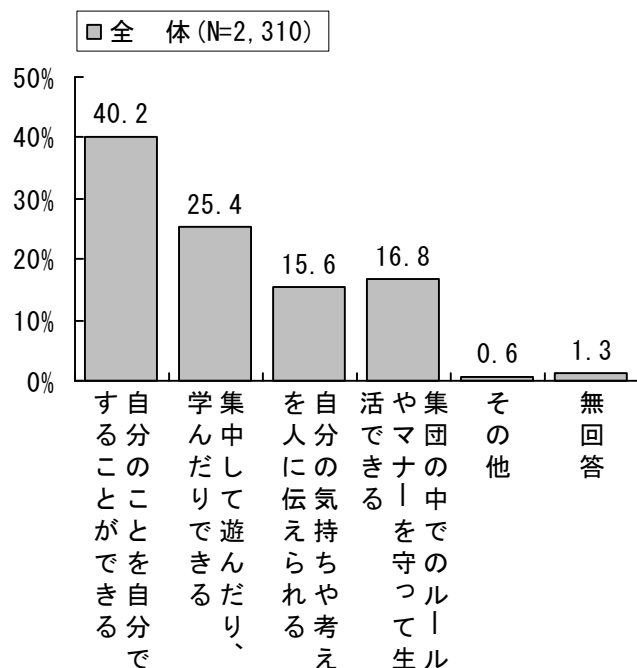
\*子どもをほめない人の方が子どもをしかる頻度が多い傾向にある。

問9の子どもをほめるかの回答別では、「よくしかる」と「時々しかる」を合わせた“しかる”は、ほめる（97.6%）とほめない（100.0%）で大きな差はみられないものの、「よくしかる」は、ほめない（76.5%）がほめる（53.0%）より 23.5 ポイント多くなっており、大きな差がみられる。

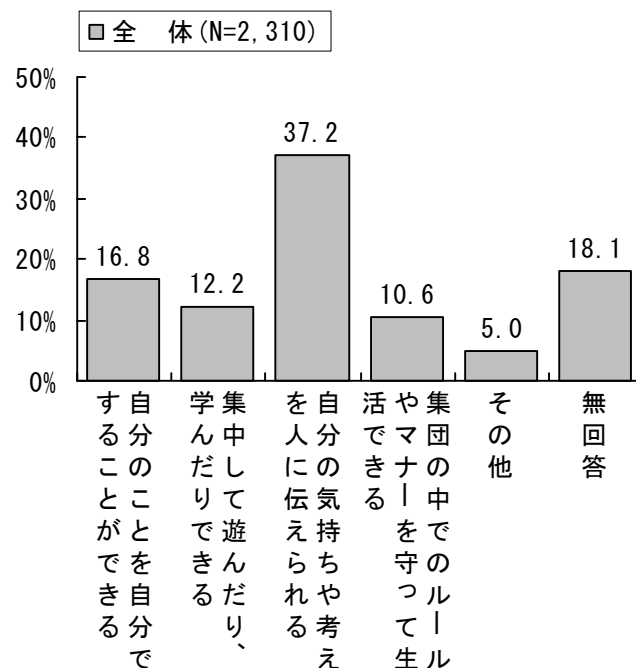
11) 子どもに身についていると感じるもの・身についていないと感じるもの

問11 お子様に身についていると感じるものはどれですか。一番あてはまるものに○を1つつけてください。また、身についていないと感じるものはどれですか。一番当てはまるものに×を1つつけてください。

●身についていると感じるもの●



●身についていないと感じるもの●

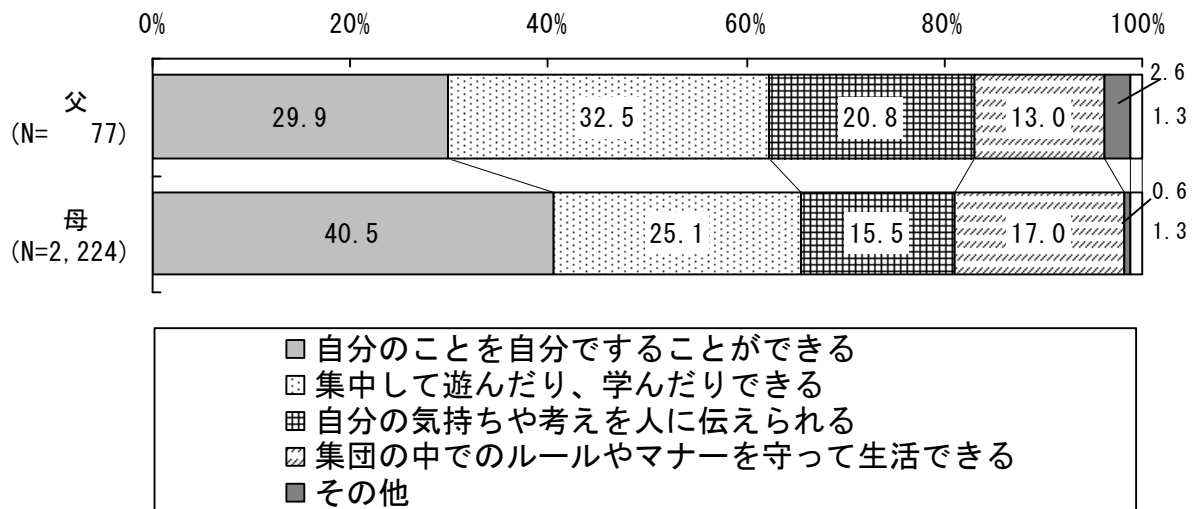


＊ ＊ “自分のことを自分ですること”は身についているが、  
 “自分の気持ちや考えを人に伝えること”は身についていないと感じている ＊ ＊

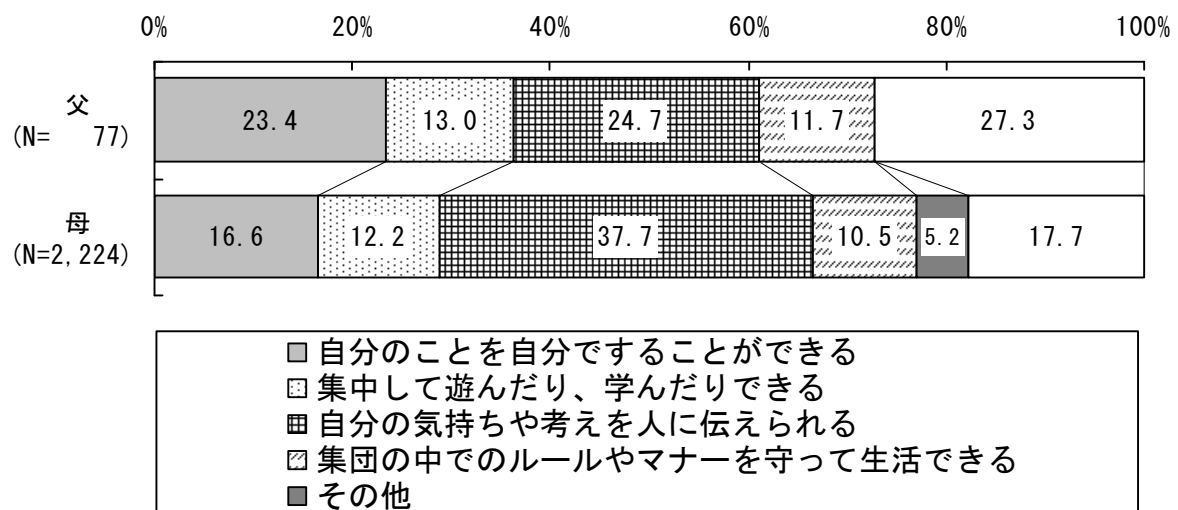
子どもに身についていると感じるものは、「自分のことを自分ですることができる」(40.2%)が最も多く、次いで、「集中して遊んだり、学んだりできる」(25.4%)などとなっている。一方、子どもに身についていないと感じるものは、「自分の気持ちや考えを人に伝えられる」(37.2%)が最も多く、約4割となっている。

◆ 〈回答者別〉子どもに身につけている（いない）と感じるもの

●身につけていると感じるもの●



●身につけていないと感じるもの●



\* 身につけていないと感じるものは、父と母で差はみられない。

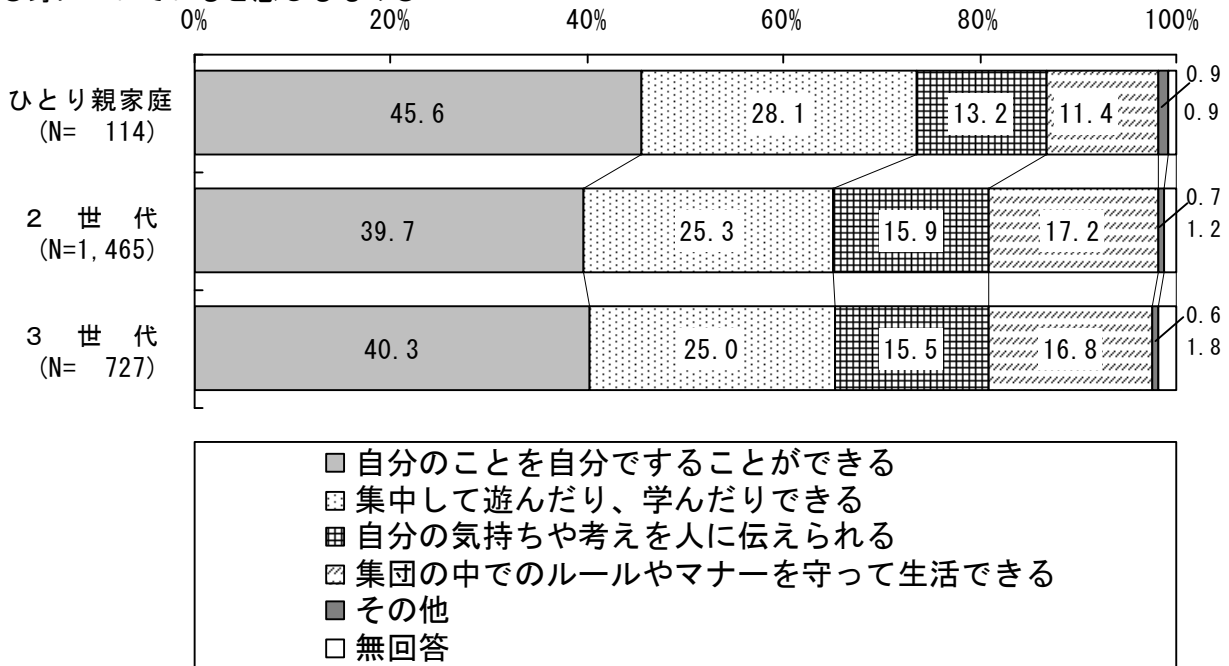
回答者別にみた子どもに身につけていると感じるものについては、父は、「集中して遊んだり、学んだりできる」(32.5%)が1位、次いで「自分のことを自分ですることができる」(29.9%)、「自分の気持ちや考えを人に伝えられる」(20.8%)、母は、「自分のことを自分ですることができる」(40.5%)が1位、次いで「集中して遊んだり、学んだりできる」(25.1%)、「集団の中でのルールやマナーを守って生活できる」(17.0%)となっており、回答者別で子どもに身につけていると感じるものに差がみられる。

回答者別にみた子どもに身につけていないと感じるものについては、父・母ともに1位から3位までの項目に違いはないものの、項目別にみても、「自分の気持ちや考えを人に伝えられる」は、母(37.7%)が父(24.7%)より13.0ポイント多くなっており、項目により、回答者別で大きな差がみられる。

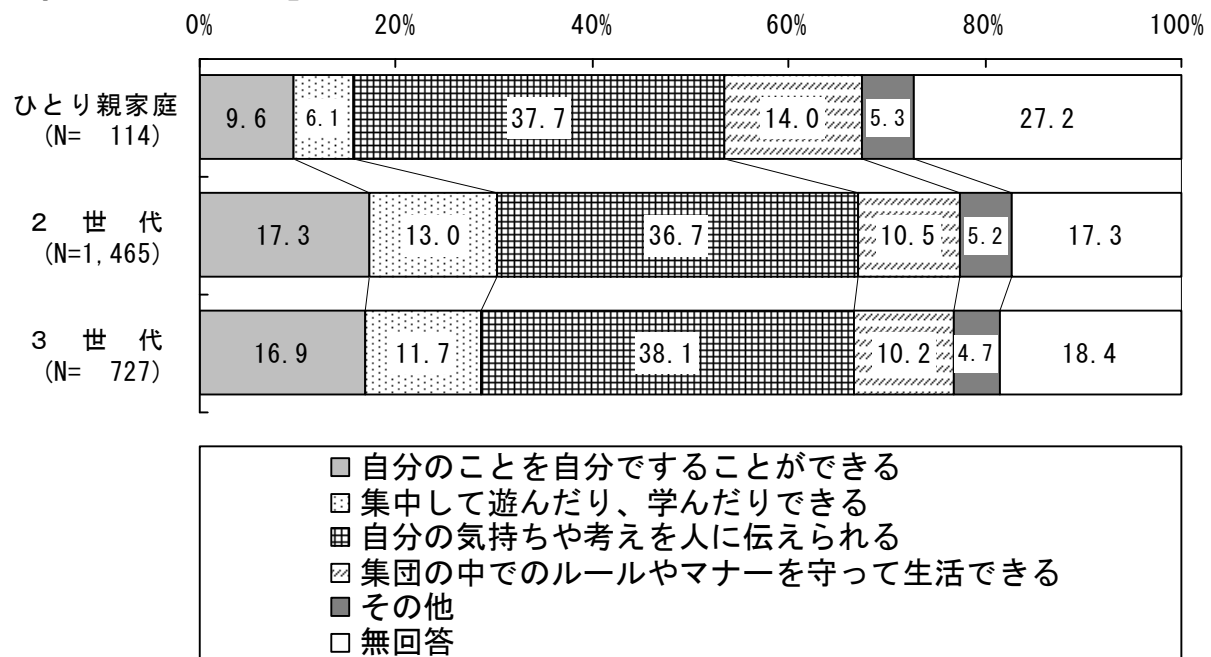


◆ 〈家族構成別〉子どもに身についている（いない）と感じるもの

●身についていると感じるもの●



●身につけていないと感じるもの●



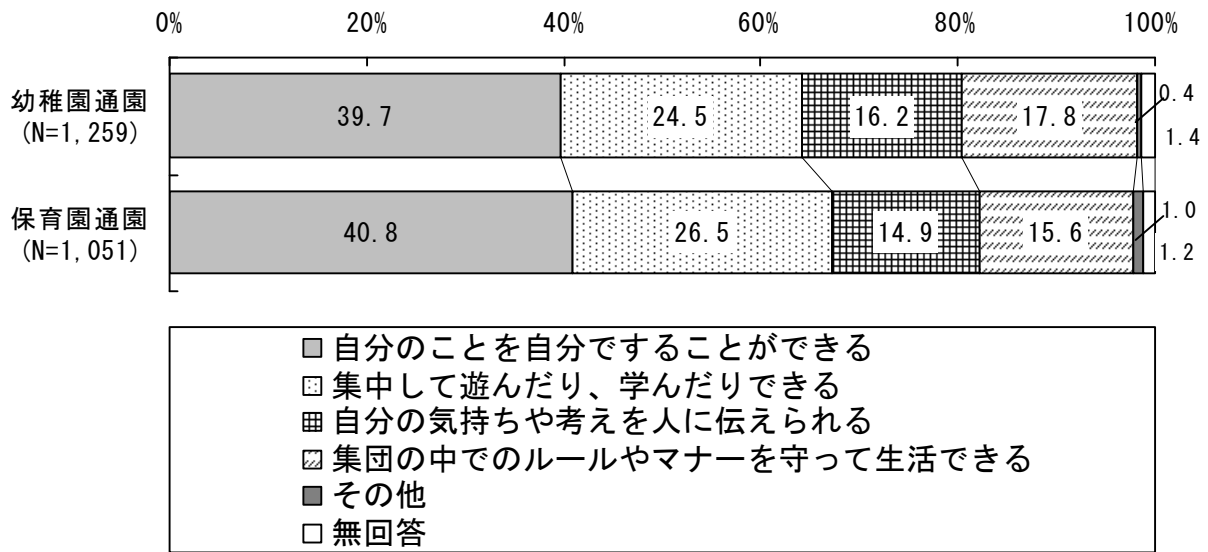
\*ひとり親家庭のみ、身につけている（いない）と感じるものが、他の家族構成と異なっている。

家族構成別にみた子どもに身につけていると感じるものについては、ひとり親家庭・2世代・3世代ともに1位から2位までの項目に違いはないものの、ひとり親家庭では「自分の気持ちや考えを人に伝えられる」が3位であるのに対し、2世代・3世代では「集団の中でのルールやマナーを守って生活できる」が3位となっており、家族構成別で子どもに身につけていると感じるものに差がみられる。

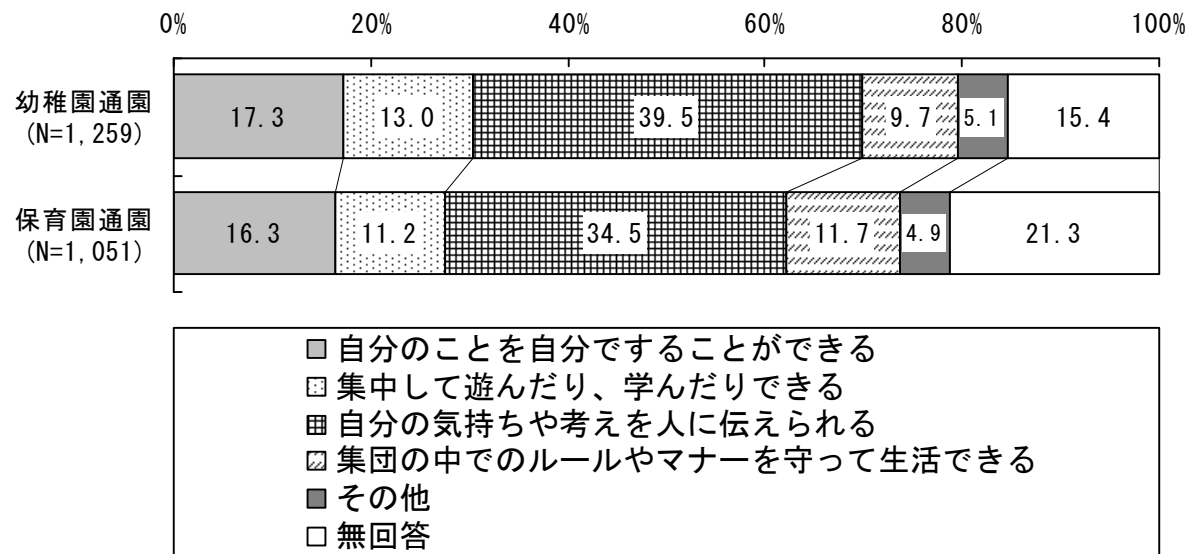
家族構成別にみた子どもに身につけていないと感じるものについては、2世代・3世代ともに1位から3位までの項目に違いはないものの、ひとり親家庭では「自分の気持ちや考えを人に伝えられる」(37.7%)が1位、次いで、「集団の中でのルールやマナーを守って生活できる」(14.0%)が2位、「自分のことを自分ですることができる」(9.6%)が3位となっており、家族構成別で子どもに身につけていないと感じるものに差がみられる。

◆ 〈就園状況別〉子どもに身についている（いない）と感じるもの

●身についていると感じるもの●



●身につけていないと感じるもの●



\* 身につけている（いない）と感じるものについて、就園状況別で差はみられない。

就園状況別にみた子どもに身につけていると感じるものについては、幼稚園通園・保育園通園ともに1位から3位までの項目に違いはなく、上位項目以外についても、就園状況別であまり差はみられない。

就園状況別にみた子どもに身につけていないと感じるものについては、幼稚園通園・保育園通園ともに1位から2位までの項目に違いはないものの、幼稚園通園では「集中して遊んだり、学んだりできる」が3位であるのに対し、保育園通園では「集団の中でのルールやマナーを守って生活できる」が3位となっている。

## Ⅱ 調査結果

### ◆〈問7家庭教育で力を入れていること別〉子どもに身につけている（いない）と感じるもの

	調査数(N)	身につけていると感じるもの						身につけていないと感じるもの					
		自分のことを自分ですることができる	集中して遊んだり、学んだりできる	自分の気持ちや考えを人に伝えられる	集団の中で生活できる	集団の中のルールやマナーを守ることができる	その他	無回答	自分のことを自分ですることができる	集中して遊んだり、学んだりできる	自分の気持ちや考えを人に伝えられる	集団の中で生活できる	集団の中のルールやマナーを守ることができる
全体	2310	40.2	25.4	15.6	16.8	0.6	1.3	16.8	12.2	37.2	10.6	5.0	18.1
あいさつや返事、言葉づかい	1611	42.9	24.1	15.6	15.6	0.8	0.9	15.8	13.2	37.6	10.8	5.2	17.4
約束やルールを守ること	1188	42.6	24.4	15.1	16.8	0.4	0.7	16.2	12.2	37.8	12.3	5.3	16.2
相手を思いやる気持ち	1108	37.0	26.0	17.1	17.8	0.6	1.4	18.3	10.8	36.9	9.7	5.1	19.1
善悪の判断	712	41.2	24.9	15.6	16.0	1.0	1.4	17.6	12.2	38.1	10.7	3.5	18.0
公共の場や集団の中でのマナー	503	42.1	23.7	12.1	20.7	0.6	0.8	16.3	13.7	39.2	11.5	4.4	14.9
早寝早起き、食事、はみがき、着脱衣、トイレ、片付け	711	45.0	23.5	14.8	15.6	0.3	0.8	15.0	11.1	39.5	10.4	5.5	18.4
子どもの自主性の尊重	212	26.9	32.5	20.8	18.9	0.9	0.0	19.3	9.9	38.2	8.0	3.8	20.8
友達との関わり方	202	36.6	29.2	14.9	18.3	0.0	1.0	19.8	12.4	36.6	7.9	5.9	17.3
スポーツや体を使う遊び、外遊び	114	36.0	38.6	7.9	15.8	0.0	1.8	14.9	8.8	42.1	12.3	3.5	18.4
芸術などの習い事	48	33.3	29.2	18.8	16.7	0.0	2.1	20.8	18.8	18.8	10.4	6.3	25.0
読み聞かせ	160	30.0	33.8	18.8	15.0	0.6	1.9	25.0	10.6	31.3	11.3	6.3	15.6
手伝い	145	44.8	25.5	14.5	13.1	1.4	0.7	14.5	13.8	36.6	9.7	7.6	17.9
その他	18	27.8	38.9	27.8	5.6	0.0	0.0	16.7	16.7	38.9	5.6	0.0	22.2
特に重点を置いていることはない	34	20.6	14.7	23.5	20.6	2.9	17.6	23.5	11.8	14.7	2.9	8.8	38.2

※網掛け部分はそれぞれ第1位の項目の数値

**\*家庭教育で特に重点を置いていることはない**と回答した人は**身につけていると感じるものが他と異なっている。**

家庭教育で力を入れていること別にみた子どもに身につけていると感じるものについては、ほとんどの項目において「自分のことを自分ですることができる」が第1位もしくは第2位となっているものの、特に重点を置いていることはない

と回答した人は、「自分の気持ちや考えを人に伝えられる」が第1位となっている。

家庭教育で力を入れていること別にみた子どもに身につけていないと感じるものについては、ほとんどの項目において「自分の気持ちや考えを人に伝えられる」が第1位もしくは第2位となっている。

◆ 〈子どもに身につけていないと感じるもの別〉 子どもに身につけていると感じるもの

		調査数(N)	身につけていると感じるもの					
			自分のことを自分ですることができる	集中して遊んだり、学んだりできる	自分の気持ちや考えを人に伝えられる	集団の中でルールやマナーを守って生活できる	その他	無回答
身につけていないと感じるもの	全体	2310	40.2	25.4	15.6	16.8	0.6	1.3
	自分のことを自分ですることができる	389	0.0	37.5	35.2	26.0	0.8	0.5
	集中して遊んだり、学んだりできる	282	51.8	0.0	29.4	17.0	0.0	1.8
	自分の気持ちや考えを人に伝えられる	860	50.6	28.8	0.0	19.9	0.3	0.3
	集団の中でルールやマナーを守って生活できる	245	47.3	29.4	22.0	0.0	0.4	0.8
	その他	116	44.0	23.3	17.2	15.5	0.0	0.0

※網掛け部分はそれぞれ第1位の項目の数値

\*いずれの項目においても、身につけていると感じるものに大きな差はない。

子どもに身につけていないと感じるもの別にみた子どもに身につけていると感じるものについては、ほとんどの項目において「自分のことを自分ですることができる」が第1位となっている。

◆ 〈子どもに身についていると感じるもの別〉 子どもに身についていないと感じるもの

	調査数(N)	身についていないと感じるもの						
		自分のことを自分ですることができる	集中して遊んだり、学んだりできる	自分の気持ちや考えを人に伝えられる	集団の中でルールやマナーを守って生活できる	その他	無回答	
身についていると感じるもの	全体	2310	16.8	12.2	37.2	10.6	5.0	18.1
	自分のことを自分ですることができる	929	0.0	15.7	46.8	12.5	5.5	19.5
	集中して遊んだり、学んだりできる	586	24.9	0.0	42.3	12.3	4.6	15.9
	自分の気持ちや考えを人に伝えられる	361	38.0	23.0	0.0	15.0	5.5	18.6
	集団の中でルールやマナーを守って生活できる	388	26.0	12.4	44.1	0.0	4.6	12.9
	その他	15	20.0	0.0	20.0	6.7	0.0	53.3

※網掛け部分はそれぞれ第1位の項目の数値

\*いづれの項目においても、身についていないと感じるものに大きな差はない。

子どもに身についていると感じるもの別にみた子どもに身についていないと感じるものについては、ほとんどの項目において「自分の気持ちや考えを人に伝えられる」が第1位となっている。

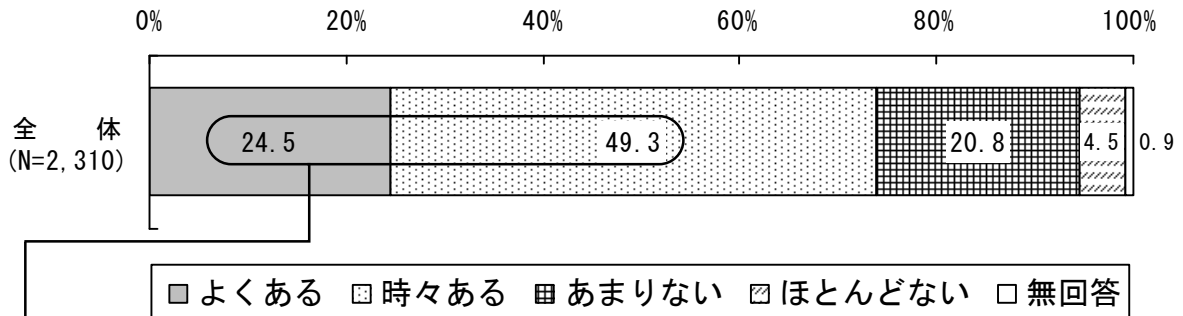
## 12) 子育てについて悩みや不安があるか

問12 子育ての中で、悩んだり、不安になったりすることがありますか。(○は1つ)

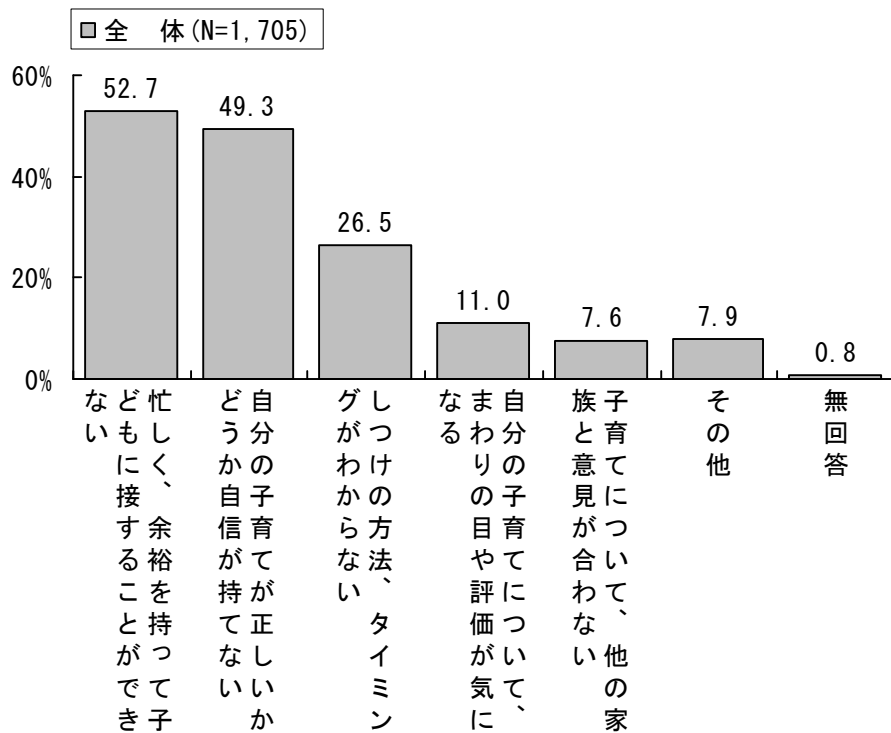
問12-1 悩んだり、不安になったりすることは、どんなことですか。

(○はあてはまるものすべて)

### ●子育てについて悩みや不安があるか●



### ●悩みや不安の内容●



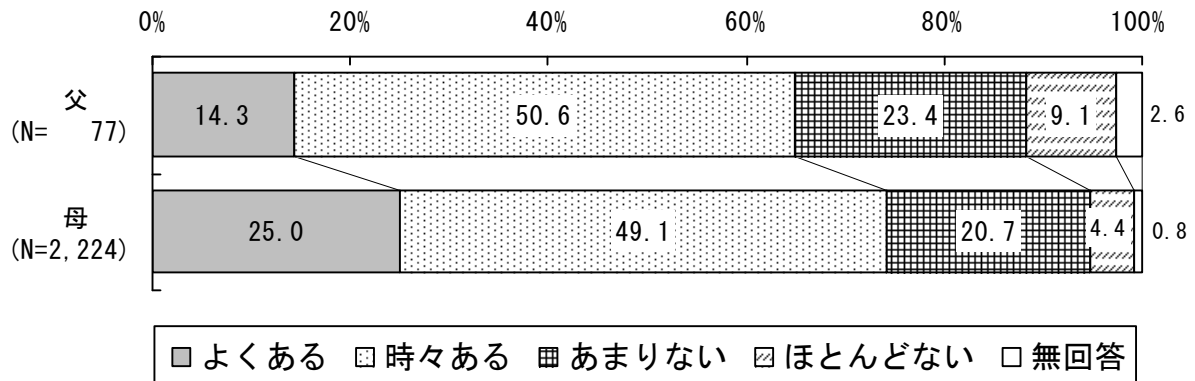
### \*\* 子育てについて悩みや不安がある人は7割以上 \*\*

子育てについて悩みや不安があるかという設問については、「時々ある」(49.3%)が最も多く、次いで、「よくある」(24.5%)などとなっている。これらを合わせた“ある”(73.8%)が、「あまりない」(20.8%)と、「ほとんどない」(4.5%)を合わせた“ない”(25.3%)より、約50ポイント多くなっている。

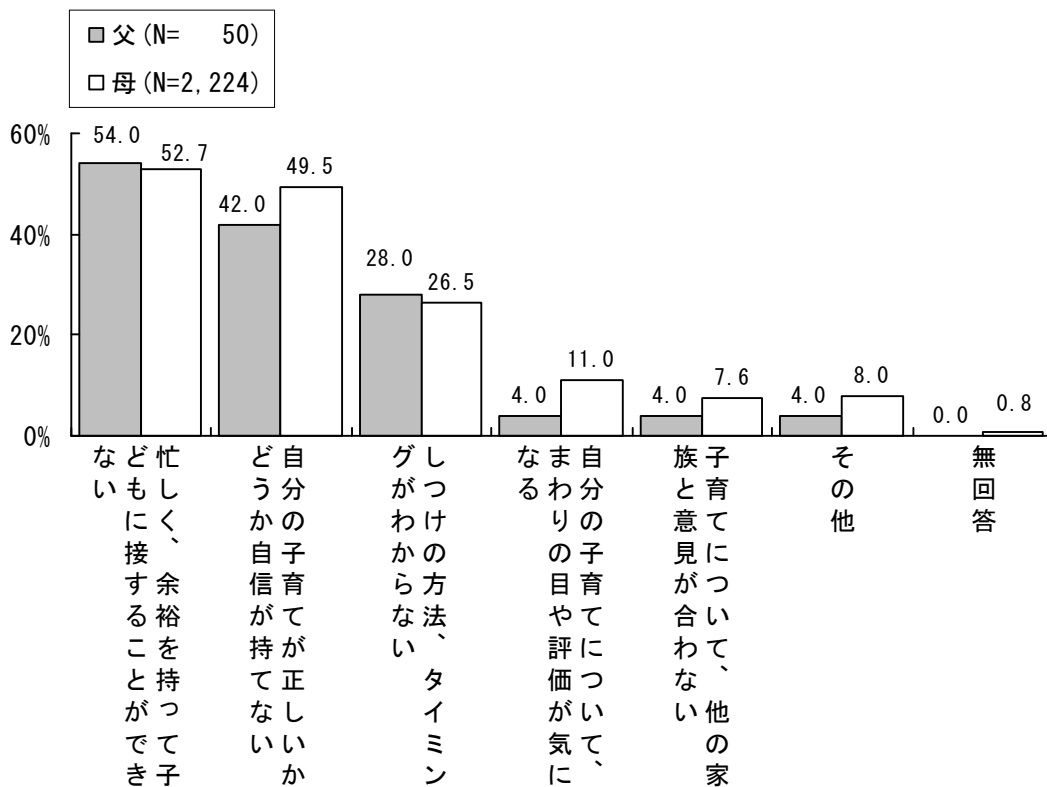
悩みや不安がある人が感じた悩みや不安の内容は、「忙しなく、余裕を持って子どもに接することができない」(52.7%)が最も多く、次いで、「自分の子育てが正しいかどうか自信が持てない」(49.3%)となっており、いずれも約5割を占めている。

◆〈回答者別〉子育てについて悩みや不安があるか

●子育てについて悩みや不安があるか●



●悩みや不安の内容●



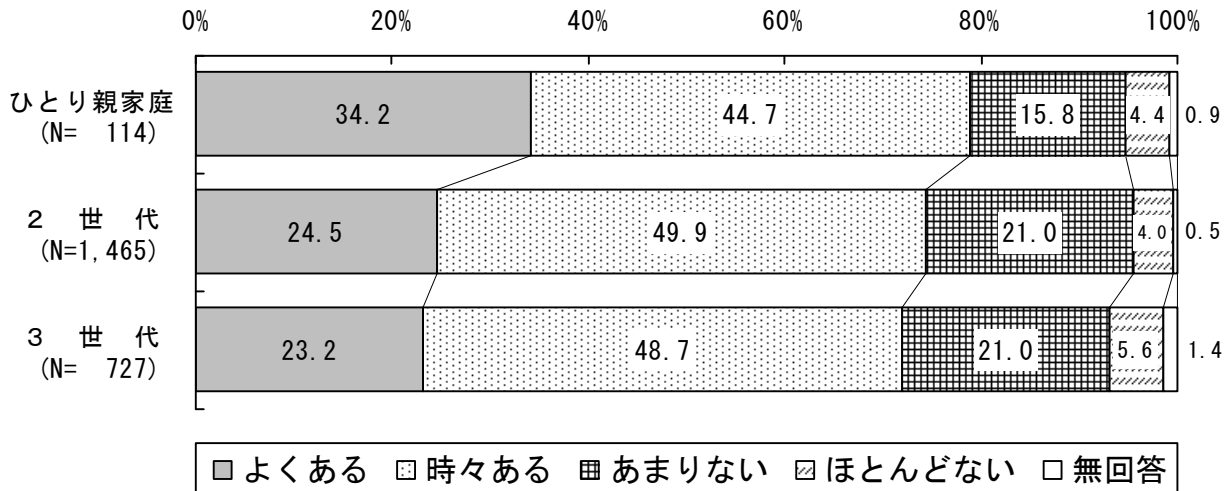
**\* 母の74.1%が、子育てについて悩みや不安が“ある”。**

回答者別では、「よくある」と「時々ある」を合わせた“ある”は、母（74.1%）が父（64.9%）より9.2ポイント多くなっている。特に、「よくある」では、母（25.0%）が父（14.3%）より10.7ポイント多くなっており、回答者別で差がみられる。

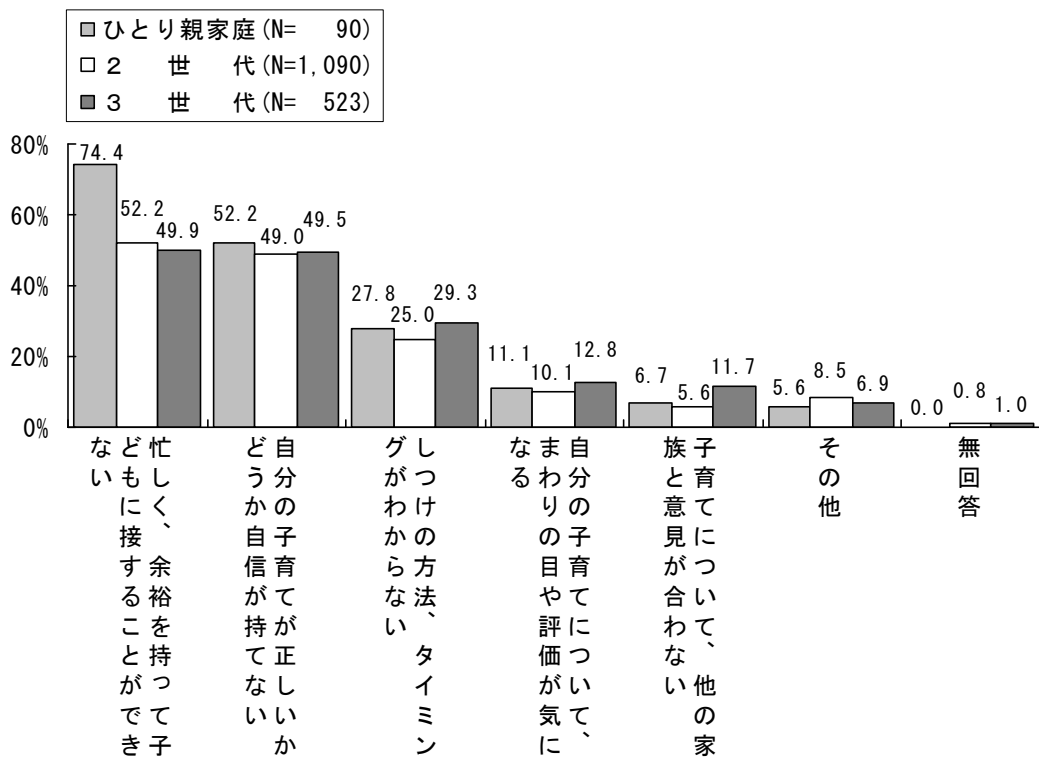
悩みや不安の内容については、「自分の子育てが正しいかどうか自信が持てない」は、母（49.5%）が父（42.0%）より7.5ポイント多くなっており、回答者別で差がみられる。

◆〈家族構成別〉子育てについて悩みや不安があるか

●子育てについて悩みや不安があるか●



●悩みや不安の内容●



\*ひとり親家庭は2世代以上の家族構成よりも、悩みや不安が多い傾向にある。

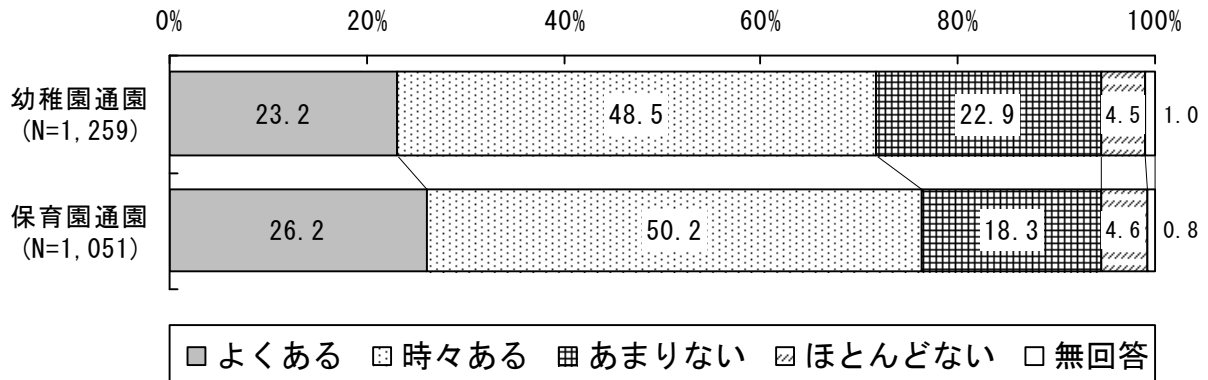
家族構成別では、「よくある」と「時々ある」を合わせた“ある”は、ひとり親家庭（78.9%）が約8割で最も多く、次いで、「2世代」（74.4%）、「3世代」（71.9%）となっており、世代数が多くなるにつれて、悩みや不安が少なくなる傾向にある。

悩みや不安の内容については、「忙しく、余裕を持って子どもに接することができない」は、ひとり親家庭（74.4%）が最も多く、2世代（52.2%）や3世代（49.9%）より22ポイント以上多くなっており、家族構成別で大きな差がみられる。

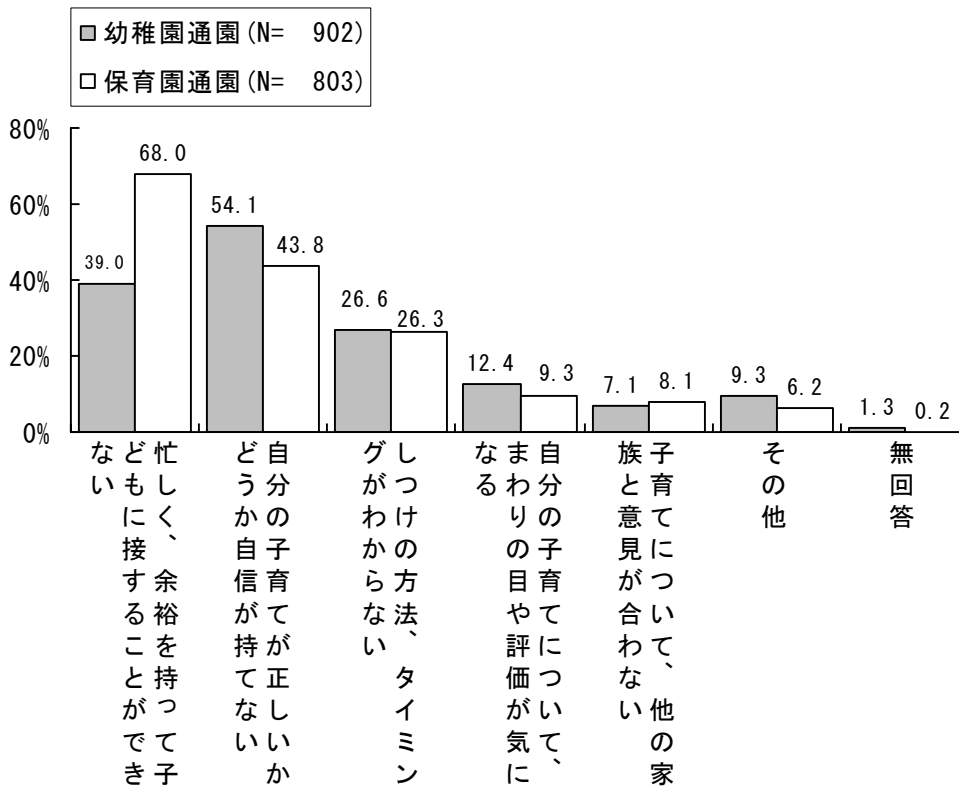


◆〈就園状況別〉子育てについて悩みや不安があるか

●子育てについて悩みや不安があるか●



●悩みや不安の内容●



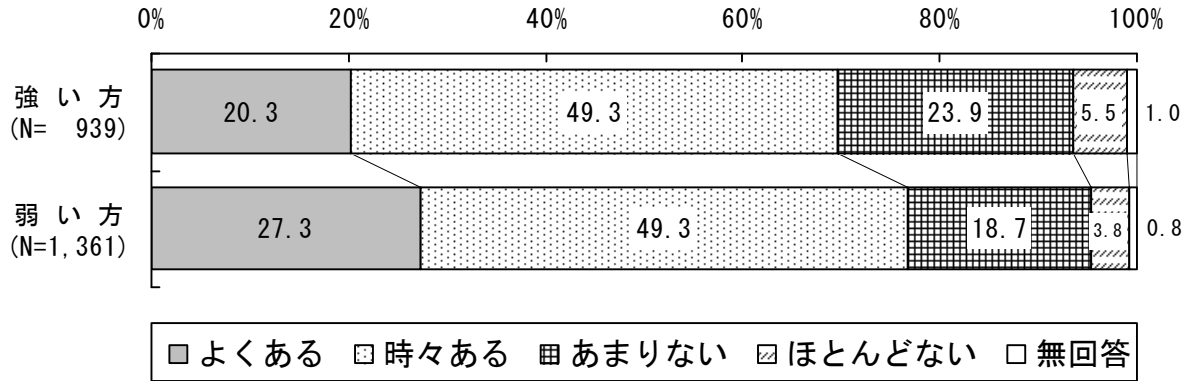
\* 就園状況別で悩みや不安の内容が大きく異なっている。

就園状況別では、「よくある」と「時々ある」を合わせた“ある”は、保育園通園（76.4%）が幼稚園通園（71.7%）より4.7ポイント多くなっている。

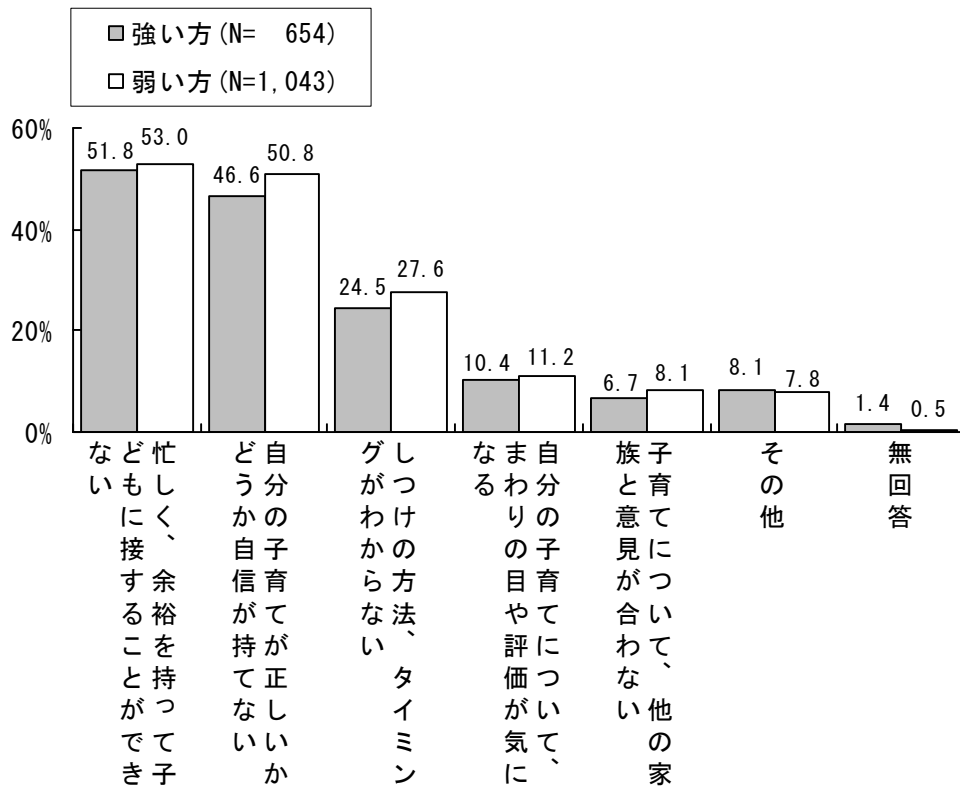
悩みや不安の内容については、「忙しく、余裕を持って子どもに接することができない」は、保育園通園（68.0%）が幼稚園通園（39.0%）より29.0ポイント多くなっており、大きな差がみられる。また、「自分の子育てが正しいかどうか自信が持てない」は、幼稚園通園（54.1%）が保育園通園（43.8%）より10.3ポイント多くなっており、就園状況別で差がみられる。

◆ 〈地域のつながりの有無別〉子育てについて悩みや不安があるか

●子育てについて悩みや不安があるか●



●悩みや不安の内容●



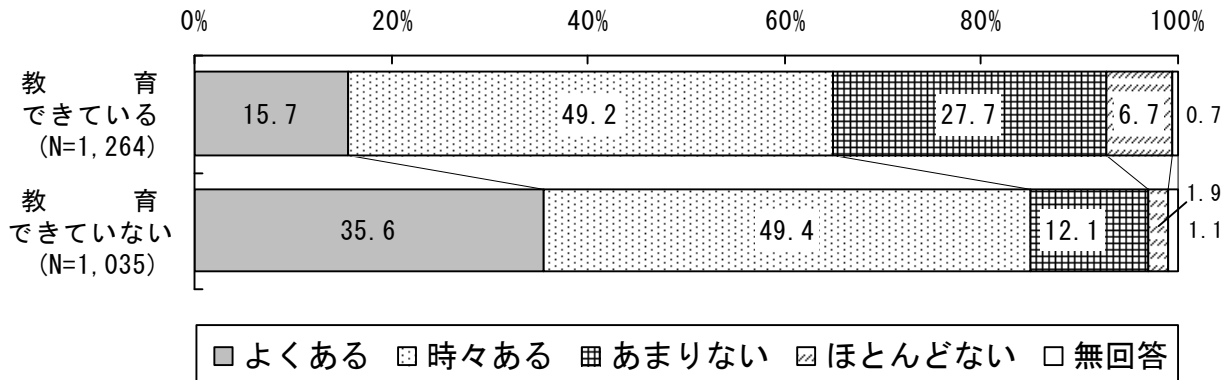
\* 地域とのつながりが弱い方が子育てに悩みや不安が多い傾向にある。

地域のつながりの有無別では、「よくある」と「時々ある」を合わせた“ある”は、弱い方（76.6%）が強い方（69.6%）より 7.0 ポイント多くなっている。特に、「よくある」は、弱い方（27.3%）が強い方（20.3%）より多く、地域のつながりの有無別で差がみられる。

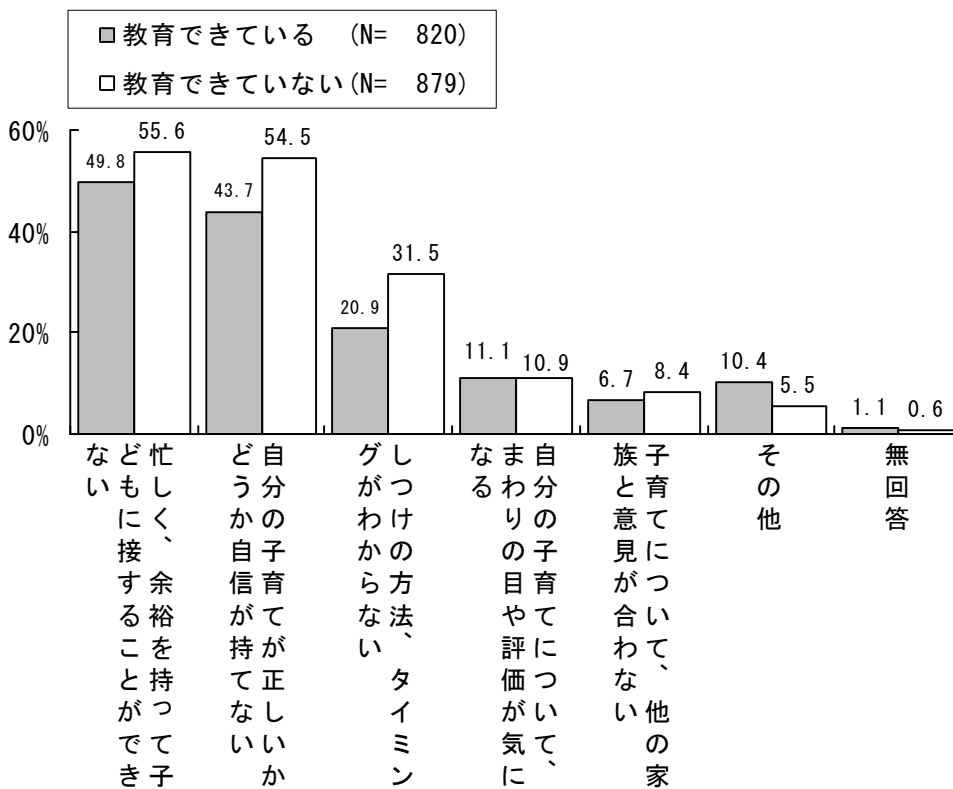
悩みや不安の内容については、大きな差はみられない。

◆〈家庭教育の状況別〉子育てについて悩みや不安があるか

●子育てについて悩みや不安があるか●



●悩みや不安の内容●



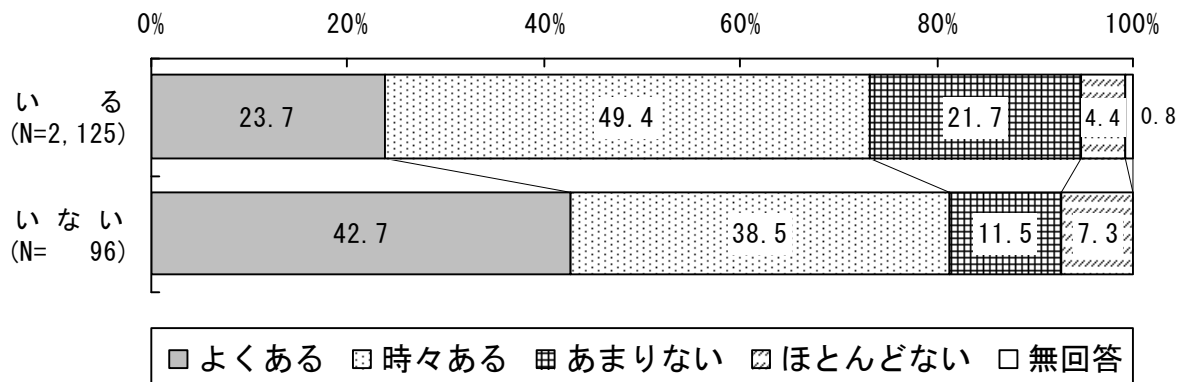
**\*教育できていないと感じている親の方が子育てについての悩みや不安が多い傾向にある。**

家庭教育の状況別では、「よくある」は、教育できていない（35.6%）が教育できている（15.7%）より19.9ポイント多くなっている。特に、「よくある」と「時々ある」を合わせた“ある”では、教育できていない（85.0%）が教育できている（64.9%）より20.1ポイント多くなっており、家庭教育の状況別で大きな差がみられる。

悩みや不安の内容については、教育できている・教育できていないともに1位から3位までの項目に違いはないものの、項目別にみると、「忙しく、余裕を持って子どもに接することができない」、「自分の子育てが正しいかどうか自信が持てない」、「しつけの方法、タイミングがわからない」は、教育できていないが教育できているより5ポイント以上多くなっている。

◆ 〈問 13 子育ての悩みについての身内の支援者の有無別〉 子育てについて悩みや不安があるか

● 子育てについて悩みや不安があるか●

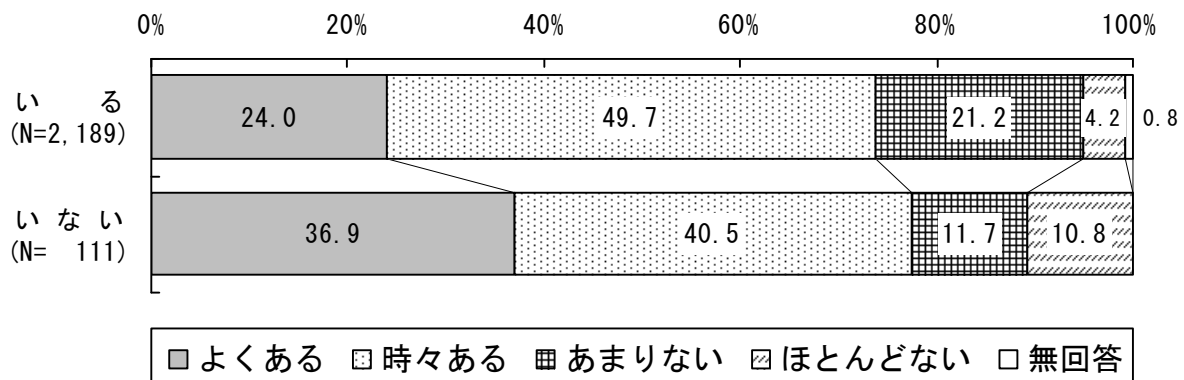


\* 身内に支援者がいない人の4割超が、子育てについての悩みや不安が「よくある」。

子育ての悩みについての身内の支援者の有無別にみた子育てについての悩みや不安の有無は、「よくある」は、支援者がいない（42.7%）人が、支援者がいる（23.7%）人より 19.0 ポイント多くなっており、大きな差がみられる。

◆ 〈問 14 子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無別〉 子育てについて悩みや不安があるか

● 子育てについて悩みや不安があるか●

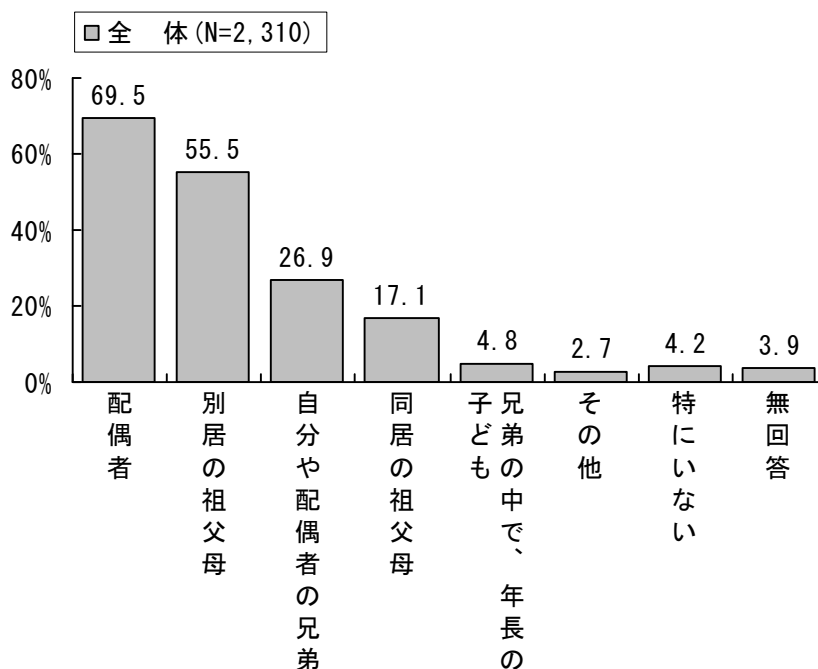


\* 家族以外の支援者がいない人の約4割が、子育てについての悩みや不安が「よくある」。

子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無別にみた子育てについての悩みや不安の有無は、「よくある」は、支援者がいない（36.9%）人が、支援者がいる（24.0%）人より 12.9 ポイント多くなっており、大きな差がみられる。

13) 子育ての悩みについての身内の支援者

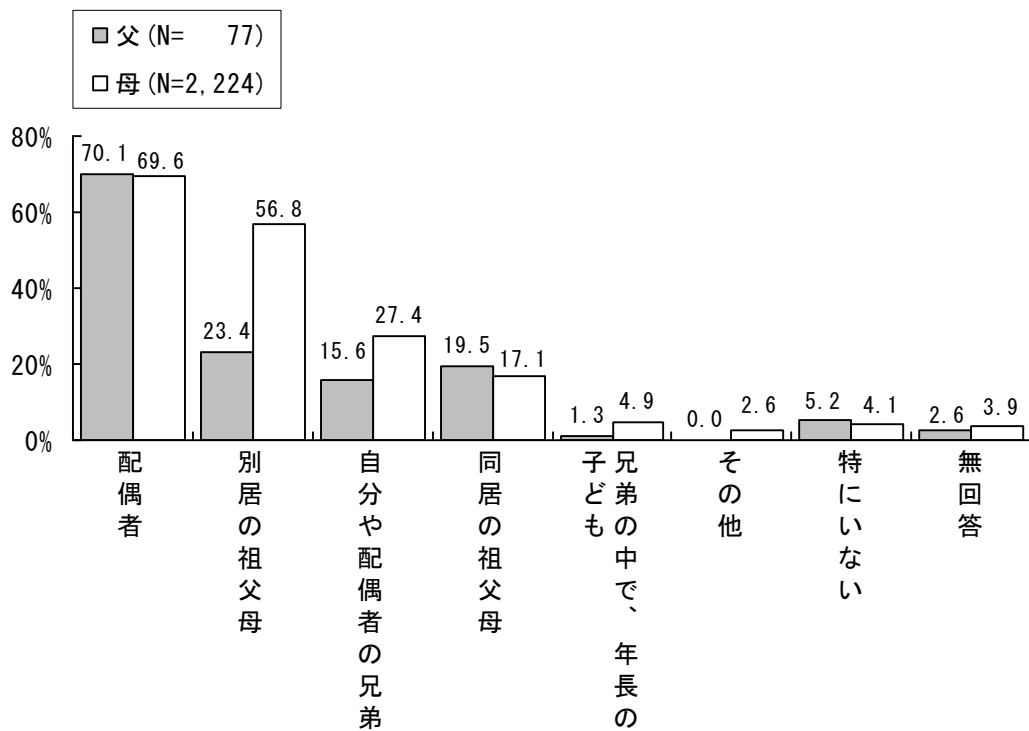
問13 子育てに悩みや不安を感じたとき、身内であなたを支えてくれる（ぐちを聞いてもらえる、ちょっとしたアドバイスをもらえる、相談にのってもらえるなど）人は誰ですか。  
 (〇はあてはまるものすべて)



**\*\* 身内で悩みを打ち明けられるのは「配偶者」が約7割で最多 \*\***

子育ての悩みについての身内の支援者は、「配偶者」(69.5%)が最も多く、次いで、「別居の祖父母」(55.5%)となっており、いずれも5割を超えている。

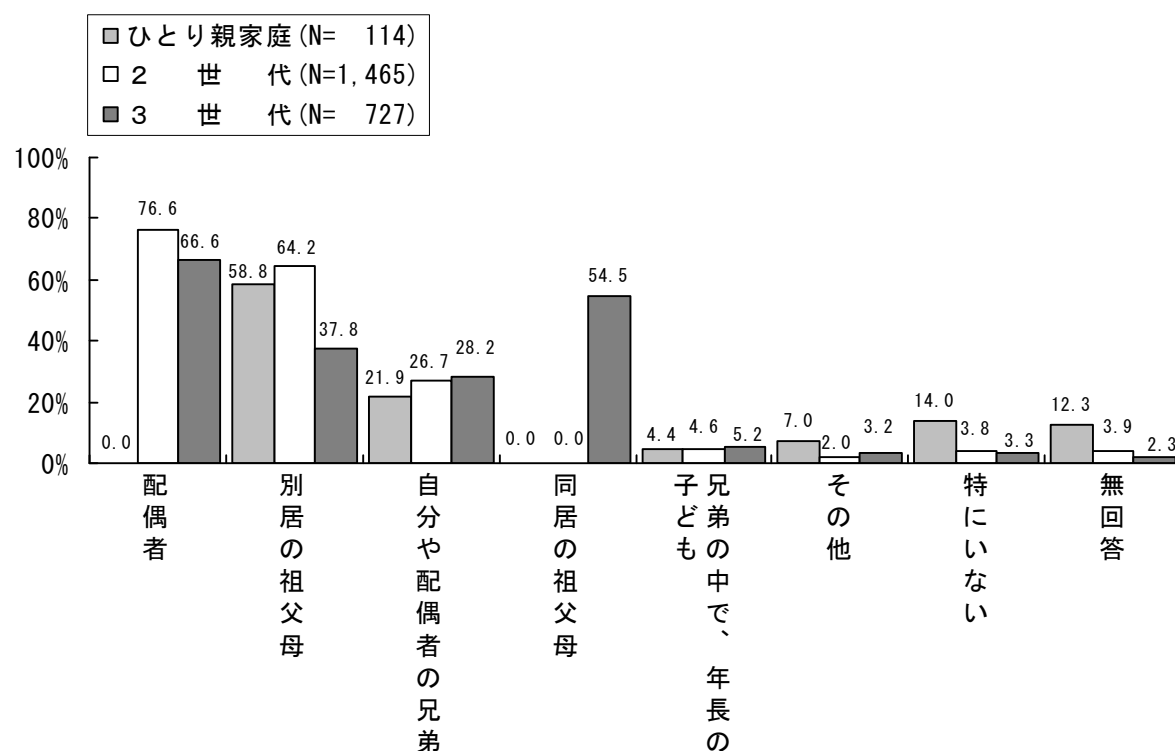
◆ 〈回答者別〉子育ての悩みについての身内の支援者



**\* 回答者別で子育ての悩みについての身内の支援者は、大きく異なる。**

回答者別では、「別居の祖父母」は、母（56.8%）が父（23.4%）より 33.4 ポイント多く、「自分や配偶者の兄弟」でも、母（27.4%）が父（15.6%）より 11.8 ポイント多くなっており、回答者別で大きな差がみられる。

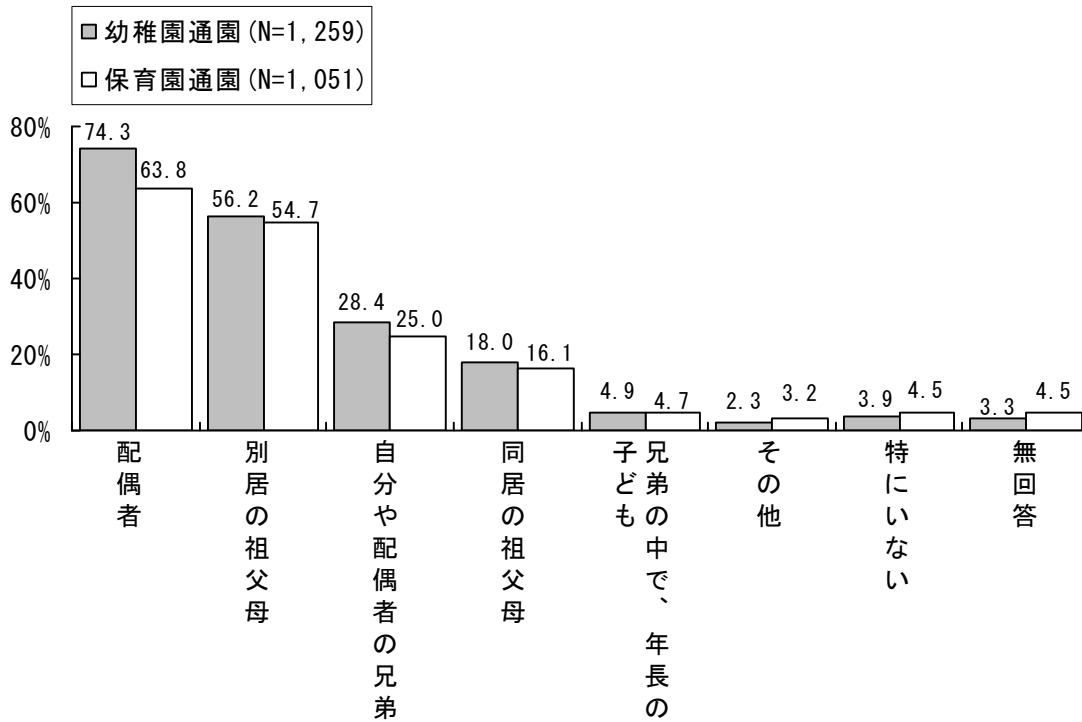
◆ 〈家族構成別〉子育ての悩みについての身内の支援者



**\* ひとり親家庭の1割超に身内の支援者がいない。**

家族構成別では、「配偶者」は、2世代（76.6%）が最も多く、3世代（66.6%）より10.0ポイント多くなっている。また、「別居の祖父母」でも、2世代（64.2%）が最も多く、3世代（37.8%）より26.4ポイント多くなっている。また、「特にいない」は、ひとり親家庭（14.0%）が、2世代（3.8%）や3世代（3.3%）より10ポイント以上も多くなっており、家族構成別で大きな差がみられる。

◆ 〈就園状況別〉子育ての悩みについての身内の支援者

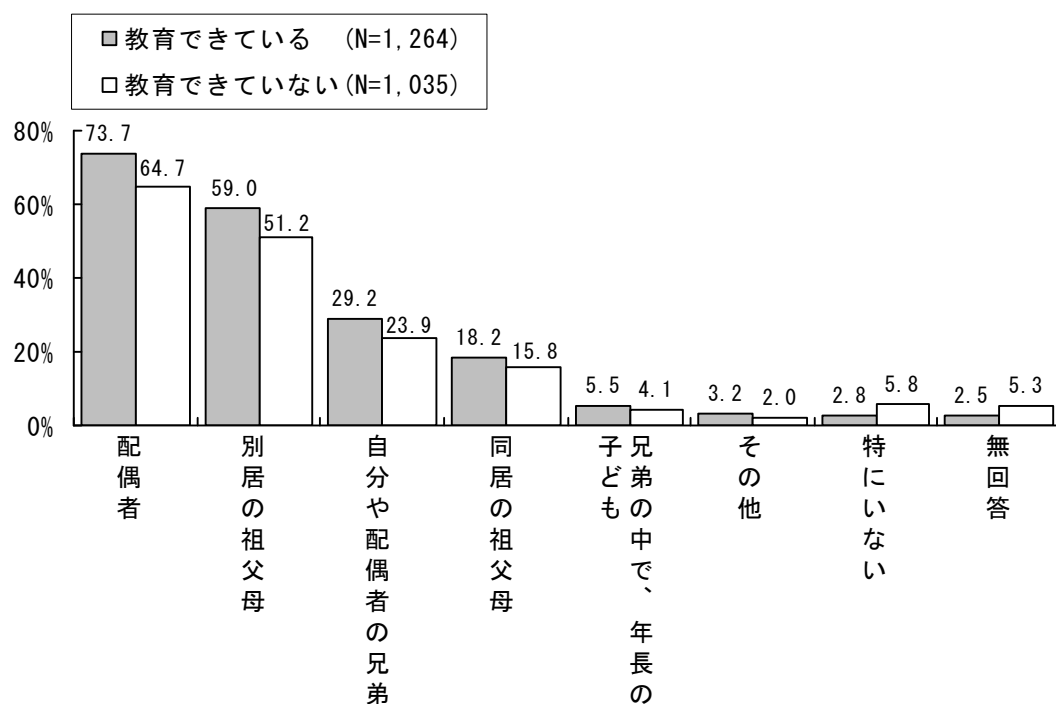


\* 就園状況別で身内の支援者に差はみられない。

就園状況別では、「その他」を除くすべての項目で幼稚園通園と保育園通園は同じ傾向にあるが、「配偶者」は、幼稚園通園（74.3%）が保育園通園（63.8%）より10.5ポイント多くなっている。



◆ 〈家庭教育の状況別〉子育ての悩みについての身内の支援者



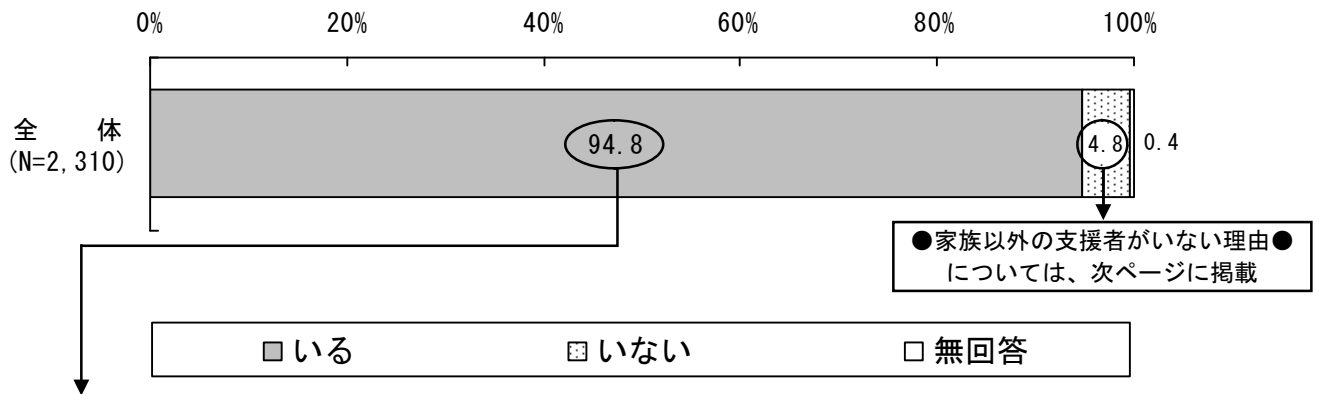
**\* 教育できていると感じている親の方が身内の支援者が多岐にわたっている。**

家庭教育の状況別では、すべての項目において、教育できていると感じている親が教育できていないと感じている親より多くなっている。特に、「配偶者」は、教育できている（73.7%）が教育できていない（64.7%）より9.0ポイント多くなっており、教育できていると感じている親の方が身内の支援者が多岐にわたっている。

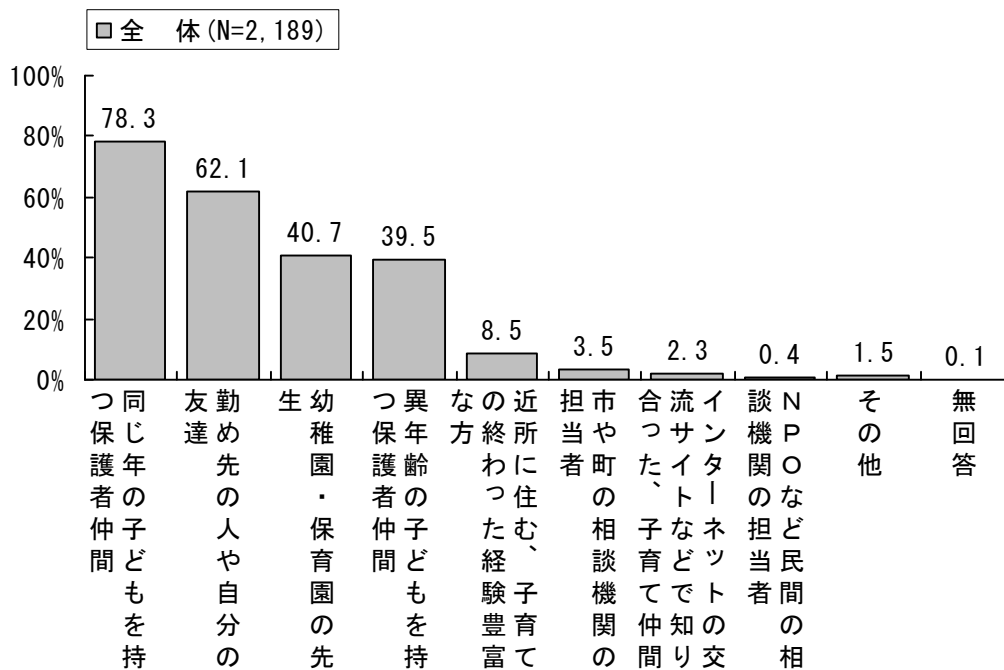
#### 14) 子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無

問14 子育てについて、家族以外で話を聞いてもらえる（ぐちを聞いてもらえる、ちょっとしたアドバイスをもらえる、相談にのってもらえるなど）人はいますか。（○は1つ）  
 問14-1 その人はどのような人ですか。（○はあてはまるものすべて）  
 問14-2 それぞれいない理由として最も近いものを選んでください。（○は1つ）

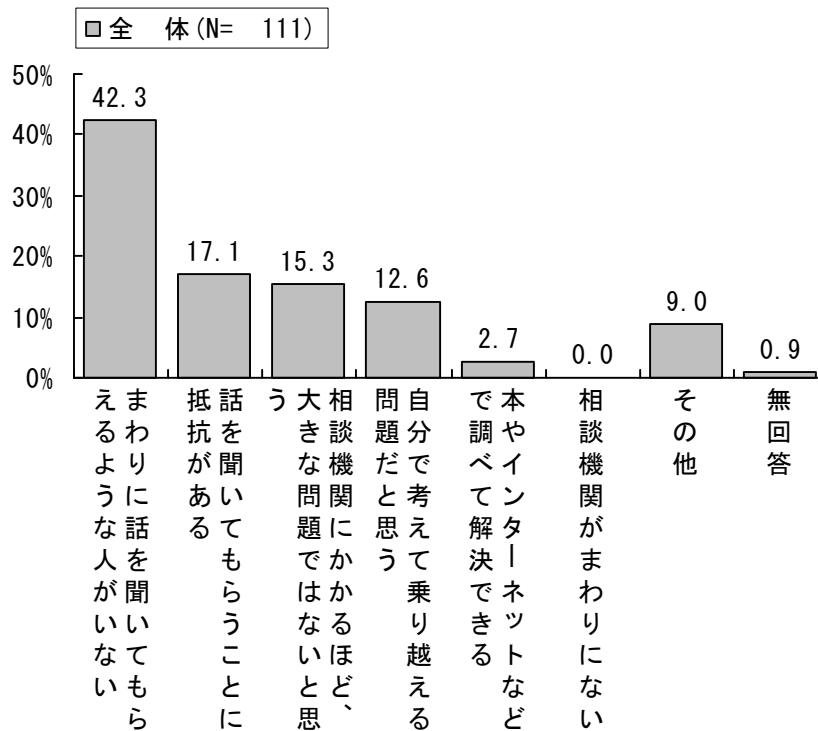
#### ●子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無●



#### ●家族以外の支援者●



●家族以外の支援者がいない理由●



**\*\* 9割以上の人に家族以外で悩みを打ち明けられる人がいる \*\***

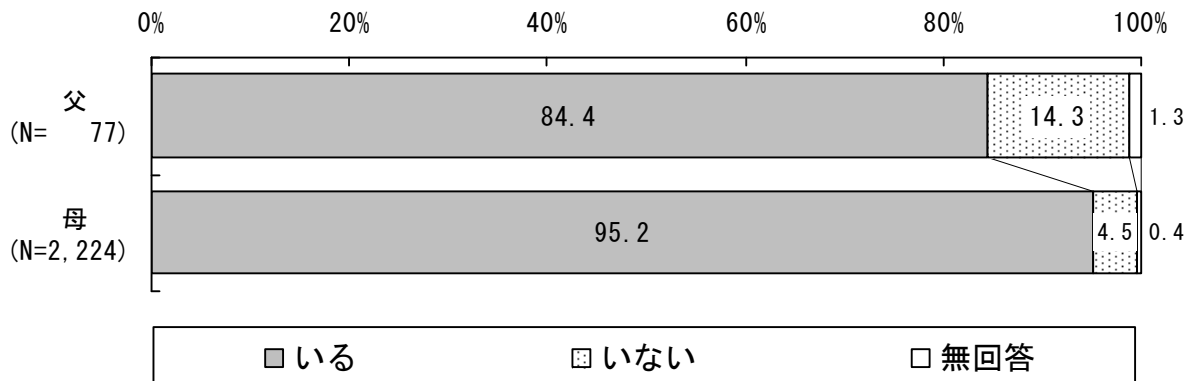
子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無は、「いる」(94.8%)が、「いない」(4.8%)より、圧倒的に多くなっている。

支援者がいる人に具体的な家族以外の支援者を聞いたところ、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」(78.3%)が最も多く、次いで、「勤め先の人や自分の友達」(62.1%)、「幼稚園・保育園の先生」(40.7%)などとなっている。

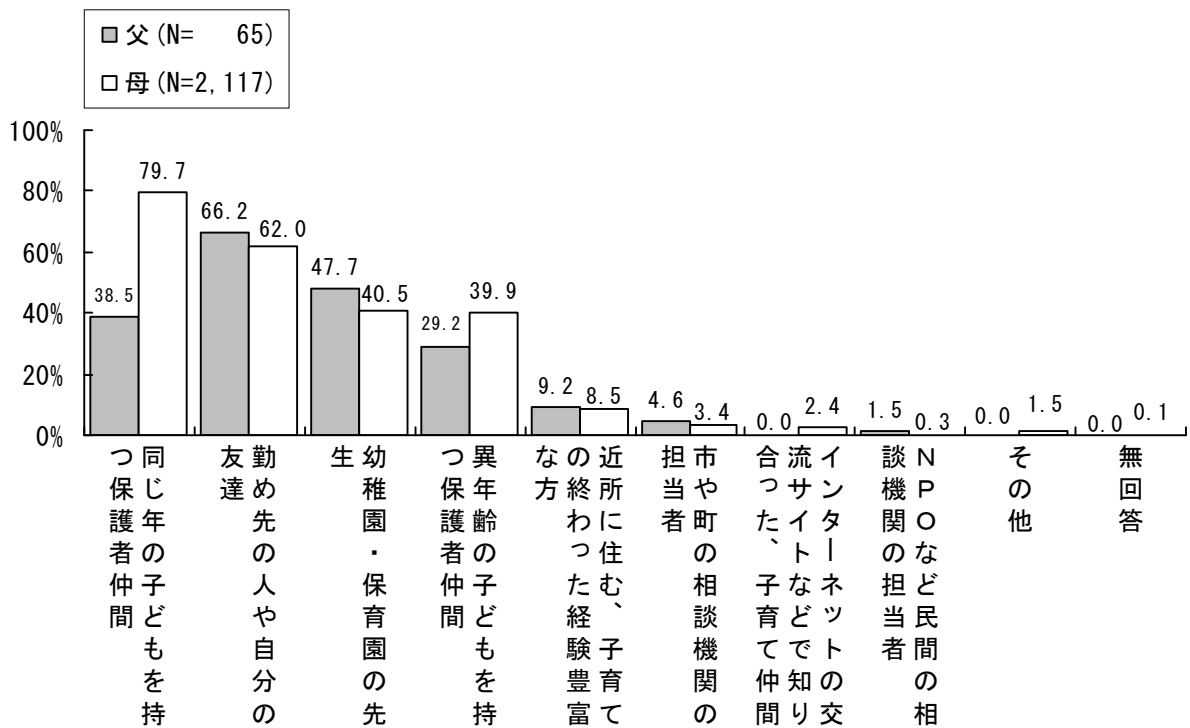
一方、支援者がいない人に支援者がいない理由を聞いたところ、「まわりに話を聞いてもらえるような人がいない」(42.3%)が最も多く、約4割となっており、次いで、「話を聞いてもらうことに抵抗がある」(17.1%)、「相談機関にかかるほど、大きな問題ではないと思う」(15.3%)などとなっている。

◆ 〈回答者別〉 子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無

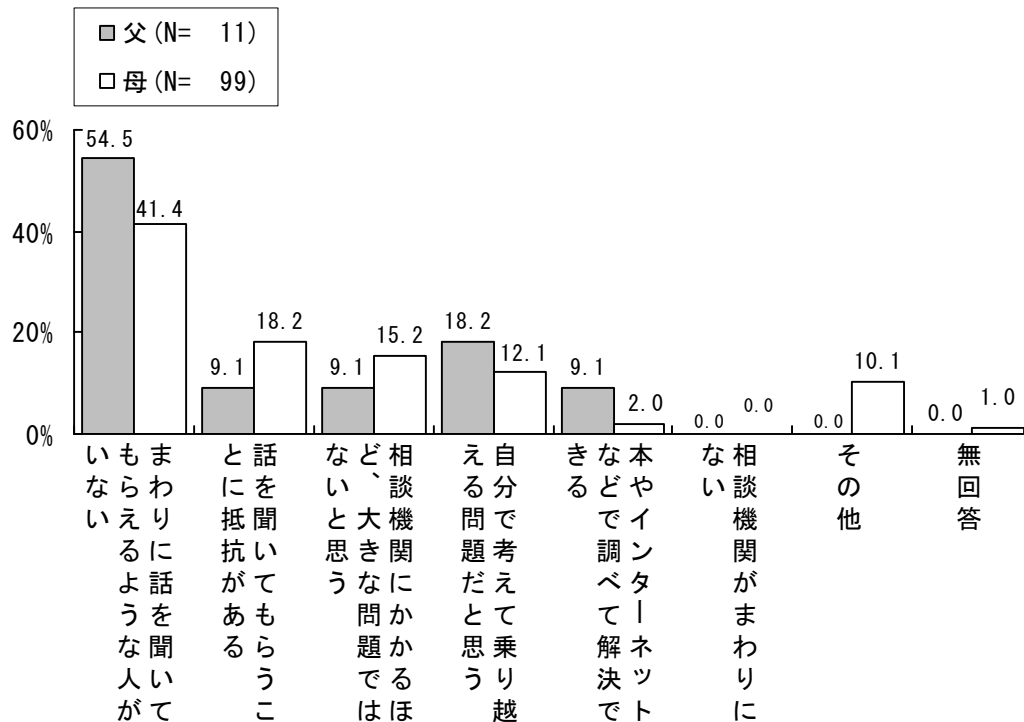
● 子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無 ●



● 家族以外の支援者 ●



●家族以外の支援者がいない理由●



\* 父の1割超が家族以外の支援者がいない。またその支援者は父と母で大きな差がみられる。

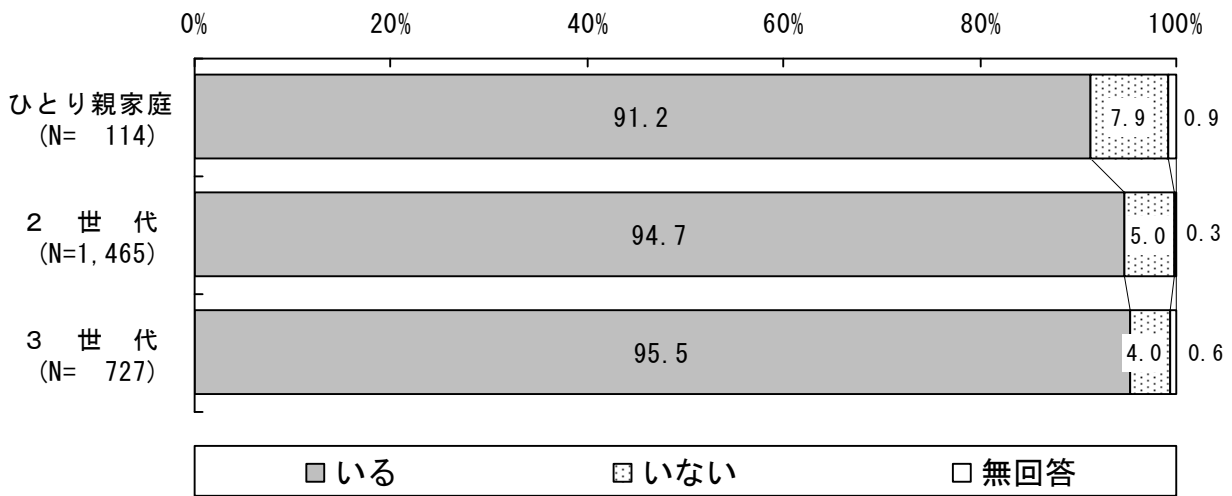
回答者別では、「いる」は、母 (95.2%) が父 (84.4%) より 10.8 ポイント多くなっており、回答者別で差がみられる。

回答者別にみた具体的な家族以外の支援者は、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」は、母 (79.7%) が父 (38.5%) より 41.2 ポイント多くなっており、「異年齢の子どもを持つ保護者仲間」でも、母 (39.9%) が父 (29.2%) より 10 ポイント以上多くなっている。一方、「幼稚園・保育園の先生」は、父 (47.7%) が母 (40.5%) より 7.2 ポイント多くなっており、回答者別で大きな差がみられる。

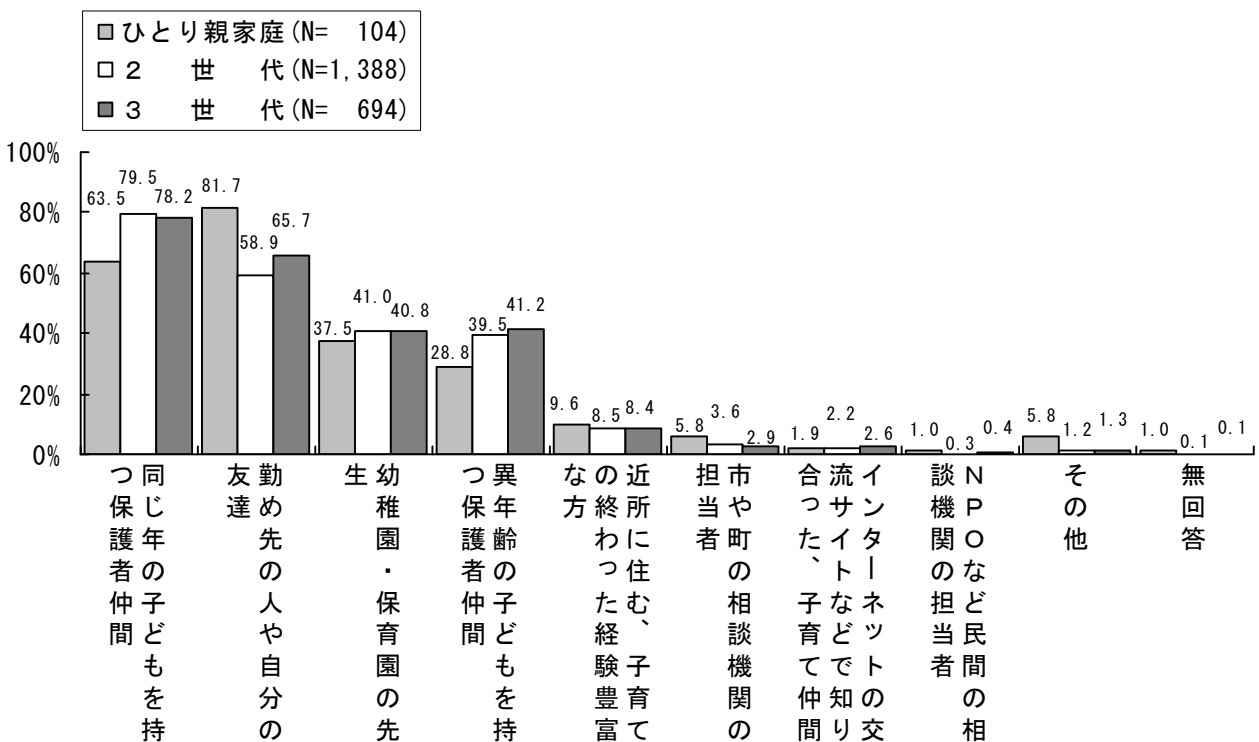
回答者別にみた支援者がいない理由は、「まわりに話を聞いてもらえるような人がいない」は、父 (54.5%) が母 (41.4%) より 13.1 ポイント多くなっている。また、「話を聞いてもらうことに抵抗がある」は、母 (18.2%) が父 (9.1%) より 9.1 ポイント多くなっているなど、すべての項目において、回答者別で家族以外の支援者がいない理由に差がみられる。

◆〈家族構成別〉子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無

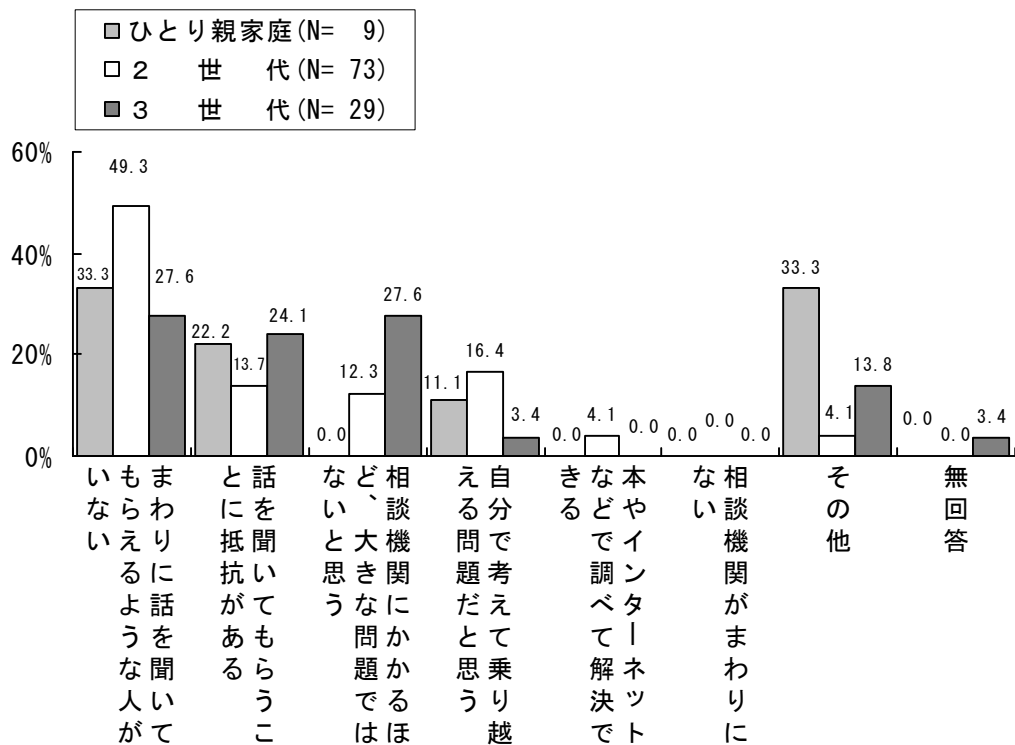
●子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無●



●家族以外の支援者●



●家族以外の支援者がいない理由●



**\*すべての家族構成で家族以外の支援者がいるのは9割以上、その支援者は家族構成別で差がみられる。**

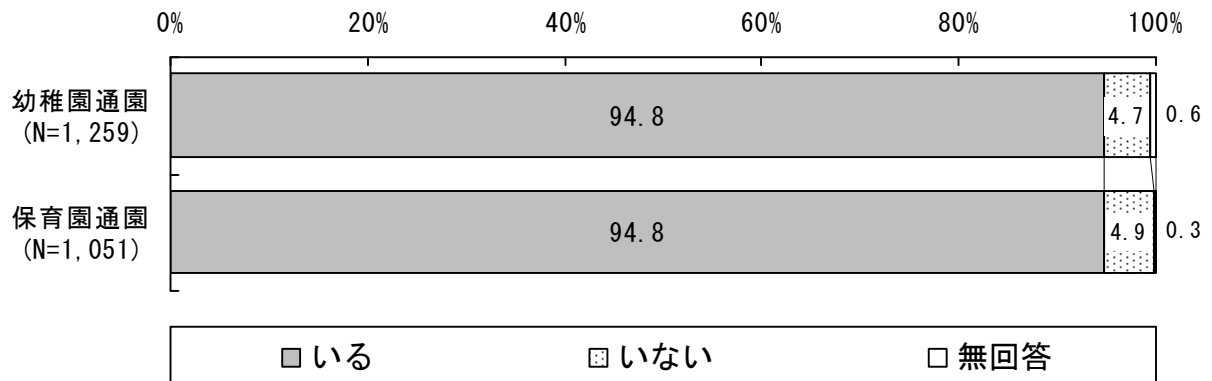
家族構成別では、「いる」は、3世代（95.5%）が最も多く、他の家族構成に比べわずかに多くなっているものの、大きな差はみられない。

家族構成別にみた具体的な家族以外の支援者は、「勤め先の人や自分の友達」は、ひとり親家庭（81.7%）が最も多く、3世代（65.7%）や2世代（58.9%）より16ポイント以上多くなっており、家族構成別で大きな差がみられる。

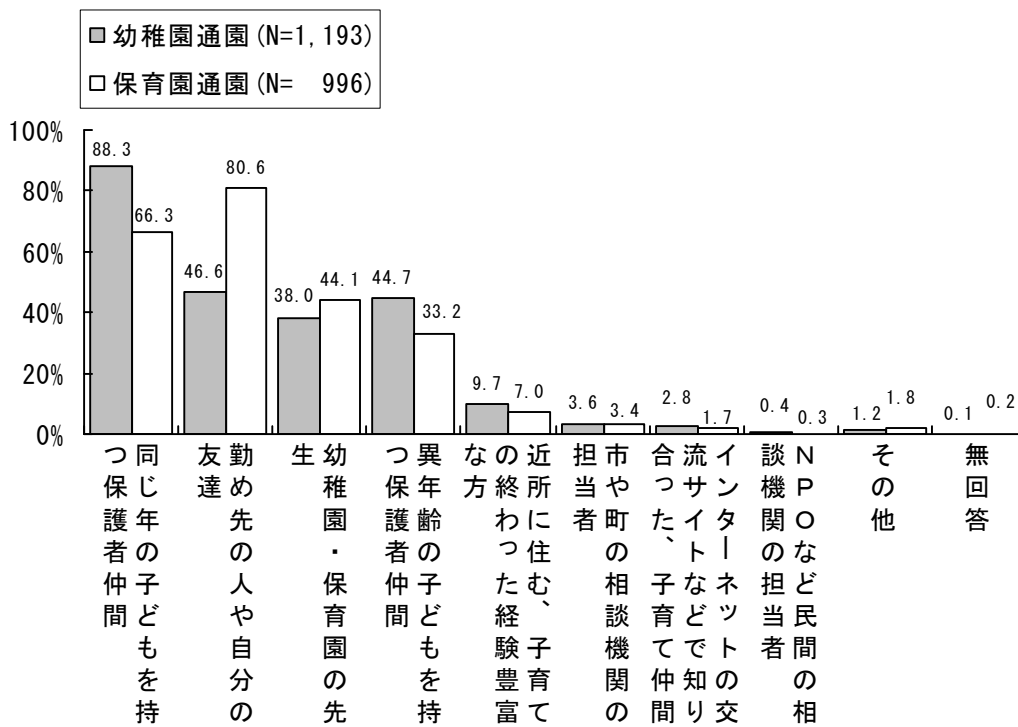
家族構成別にみた支援者がいない理由は、「まわりに話を聞いてもらえるような人がいない」は、2世代（49.3%）が最も多く、ひとり親家庭（33.3%）や3世代（27.6%）より16ポイント以上多くなっており、家族構成別で大きな差がみられる。

◆ 〈就園状況別〉子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無

● 子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無 ●

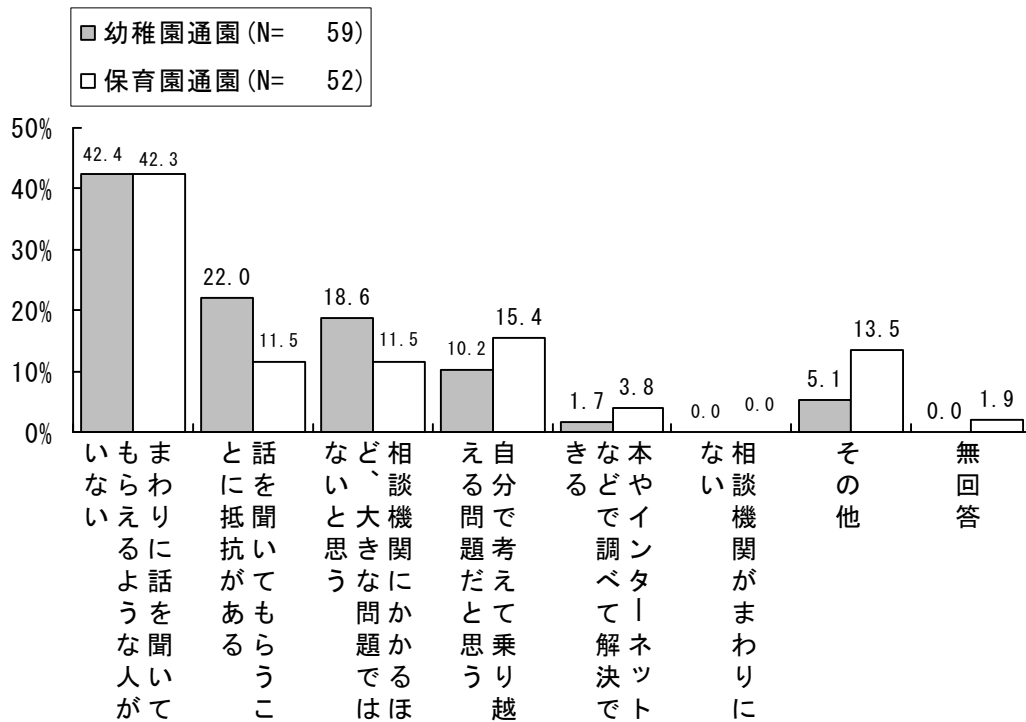


● 家族以外の支援者 ●





●家族以外の支援者がいない理由●



\* 幼稚園通園・保育園通園ともに家族以外の支援者が「いる」のは 94.8%。その支援者は就園状況別で違いがみられる。

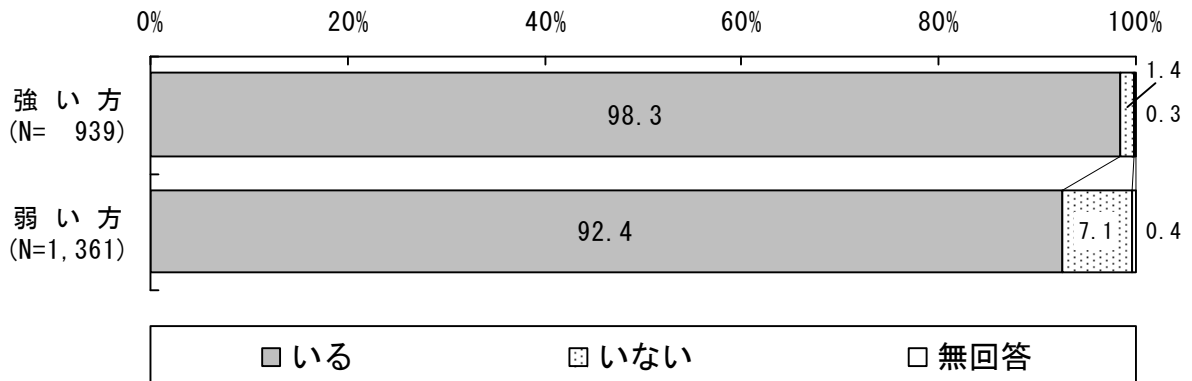
就園状況別では、「いる」は、幼稚園通園、保育園通園ともに 94.8%となっており、就園状況別で差はみられない。

就園状況別にみた具体的な家族以外の支援者は、「勤め先の人や自分の友達」は、保育園通園 (80.6%) が幼稚園通園 (46.6%) より 34.0 ポイント多くなっている。また、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」は、幼稚園通園 (88.3%) が保育園通園 (66.3%) より 22.0 ポイント多くなっており、就園状況別で大きな差がみられる。

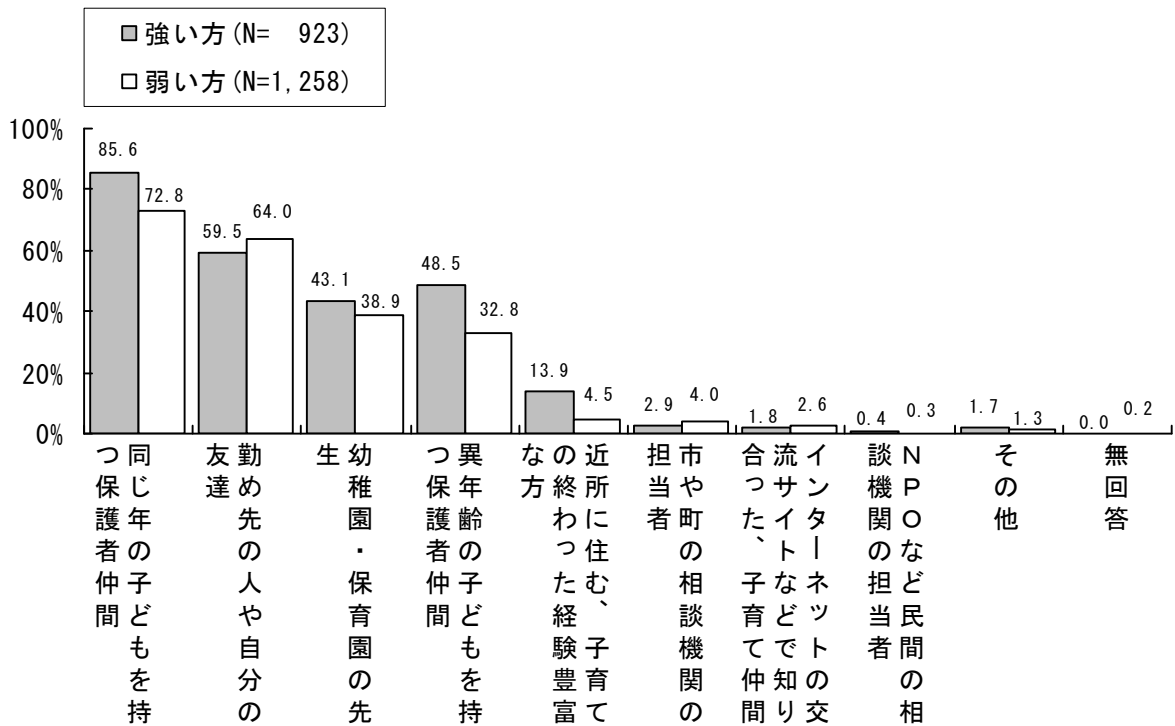
就園状況別にみた支援者がいない理由は、「話を聞いてもらうことに抵抗がある」は、幼稚園通園 (22.0%) が保育園通園 (11.5%) より 10.5 ポイント多くなっている。また、「相談機関にかかるほど、大きな問題ではないと思う」は、幼稚園通園 (18.6%) が保育園通園 (11.5%) より 7.1 ポイント多くなっており、就園状況別で差がみられる。

◆ 〈地域のつながりの有無別〉 子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無

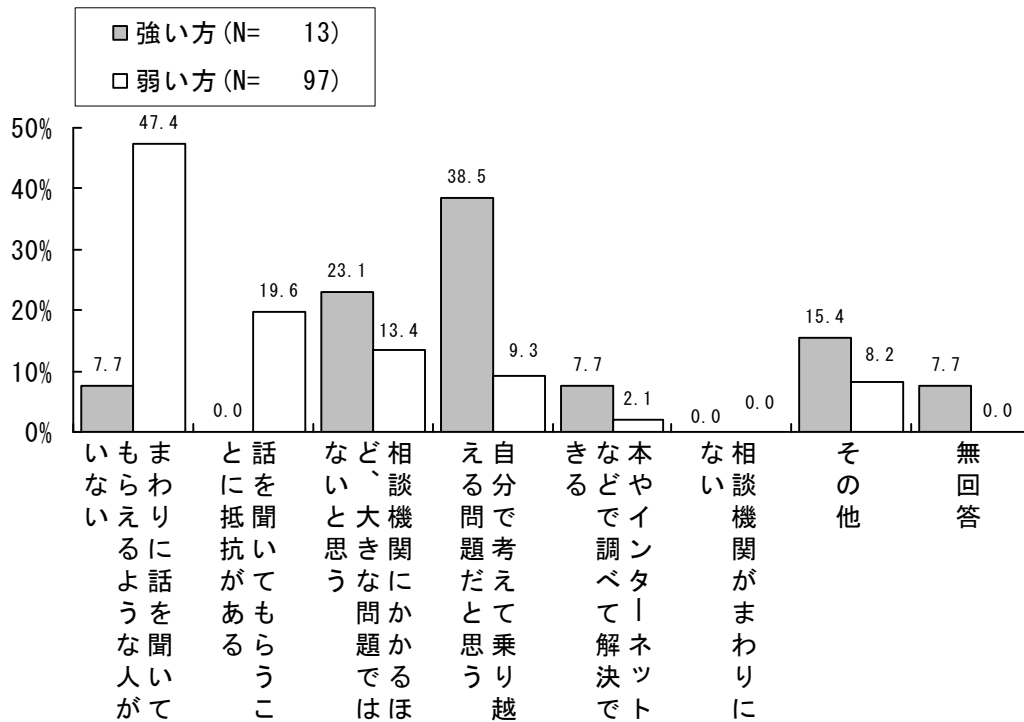
● 子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無 ●



● 家族以外の支援者 ●



●家族以外の支援者がいない理由●



**\* 地域とのつながりが強い方が家族以外の支援者が多い。支援者が強い方・弱い方で差がみられる。**

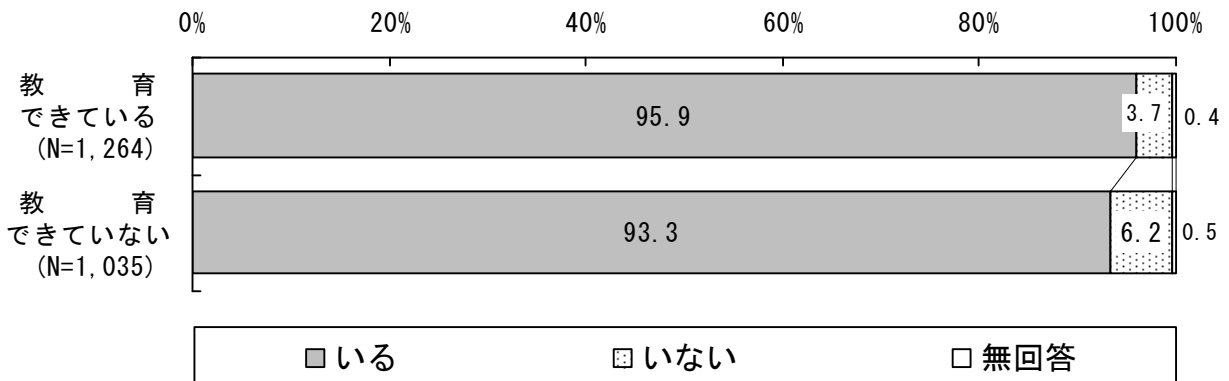
地域のつながりの有無別では、「いる」は、強い方 (98.3%) が弱い方 (92.4%) より 5.9 ポイント多くなっており、差がみられる。

地域のつながりの有無別にみた具体的な家族以外の支援者は、「異年齢の子どもを持つ保護者仲間」は、強い方 (48.5%) が弱い方 (32.8%) より 15.7 ポイント多くなっている。また、「近所に住む、子育ての終わった経験豊富な方」でも、強い方 (13.9%) が弱い方 (4.5%) より 9.4 ポイント多くなっており、地域のつながりの有無別で大きな差がみられる。

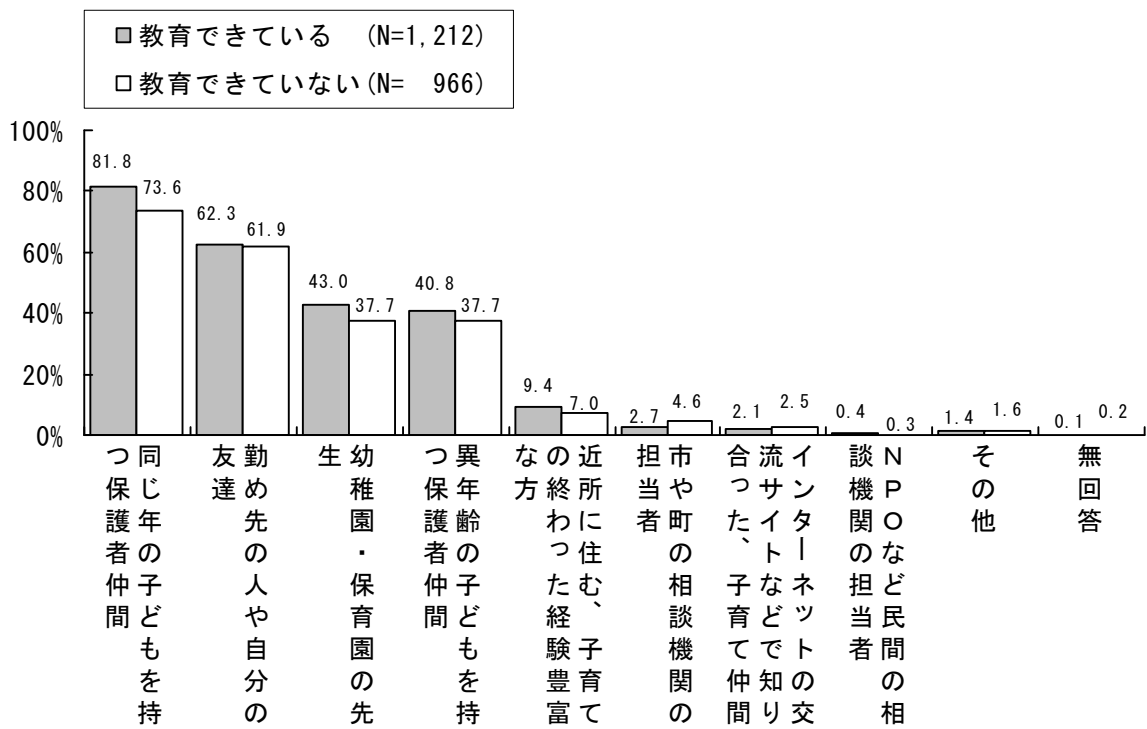
地域のつながりの有無別にみた支援者がいない理由は、すべての項目において、地域のつながりの有無別で家族以外の支援者がいない理由に差がみられる。特に、「まわりに話を聞いてもらえるような人がいない」は、弱い方 (47.4%) が強い方 (7.7%) より 39.7 ポイント多くなっており、大きな差がみられる。

◆ 〈家庭教育の状況別〉 子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無

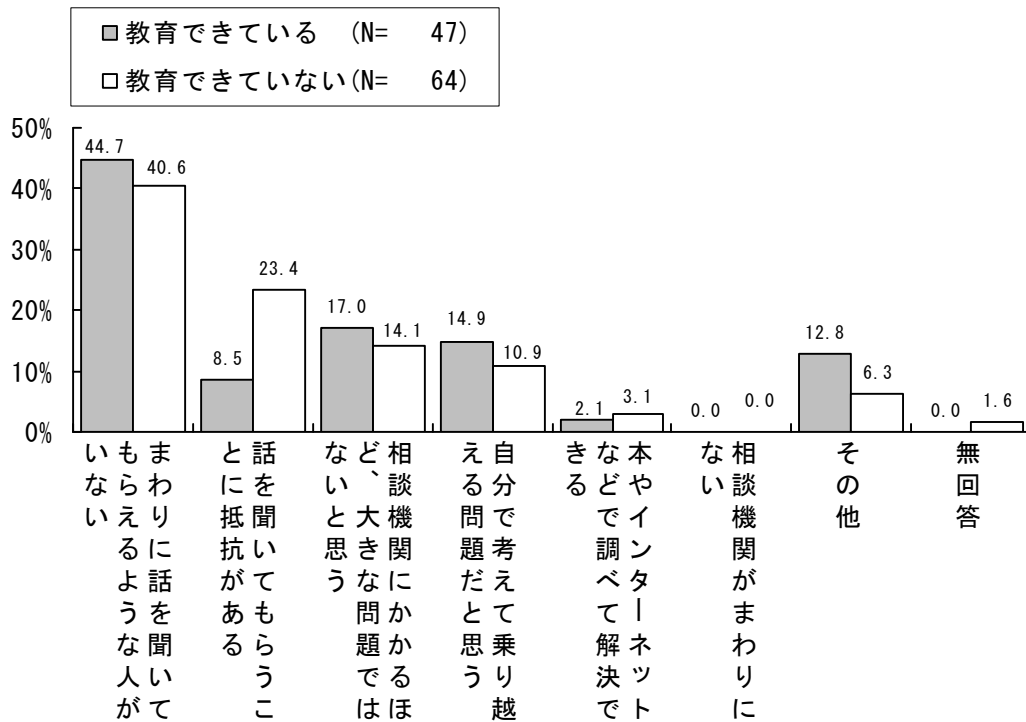
● 子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無 ●



● 家族以外の支援者 ●



●家族以外の支援者がいない理由●



**\*家庭教育の状況によらず、支援者が「いる」は9割以上。**

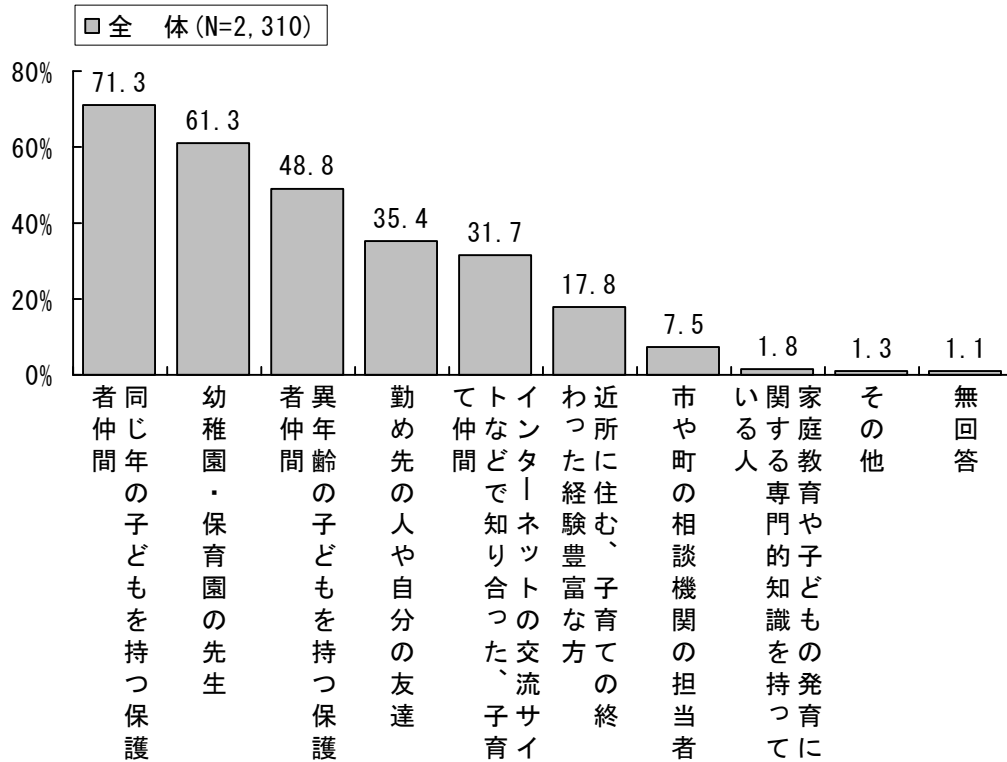
家庭教育の状況別では、「いる」は、教育できている (95.9%) が教育できていない (93.3%) に比べわずかに多くなっているものの、大きな差はみられない。

家庭教育の状況別にみた具体的な家族以外の支援者は、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」は、教育できている (81.8%) が教育できていない (73.6%) より 8.2 ポイント多くなっており、家庭教育の状況別で差がみられる。

家庭教育の状況別にみた支援者がいない理由は、「話を聞いてもらうことに抵抗がある」は、教育できていない (23.4%) が教育できている (8.5%) より 14.9 ポイント多くなっており、大きな差がみられる。

15) 今後、家族以外で支援者になってほしい人

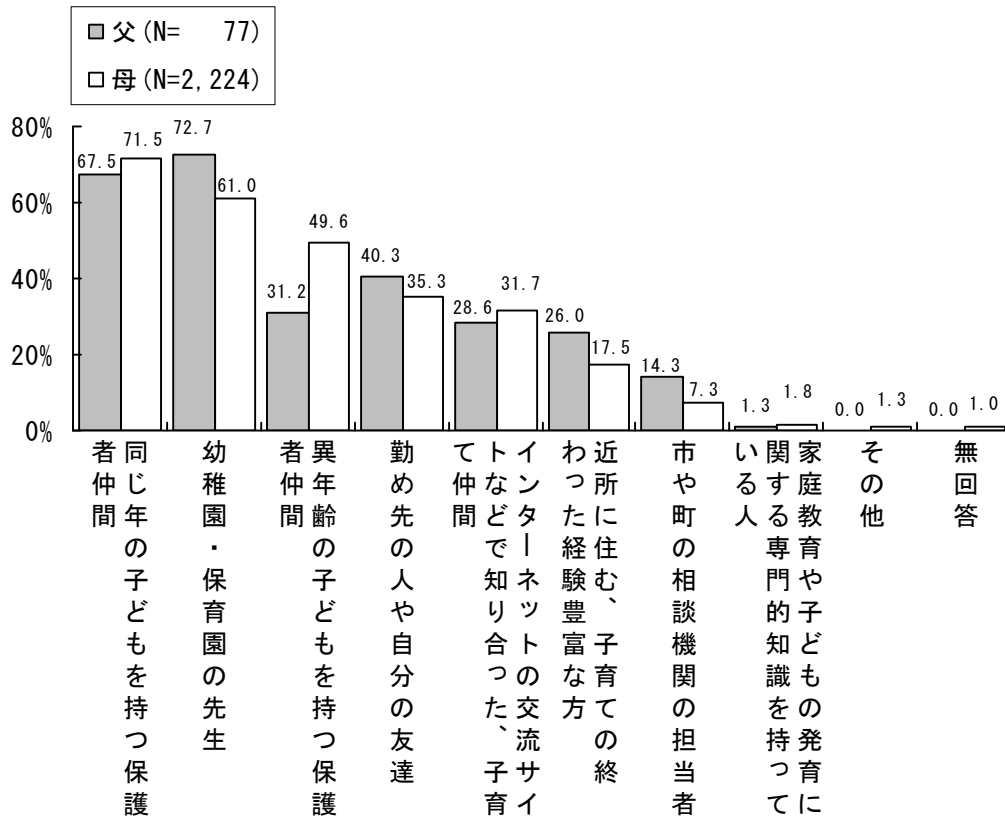
問15 これから、子育てについて家族以外で話を聞いてもらう（ぐちを聞いてもらえる、ちょっとしたアドバイスをもらえる、相談にのってもらえるなど）ならどのような人がいいですか。3つお答えください。（○は3つ）



**\*\* 今後、家族以外で支援者になってほしい人は、「同じ年の子どもをもつ保護者」で、現在の支援者と同傾向 \*\***

今後、家族以外で支援者になってほしい人は、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」(71.3%)が最も多く、現在の家族以外の支援者と同傾向にある。次いで、「幼稚園・保育園の先生」(61.3%)、「異年齢の子どもを持つ保護者仲間」(48.8%)などとなっている。

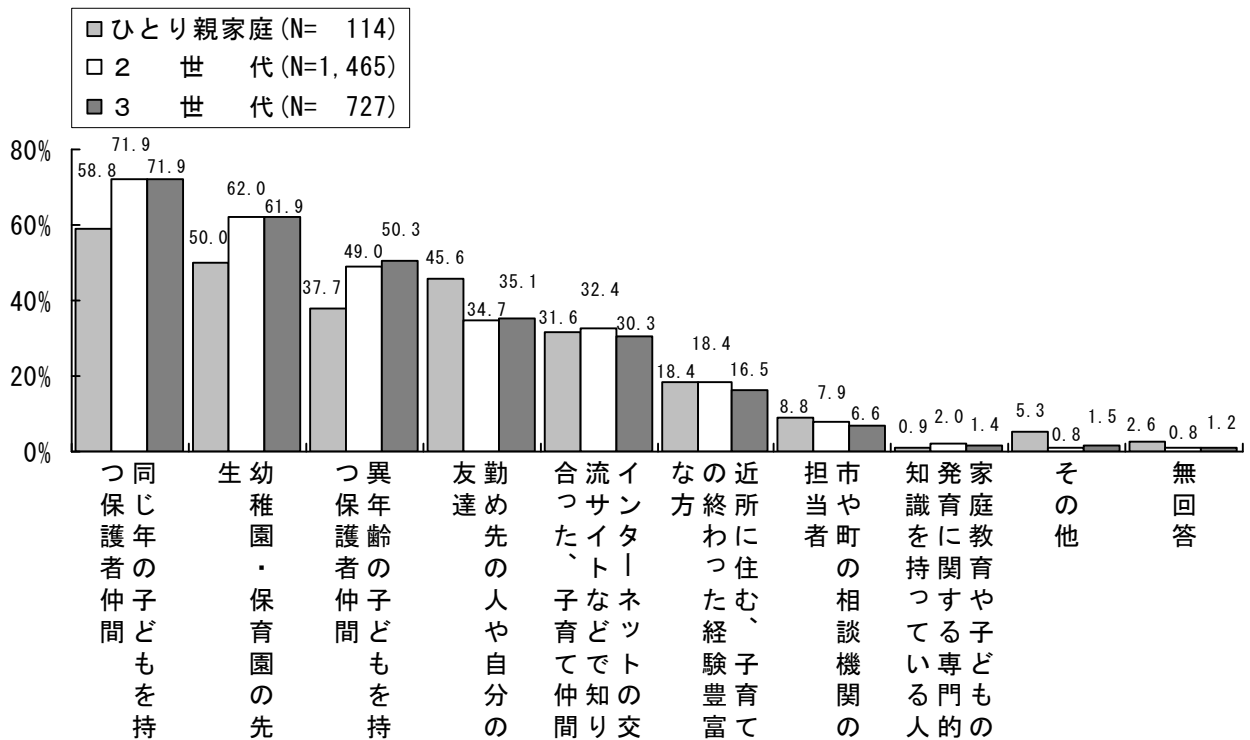
◆ 〈回答者別〉 今後、家族以外で支援者になってほしい人



**\* 父と母で支援者になってほしい人に大きな差がある。**

回答者別では、「幼稚園・保育園の先生」は、父（72.7%）が母（61.0%）より 11.7 ポイント多くなっている。一方、「異年齢の子どもを持つ保護者仲間」は、母（49.6%）が父（31.2%）より 18.4 ポイント多くなっており、大きな差がみられる。

◆ 〈家族構成別〉 今後、家族以外で支援者になってほしい人

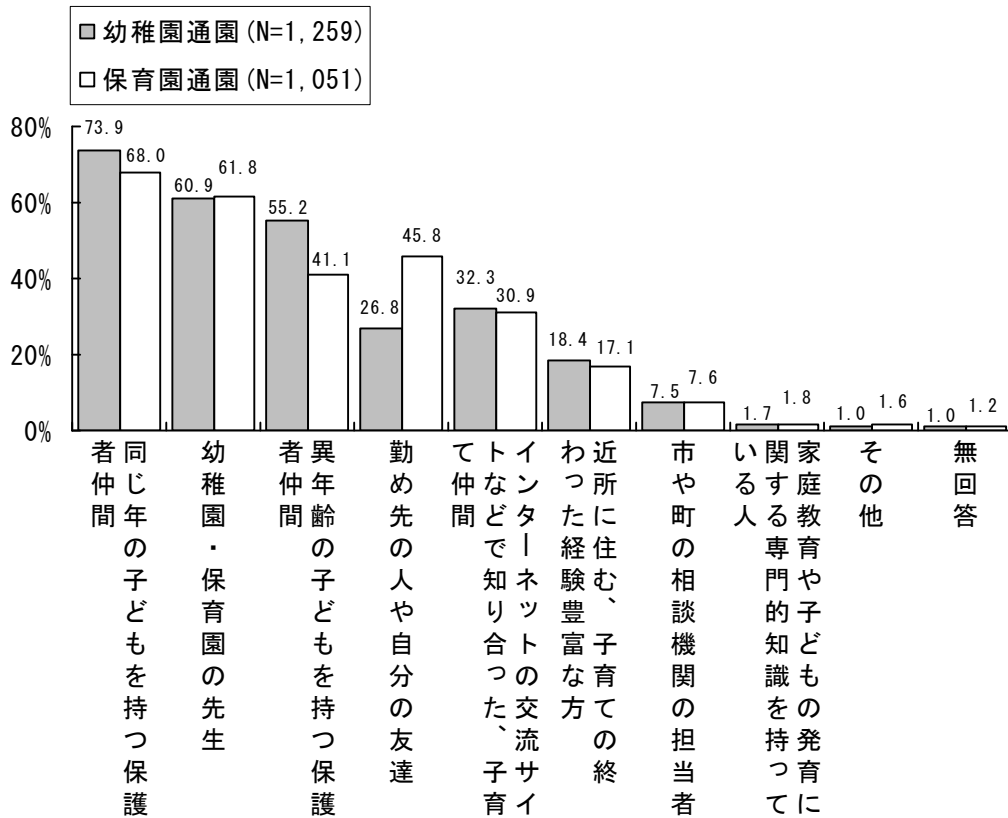


**\* ひとり親家庭と2世代以上の家族構成で支援者になってほしい人に差がある。**

家族構成別では、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」は、2世代、3世代（71.9%）がひとり親家庭（58.8%）より13.1ポイント多くなっている。一方、「勤め先の人や自分の友達」は、ひとり親家庭（45.6%）が最も多く、2世代（34.7%）や3世代（35.1%）より10ポイント以上多くなっており、家族構成別で大きな差がみられる。



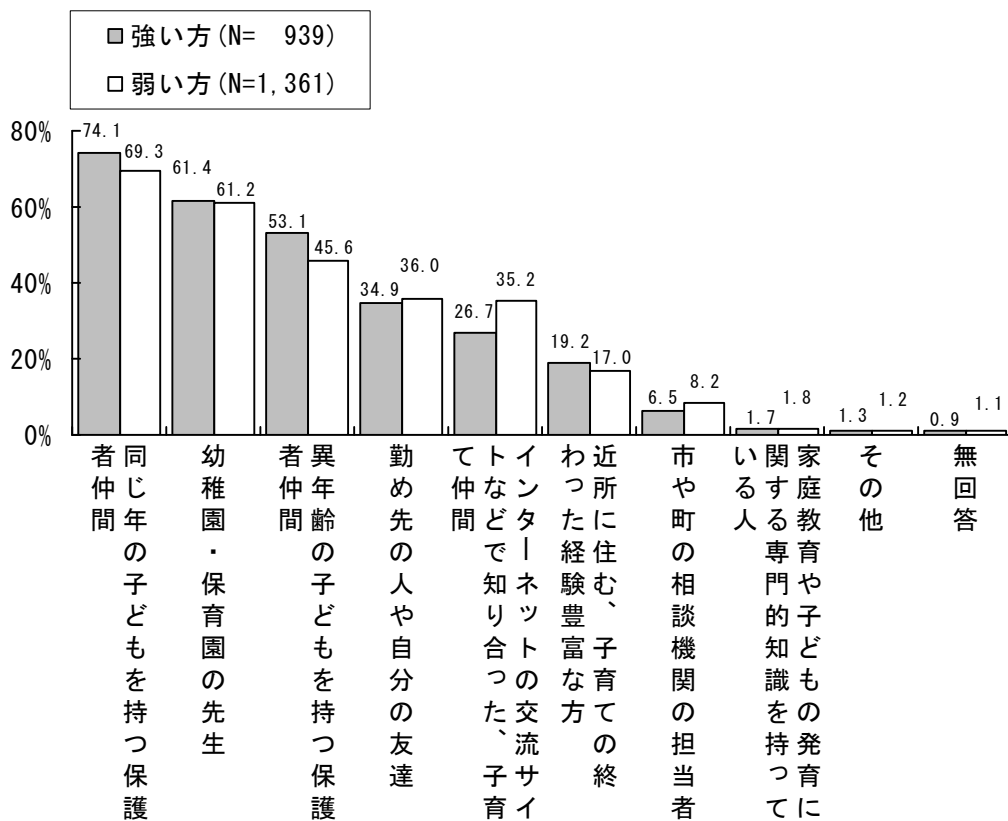
◆ 〈就園状況別〉 今後、家族以外で支援者になってほしい人



**\* 幼稚園・保育園通園ともに家族以外で支援者になってほしい人の第1位は、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」。**

就園状況別では、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」は、幼稚園通園（73.9%）が保育園通園（68.0%）より5.9ポイント多くなっている。また、「異年齢の子どもを持つ保護者仲間」でも、幼稚園通園（55.2%）が保育園通園（41.1%）より14.1ポイント多くなっている。一方、「勤め先の人や自分の友達」は、保育園通園（45.8%）が幼稚園通園（26.8%）より19.0ポイント多くなっており、大きな差がみられる。

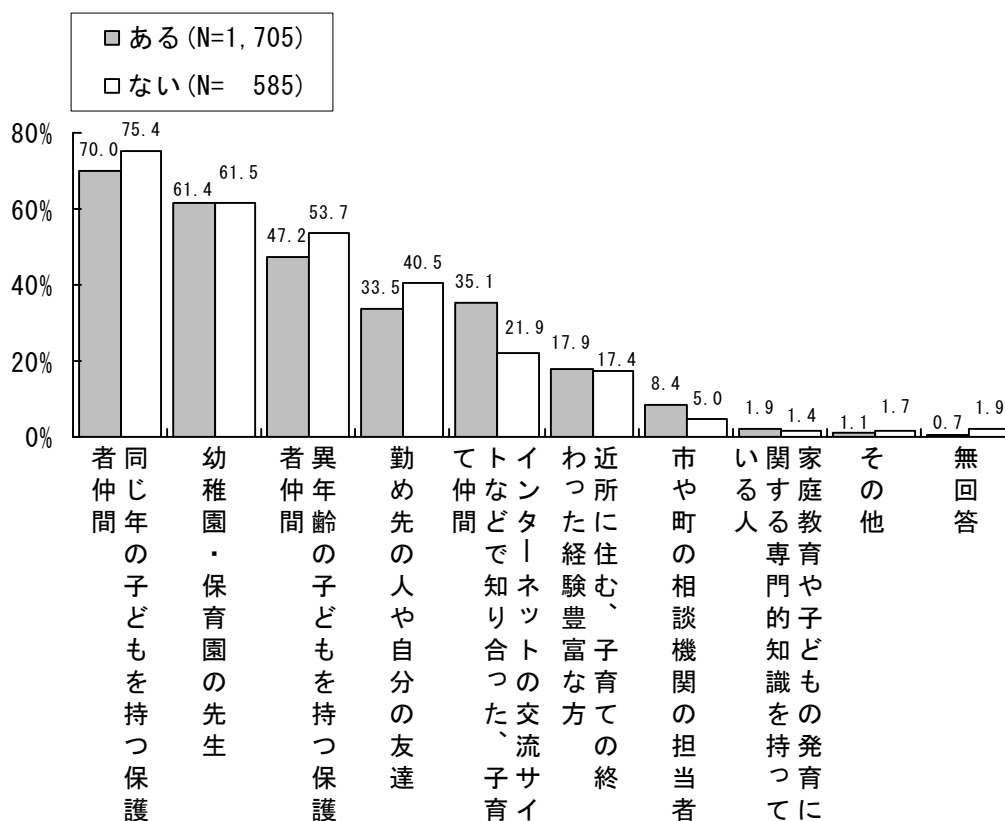
◆ 〈地域のつながりの有無別〉 今後、家族以外で支援者になってほしい人



\* 項目により、地域のつながりが強い方と弱い方で支援者になってほしい人に差がみられる。

地域のつながりの有無別では、「インターネットの交流サイトなどで知り合った、子育て仲間」は、弱い方（35.2%）が強い方（26.7%）より 8.5 ポイント多くなっている。一方、「異年齢の子どもを持つ保護者仲間」は、強い方（53.1%）が弱い方（45.6%）7.5 ポイント多くなっており、差がみられる。

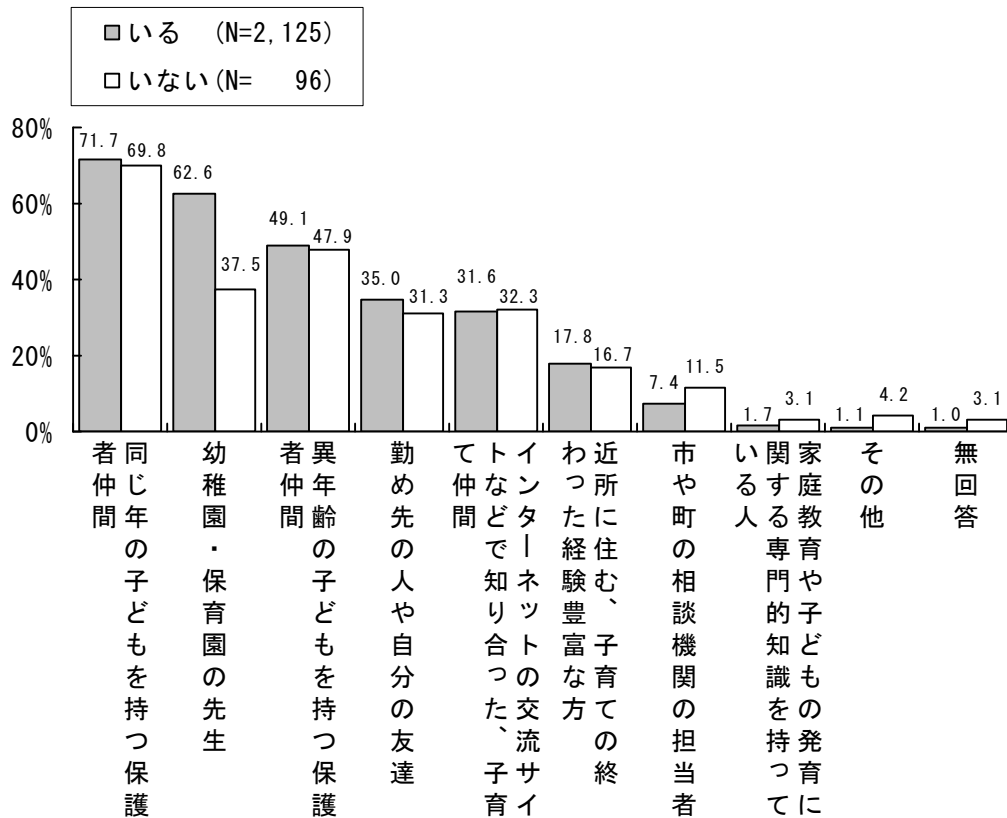
◆ 〈問 12 子育てについて悩みや不安があるか別〉 今後、家族以外で支援者になってほしい人



\* 悩みや不安の有無別で、支援者になってほしい人が異なっている。

子育てについて悩みや不安があるか別では、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」は、ない (75.4%) がある (70.0%) より 5.4 ポイント多くなっており、「異年齢の子どもを持つ保護者仲間」でも、ない (53.7%) がある (47.2%) より 6.5 ポイント多くなっている。また、「勤め先の人や自分の友達」でも同様に、ない (40.5%) がある (33.5) より 7.0 ポイント多くなっている。一方、「インターネットの交流サイトなどで知り合った、子育て仲間」は、ある (35.1%) がない (21.9%) より 13.2 ポイント多くなっており、大きな差がみられる。

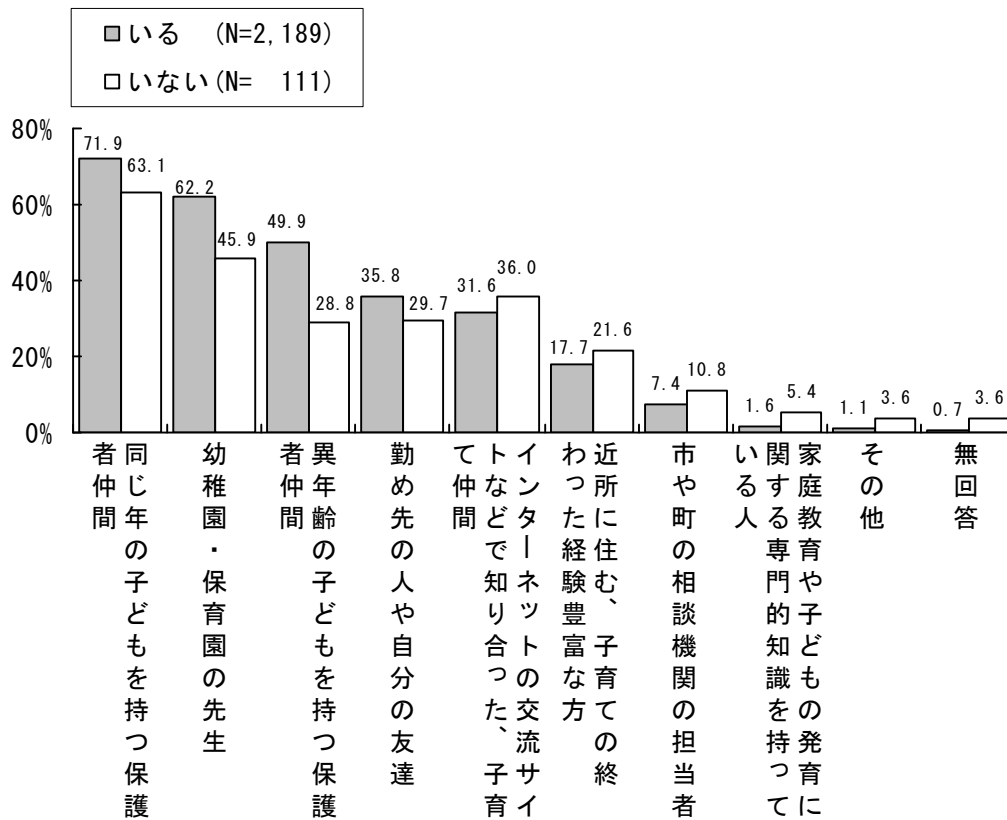
◆ 〈問 13 子育ての悩みについての身内の支援者の有無別〉 今後、家族以外で支援者になってほしい人



\* 「幼稚園・保育園の先生」について、身内の支援者の有無により大きな差がみられる。

子育ての悩みについての身内の支援者の有無別では、「幼稚園・保育園の先生」は、いる（62.6%）がいない（37.5%）より 25.1 ポイント多くなっており、大きな差がみられるものの、それ以外の項目では大きな差はみられない。

◆ 〈問 14 子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無別〉 今後、家族以外で支援者になってほしい人

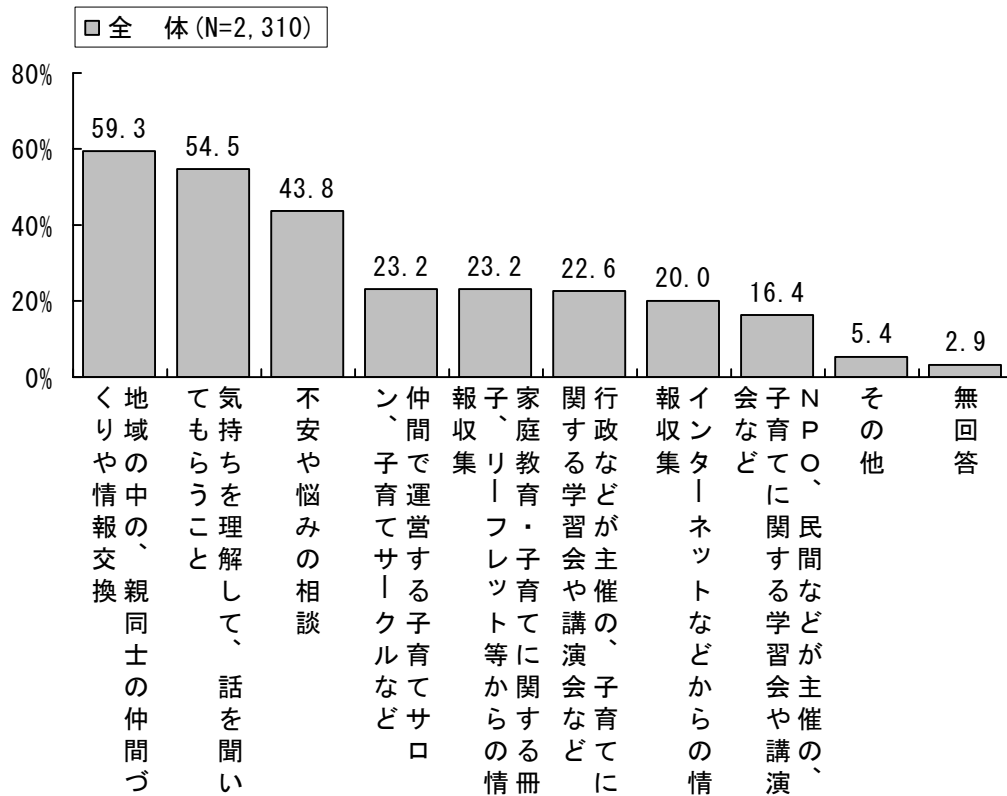


**\* 家族以外の支援者の有無により、今後支援者になってほしい人が異なっている。**

子育ての悩みについての家族以外の支援者の有無別では、「同じ年の子どもを持つ保護者仲間」は、いる (71.9%) がいない (63.1%) より 8.8 ポイント多くなっており、「幼稚園・保育園の先生」でも、いる (62.2%) がいない (45.9%) より 16.3 ポイント多くなっている。また、「異年齢の子どもを持つ保護者仲間」でも同様に、いる (49.9%) がいない (28.8%) より 21.1 ポイント多くなっており、大きな差がみられる。

16) 今後、参加したい活動

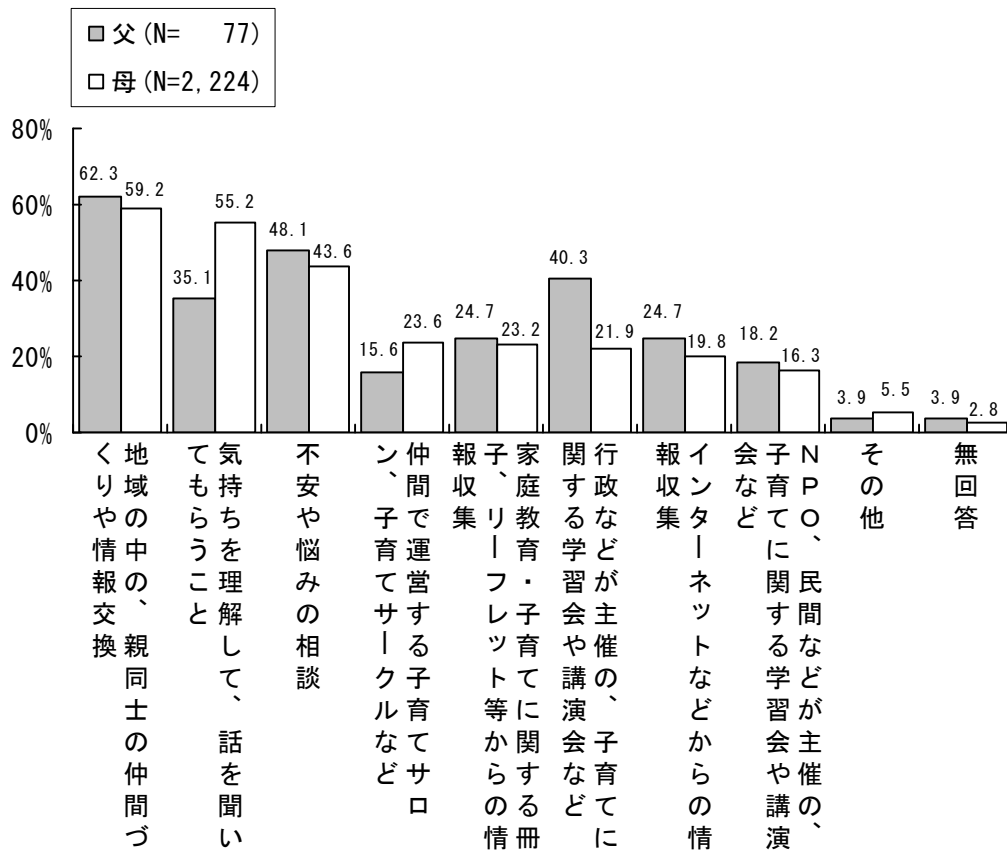
問16 あなたが今後、参加したり、行ったりしたいと思うものはどれですか。3つお答えください。(○は3つ)



**\*\* 今後、参加したい活動は“仲間づくり”や“相談にのってもらうこと” \*\***

今後、参加したい活動は、「地域の中の、親同士の仲間づくりや情報交換」(59.3%)が最も多く、次いで、「気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと」(54.5%)、「不安や悩みの相談」(43.8%)などとなっている。

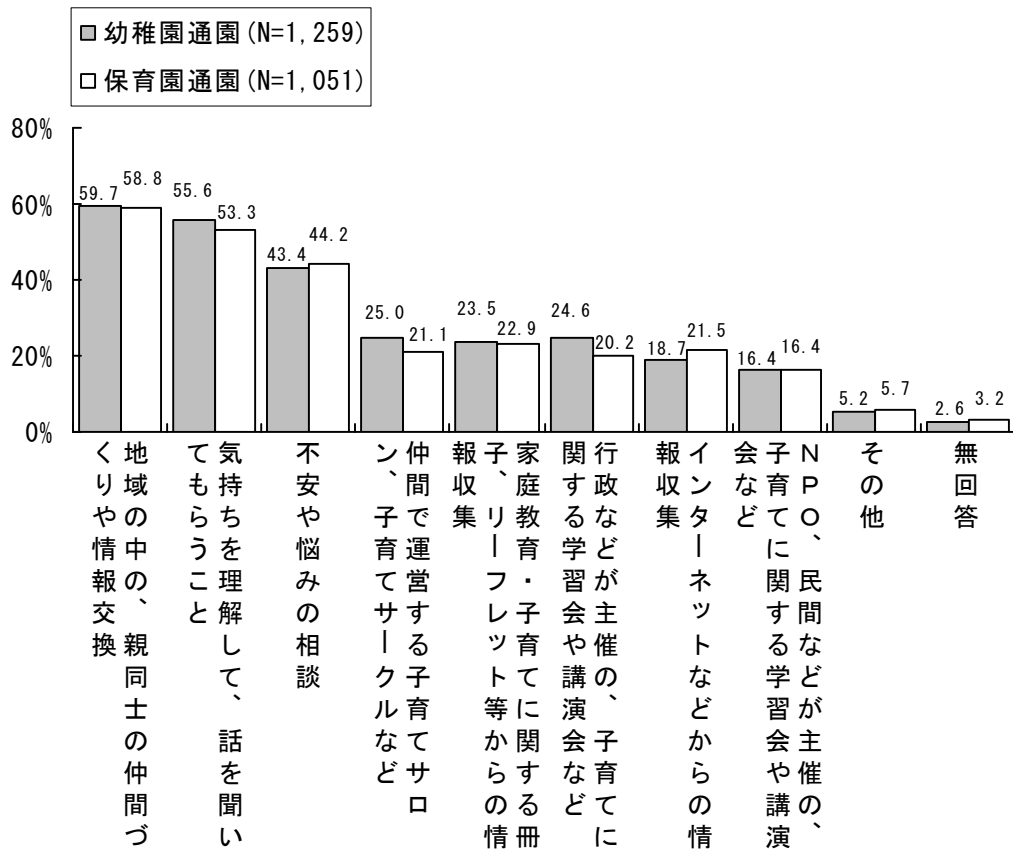
◆ 〈回答者別〉 今後、参加したい活動



**\* 項目により、父と母で今後、参加したい活動に差がみられる。**

回答者別では、「気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと」は、母（55.2%）が父（35.1%）より20.1ポイント多くなっており、大きな差がみられる。一方、「行政などが主催の、子育てに関する学習会や講習会など」は、父（40.3%）が母（21.9%）より18.4ポイント多くなっており、回答者別で大きな差がみられる。

◆ 〈就園状況別〉 今後、参加したい活動

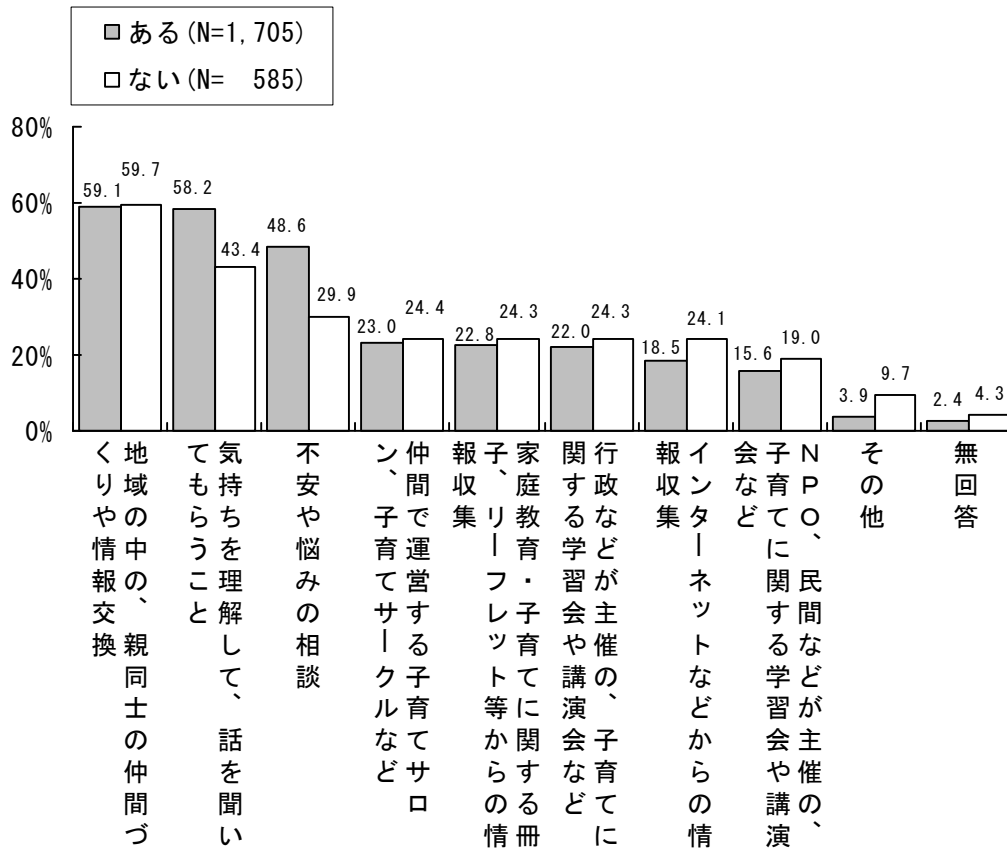


**\* 幼稚園・保育園通園で今後、参加したい活動に大きな差はみられない。**

就園状況別では、第1位から第3位までの項目は変わらず、すべての項目で大きな差はみられない。



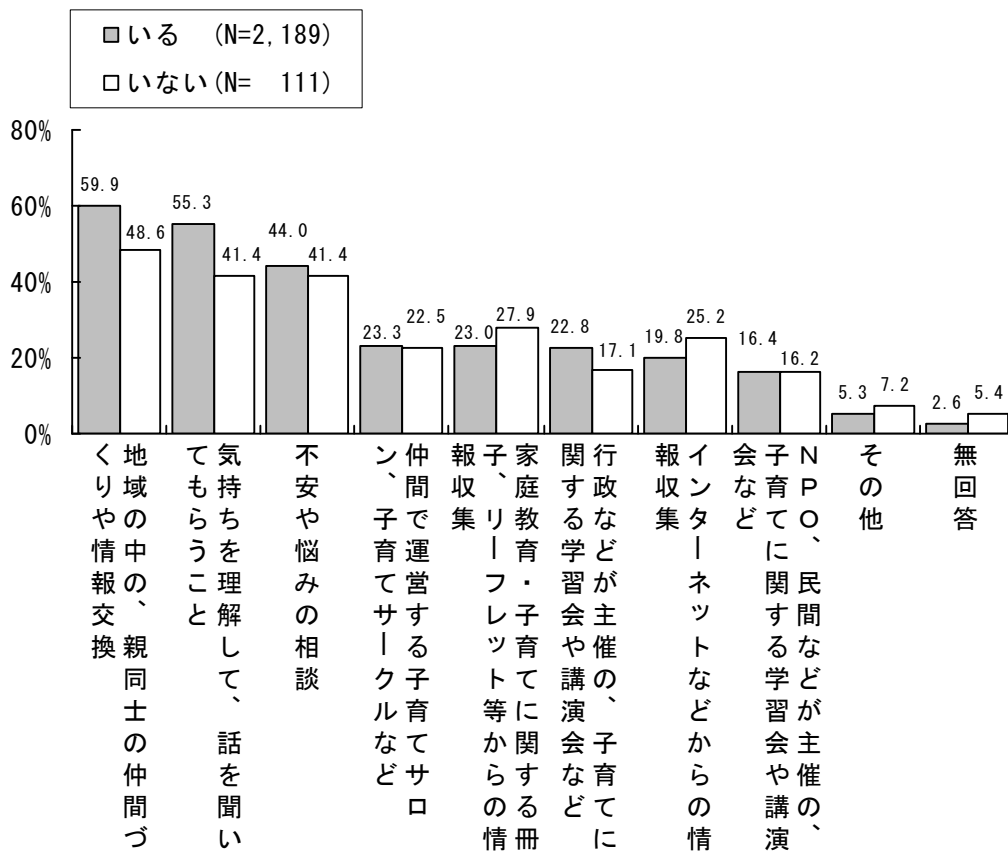
◆ 〈問 12 子育てについて悩みや不安があるか別〉 今後、参加したい活動



**\* 悩みや不安の有無により、今後参加したい活動の傾向に差がみられる。**

子育てについて悩みや不安があるか別では、「気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと」は、ある（58.2%）がない（43.4%）より 14.8 ポイント多くなっている。また、「不安や悩みの相談」でも、ある（48.6%）がない（29.9%）より 18.7 ポイント多くなっており、悩みや不安がある人は、それを解決できるような活動に対して参加意向がある。一方、「インターネット等からの情報収集」は、ない（24.1%）がある（18.5%）より 5.6 ポイント多くなっているなど、悩みや不安の有無により、大きな差がみられる。

◆ 〈問 14 子育ての悩みについて家族以外の支援者の有無別〉 今後、参加したい活動

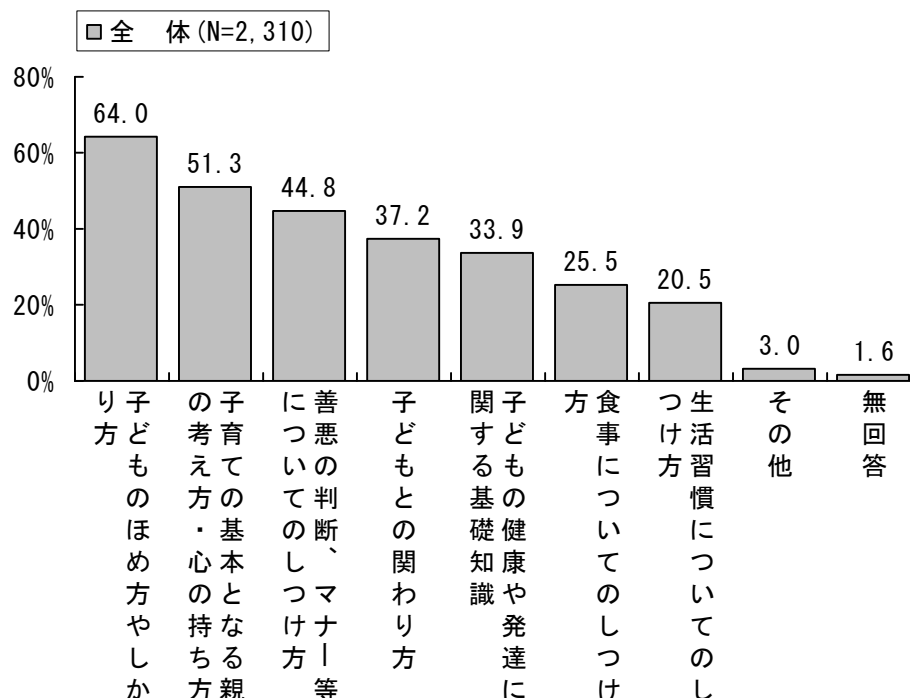


**\* 項目により、家族以外の支援者がいる・いないで大きな差がみられる。**

子育ての悩みについて家族以外の支援者の有無別では、「地域の中の情報交換」は、いる (59.9%) がいない (48.6%) より 11.3 ポイント多くなっている。また、「気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと」でも、いる (55.3%) がいない (41.4%) より 13.9 ポイント多くなっており、大きな差がみられる。

17) アドバイスを受けたり、学習したりしたい内容

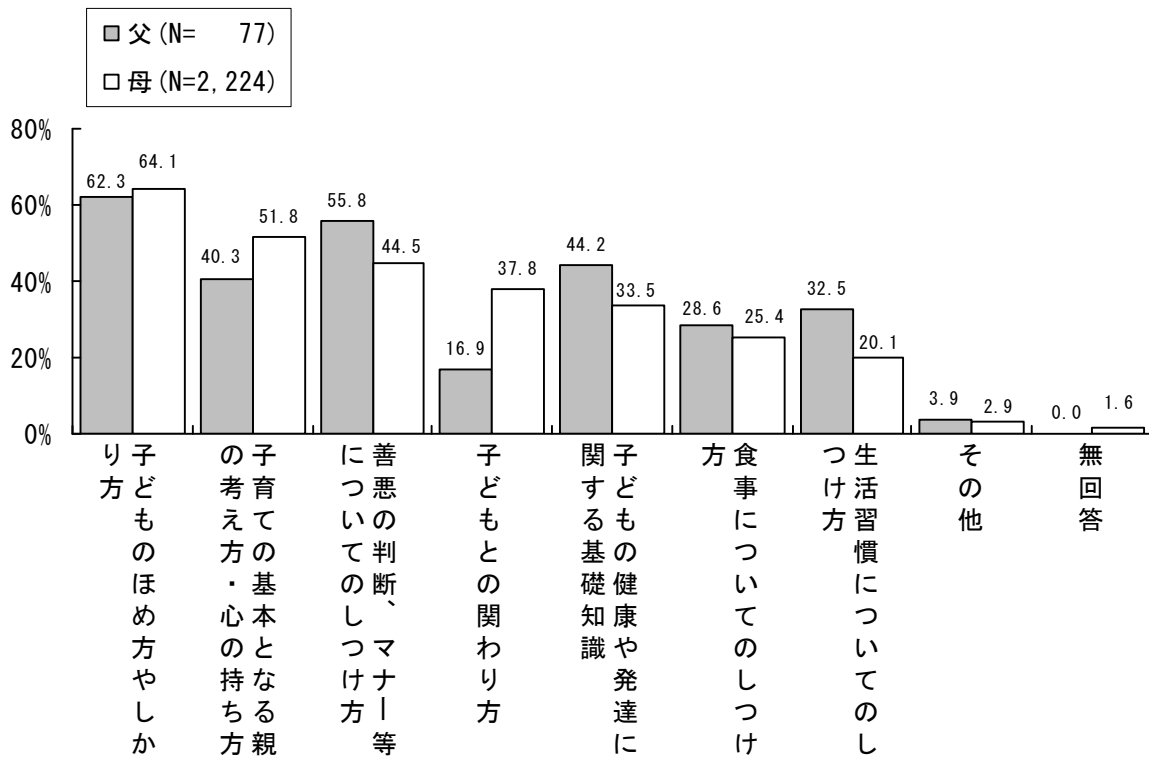
問17 アドバイスを受けたり、学習することができたりするとしたら、どのような内容を希望しますか。(〇はあてはまるものすべて)



**\*\* アドバイスや学習したい内容は「子どものほめ方やしかり方」が最多 \*\***

アドバイスを受けたり、学習したりしたい内容は、「子どものほめ方やしかり方」(64.0%)が最も多く、次いで、「子育ての基本となる親の考え方・心の持ち方」(51.3%)となっており、いずれも5割を超えている。

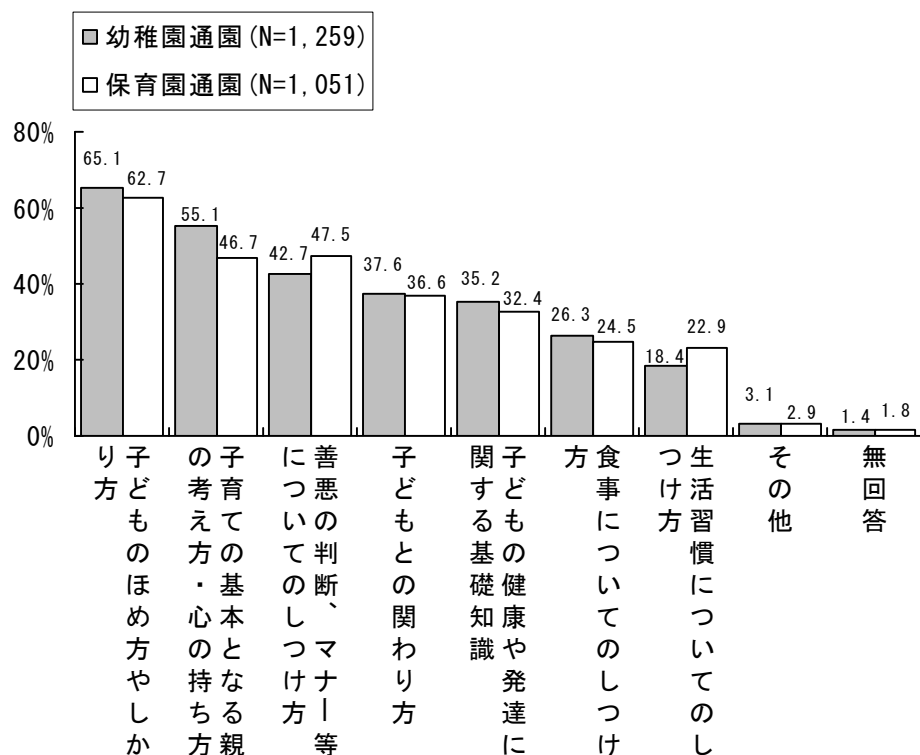
◆ 〈回答者別〉 アドバイスを受けたり、学習したりしたい内容



\* 回答者別でアドバイスを受けたり学習したりしたい内容に差がみられる。

回答者別では、「善悪の判断、マナー等についてのしつけ方」は、父（55.8%）が母（44.5%）より11.3ポイント多くなっている。一方、「子育ての基本となる親の考えかた・心の持ち方」は、母（51.8%）が父（40.3%）より11.5ポイント多く、「子どもとの関わり方」でも、母（37.8%）が父（16.9%）より20.9ポイント多くなっており、回答者別で大きな差がみられる。

◆ 〈就園状況別〉アドバイスを受けたり、学習したりしたい内容



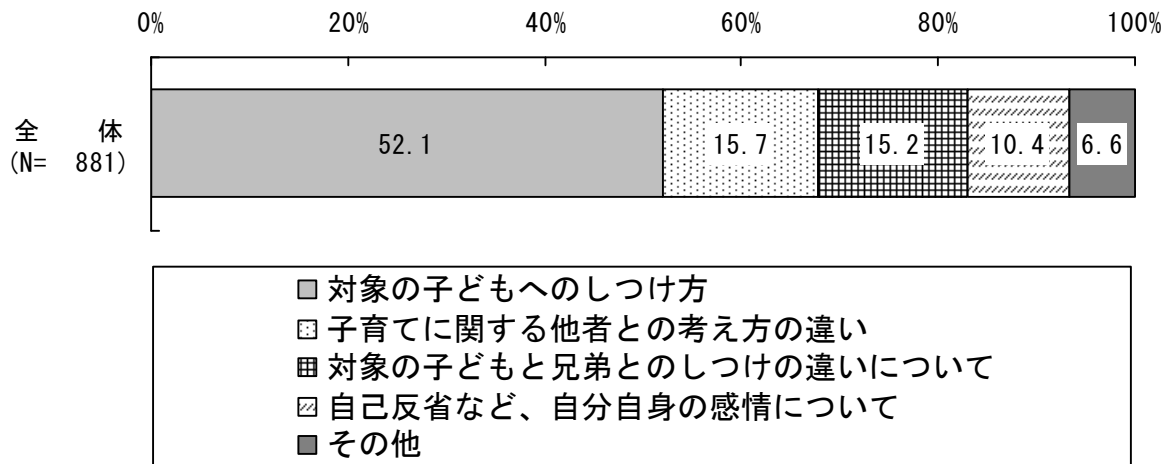
\* 就園状況別でアドバイスを受けたり学習したりしたい内容に差はみられない。

就園状況別では、「子育ての基本となる親の考え方・心の持ち方」は、幼稚園通園（55.1%）が保育園通園（46.7%）より 8.4 ポイント多くなっている。一方、「善悪の判断、マナー等についてのしつけ方」は、保育園通園（47.5%）が幼稚園通園（42.7%）より 4.8 ポイント多くなっているものの、就園状況別で大きな差はみられない。

## 18) 家庭教育をされていて困ったこと

問18 これまで家庭教育（しつけ等）をされていて、困ったことはどんなことですか。具体的なエピソードや場面をお書きください。（自由記述）

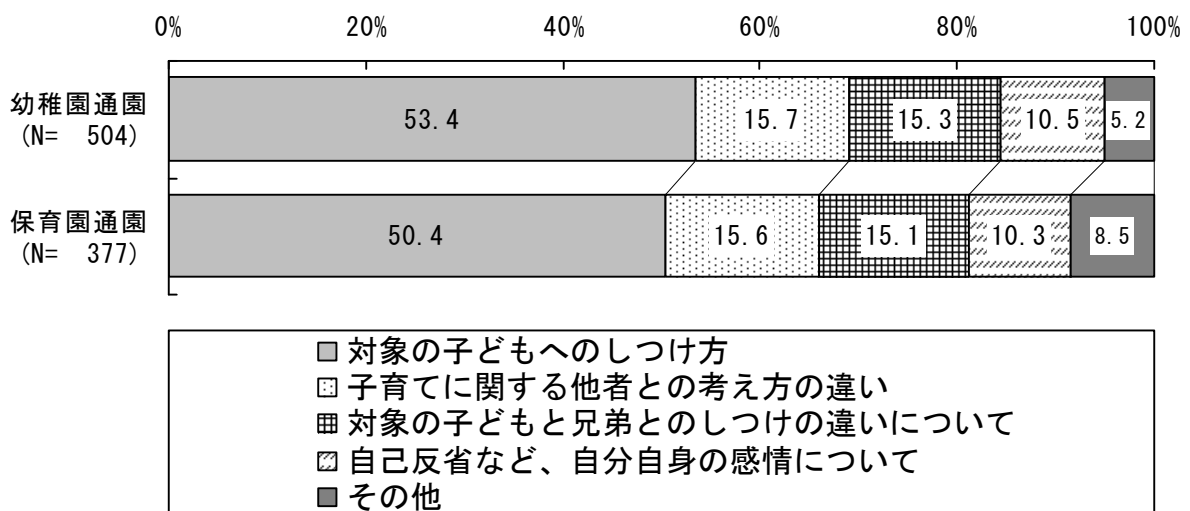
※自由記述については、内容を4つに分類し、とりまとめたものを掲載している



**\*\* 家庭教育をされていて困った内容は「対象の子どもへのしつけ方」が最多 \*\***

家庭教育をされていて困ったことは、「対象の子どもへのしつけ方」（52.1%）が約半数と最も多く、次いで、「子育てに関する他者との考え方の違い」（15.7%）、「対象の子どもと兄弟とのしつけの違いについて」（15.2%）などとなっている。

### ◆〈就園状況別〉家庭教育をされていて困ったこと



**\* 就園状況別で困ったことに関する内容の差はみられない。**

就園状況別では、「対象の子どもへのしつけ方」は、幼稚園通園（53.4%）が保育園通園（50.4%）よりわずかに多くなっているものの、大きな差はみられない。「その他」の内容については、子育て支援に関する意見が幼稚園通園に比べ、保育園通園に多くみられた。

### Ⅲ 調査票

---







問6 あなたの就業状態はどのようなですか。(○は1つ)

1 仕事をしている

2 仕事をしていない →問7へ

問6で「1」と答えた方がお答えください。

→ 問6-1 仕事の状況はどのようなですか。(○はあてはまるものを全て)

- 1 家で内職などを行っている
- 2 日中(8:00~18:00)にパートタイムで働いている(家業を含む)
- 3 夜(18:00~)や早朝(~8:00)にパートタイムで働いている(家業を含む)
- 4 フルタイムで働いている(家業を含む)

→ 問6-2 仕事の休みはいつですか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

- 1 土・日が休み
- 2 休みに土・日のどちらかが含まれる
- 3 土・日に仕事があり、平日のみ休み
- 4 不定休

問7 お子様への家庭教育(しつけ等)の中で、特に力を入れていること3つをお答えください。

(○は3つ)

- 1 あいさつや返事、言葉づかい
- 2 約束やルールを守ること
- 3 相手を思いやる気持ち
- 4 善悪の判断
- 5 公共の場や集団の中でのマナー
- 6 早寝早起き、食事、はみがき、着脱衣、トイレ、片付けなど
- 7 子どもの自主性の尊重
- 8 友達との関わり方
- 9 スポーツ(サッカー、スイミング等)や体を使う遊び、外遊び
- 10 芸術(ピアノ、習字、絵画)などの習い事
- 11 読み聞かせ
- 12 手伝い
- 13 その他 ( )
- 14 特に重点を置いていることはない

問8 お子様への家庭教育(しつけ等)の状況について、ご自分ではどのように思っていますか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

- 1 必要なことは、きちんと教育できている
- 2 足りない部分もあるが、教育できていることが多い
- 3 教育できていることもあるが、足りないことが多い
- 4 ほとんどのことが、きちんと教育できていない

問9 お子様とのかかわりの中で、お子様をほめることはありますか。(○は1つ)

1 よくほめる	2 時々ほめる
3 あまりほめない	4 ほとんどほめない

※問9で「1」「2」と答えた方がお答えください。

問9-1 ほめることについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1 子どもが伸びると思うので、良いところを見つけてほめることは大切だと思う
2 子どもの良いところに気づいたときはほめたい
3 ほめているが、子どもが素直に受け止めているか不安に感じる時もある
4 その他 ( )

※問9で「3」「4」と答えた方がお答えください。

問9-2 ほめないことについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1 むやみにほめて子どもを甘やかしたくない
2 他の家族がよくほめるので、自分はほめない
3 どんな時にほめたらよいかわからない
4 子どもと接する時間が少なく、ほめる機会がない
5 その他 ( )

問10 お子様とのかかわりの中で、お子様をしかることはありますか。(○は1つ)

1 よくしかる	2 時々しかる
3 あまりしからない	4 ほとんどしからない

※問10で「1」「2」と答えた方がお答えください。

問10-1 しかることについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1 子どもが悪かったことに気づき成長すると思うので、悪いところを見つけてしかることは大切だと思う
2 子どもの悪いところに気づいたときはしかりたい
3 必要なときはしかるが、感情的になり、説得力に欠けることがあると感じる時もある
4 その他 ( )

※問10で「3」「4」と答えた方がお答えください。

問10-2 しからないことについてどのような思いを持っていますか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1 しかり過ぎると、子どもがのびのびと育たない
2 他の家族がよくしかるので、自分はしからない
3 どんな時にしかったらよいかわからない
4 子どもと接する時間が少なく、しかる機会がない
5 その他 ( )

問11 お子様に身につけていると感じるものはどれですか。一番あてはまるものに○を1つつけてください。また、身につけていないと感じるものはどれですか。一番あてはまるものに×を1つつけてください。

- 1 自分のことを自分ですることができる（生活習慣が身につけている）
- 2 集中して遊んだり、学んだりできる
- 3 自分の気持ちや考えを人に伝えられる
- 4 集団の中でのルールやマナーを守って生活できる
- 5 その他（ ）

問12 子育ての中で、悩んだり、不安になったりすることがありますか。（○は1つ）

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 よくある        | 2 時々ある         |
| 3 あまりない →問13へ | 4 ほとんどない →問13へ |

※問12で「1」「2」と答えた方がお答えください。

問12-1 悩んだり、不安になったりすることは、どんなことですか。

（○はあてはまるものすべて）

- 1 しつけの方法、タイミングがわからない
- 2 子育てについて、他の家族と意見が合わない
- 3 忙しく、余裕を持って子どもに接することができない
- 4 自分の子育てが正しいかどうか自信が持てない
- 5 自分の子育てについて、まわりの目や評価が気になる
- 6 その他（ ）

問13 子育てに悩みや不安を感じたとき、身内であなたを支えてくれる（ぐちを聞いてもらえる、ちょっとしたアドバイスをもらえる、相談にのってもらえるなど）人は誰ですか。（○はあてはまるものすべて）

- 1 配偶者（夫、妻）
- 2 同居の祖父母
- 3 別居の祖父母
- 4 自分や配偶者の兄弟
- 5 兄弟の中で、年長の子ども
- 6 その他（ ）
- 7 特にいない



問16 あなたが今後、参加したり、行ったりしたいと思うものはどれですか。3つお答えください。

(○は3つ)

- 1 気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと
- 2 不安や悩みの相談
- 3 地域の中の、親同士の仲間づくりや情報交換
- 4 行政（県、市町）などが主催の、子育てに関する学習会や講演会など
- 5 NPO、民間などが主催の、子育てに関する学習会や講演会など
- 6 仲間で運営する子育てサロン、子育てサークルなど
- 7 インターネットなどからの情報収集
- 8 家庭教育・子育てに関する冊子、リーフレット等からの情報収集
- 9 その他（ )

問17 アドバイスを受けたり、学習することができたりするとしたら、どのような内容を希望しますか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 子どものほめ方やしかり方
- 2 食事についてのしつけ方（「食育」なども含む）
- 3 生活習慣についてのしつけ方（早寝、早起きなども含む）
- 4 善悪の判断、マナーなどについてのしつけ方
- 5 子どもとの関わり方
- 6 子育ての基本となる親の考え方・心の持ち方
- 7 子どもの健康や発達に関する基礎知識
- 8 その他（ )

問18 これまで家庭教育（しつけ等）をしていて、困ったことはどんなことですか。具体的なエピソードや場面をお書きください。(自由記述)

※調査は以上で終了です。御協力ありがとうございました。

平成 24 年度  
幼児期における家庭教育実態調査  
報 告 書

平成 25 年 3 月

静岡県教育委員会 社会教育課  
〒420-8601 静岡市葵区追手町 9 番 6 号  
電話 054-221-3115  
FAX 054-221-3362  
電子メール kyoui\_shakyo@pref. shizuoka. lg. jp